

MFC-9460CDN

ユーザーズガイド基本編

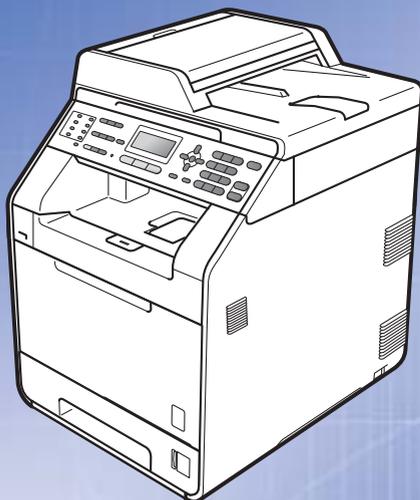
本書はなくさないように注意し、
いつでも手に取ってみることができるようにしてください。



ユーザーズガイドCD-ROM

付属のユーザーズガイドCD-ROMには、下記のユーザーズガイド
が収録されています。あわせてご覧ください。

- ・ユーザーズガイド 応用編
- ・ユーザーズガイド パソコン活用編
- ・ユーザーズガイド ネットワーク操作編
- ・ユーザーズガイド ネットワーク知識編



困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？
と思ったときなどは、以下の手順で原因を
お調べください。

1 4章「困ったときには」で調べる **96ページ**

2 サポート ブラザー **ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる**
<http://solutions.brother.co.jp/>

本書の使いかた・目次

使う前に
知ってほしいこと

まずは
使ってみましょう

日常のお手入れ

困ったときには

付録(索引)

Version A JPN

ユーザズガイドの構成

準備しましょう

電源の注意事項を知りたい	停電のときの注意事項を知りたい	安全にかかわるいろいろな注意事項を知りたい
設置場所の注意事項を知りたい	トナーの注意事項を知りたい	
設置して使用できる状態にしたい	コンピューターに接続して、プリンターやスキャナーとして使えるようにしたい	簡単にネットワークに接続して、複数のコンピューターでファクス、プリント、スキャンをしたい
必要な設定をしたい		

まずは使ってみましょう

使用できる用紙を知りたい	コンピューターからプリントしたい(基本)	消耗品を交換したい
ファクスしたい(基本)		お手入れのやりかたを知りたい
コピーしたい(基本)	スキャンしたい(基本)	トラブルを解決したい
USBからプリントしたい	リサイクルについて知りたい	

もっと便利に使ってみましょう

使える機能や設定変更できる機能を制限して管理したい(セキュリティ)	ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルなどを使って簡単に宛先を指定したい	ファクスを転送したい
電話帳を作成したい	いろいろなファクス送受信をしたい	ナンバー・ディスプレイ機能を使いたい
コンピューターからプリントしたい(応用)	コンピューター上にアドレス帳を作成したい	さまざまな設定をコンピューターから行いたい(リモートセットアップ)
コンピューターでファクスを送受信したい	いろいろな方法でスキャンしたい	
ネットワークに接続して複数のコンピューターでファクス、プリント、スキャンをしたい	ネットワーク設定を手動で行いたい	ネットワークにかかわるトラブルを解決したい

知りたいことを
コンピュータで
すばやく探しましょう

基本から応用までまとめて探したい	いろいろなファクス送受信をしたい	ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルなどを使って簡単に宛先を指定したい
音量を設定したい	電話帳を作成したい	
使える機能や設定変更できる機能を制限して管理したい(セキュリティ)	ファクスを転送したい	送信履歴などレポートを表示、印刷したい
	ナンバー・ディスプレイ機能を使いたい	文字の入力方法を知りたい

知りたい用語を
調べましょう

分からない用語を調べたい

安全にお使いいただくために



冊子

安全にお使いいただくために守っていただきたい注意事項を説明しています。必ずお読みください。また、なくさないように注意し、いつでも確認できるように保管してください。

かんたん設置ガイド



冊子

本製品を使用するための準備（設置、基本的な設定、コンピューターへの接続の方法、ネットワーク環境設定など）を説明しています。はじめにお読みください。

ユーザーズガイド 基本編 <本書>



冊子

基本的なコピー、ファクス、プリント、スキャンのしかたやトラブル対処方法について説明しています。いつでも手にとって見られる場所に保管してください。

ユーザーズガイド 応用編



CD-ROM

全体にかかわる各種設定、ファクス応用機能、転送機能、リモコン機能、レポート機能、仕様などを説明しています。

ユーザーズガイド パソコン活用編



CD-ROM

コンピューターからの操作で本製品をプリンター、スキャナー、ファクスとして使用する方法や便利な使い方（Control Center）について説明しています。

ユーザーズガイド ネットワーク操作編



CD-ROM

ネットワーク環境で使用するための設定や、コンピューターからの操作で本製品をプリンター、スキャナー、ファクスとして使用する方法を説明しています。



画面で見るマニュアル（HTML形式）

ダウンロード

ユーザーズガイド基本編、応用編、パソコン活用編、ネットワーク操作編の他に、全体にかかわる各種設定、ファクス応用機能、転送機能、リモコン機能、レポート機能、仕様などを説明しています。

マニュアルの検索機能を使用して、知りたいことをすばやく探すことができます。

ユーザーズガイド ネットワーク知識編



CD-ROM

ネットワーク環境での用語や環境についての概要などを説明しています。

- 冊子は本製品に同梱されています。
- 画面で見るマニュアル（HTML形式）と各種説明書PDFマニュアルは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。
(<http://solutions.brother.co.jp/>)

ユーザーズガイドの構成	2
おすすめ機能.....	7
本書の表記.....	11
マークについて	11
編集ならびに出版における通告	11
ユーザーズガイドCD-ROM内のユーザーズガイドを 見るときは.....	12
Windows®の場合.....	12
Macintoshの場合.....	13
インターネット上のサポートの案内を見るときは.....	14
Windows®の場合.....	14
Macintoshの場合.....	14
第1章 使う前に知ってほしいこと	16
各部の名称とはたらき	16
操作パネルの名称とはたらき	16
ランプについて	18
各部の名称	19
機能設定操作の基本	20
ナビゲーションキーを使った基本操作	20
ダイヤルボタンを使った基本操作	20
電話回線のこと	21
自動で回線種別を設定する	21
リサイクル・廃棄のこと	22
消耗品の回収リサイクルについて	22
本製品の廃棄について.....	22
第2章 まずは使ってみましょう	24
記録紙の基本.....	24
記録紙セットの流れ.....	24
セットできる記録紙.....	25
使用できない記録紙.....	26
記録紙トレイに記録紙をセットする.....	27
多目的トレイに記録紙をセットする.....	29
セットした記録紙にあわせて本体の設定を変更する.....	31
記録紙が排出される場所.....	32
原稿の基本.....	33
原稿セットで注意すること	33
原稿をセットする.....	34
原稿の読み取り設定をする	35
ファクス送信の基本	35
ファクス送信の流れ.....	35
ファクスを手動で送信する	38
ファクス送信を中止する	38

ファクス受信の基本.....	39
ファクス受信の流れ.....	39
受信モードの種類.....	40
受信モードを設定する.....	44
受信したファクスを両面印刷する.....	44
コピーの基本.....	44
コピーの流れ.....	44
コピー設定について.....	46
拡大・縮小コピーをする.....	47
1部ごとにコピーする〔ソートコピー〕.....	47
両面コピーをする.....	48
複数の原稿を1枚にまとめてコピーする 〔レイアウトコピー (N in 1コピー)〕.....	48
2 in 1 IDコピーをする.....	49
記録紙トレイを設定する.....	50
画質を設定する.....	50
明るさを設定する.....	51
コントラストを設定する.....	51
色の濃さを変更する.....	52
USBダイレクトプリントの基本.....	53
USBダイレクトプリントの流れ.....	53
プリントの基本.....	55
プリントの流れ.....	55
スキャンの基本.....	56
スキャンの流れ.....	56
第3章 日常のお手入れ.....	58
定期メンテナンス.....	58
本製品外部を清掃する.....	59
原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する.....	60
本製品内部を清掃する.....	61
コロナワイヤーの清掃.....	64
ドラムユニットの清掃.....	66
給紙ローラーの清掃.....	70
消耗品の交換.....	71
トナーカートリッジとドラムユニットについて.....	71
トナーカートリッジの交換.....	74
ドラムユニットの交換.....	77
ベルトユニットの交換.....	81
廃トナーボックスの交換.....	86
定期交換部品の交換.....	91
本製品を再梱包するときは.....	92

第4章 困ったときには	96
解決のステップ～修理依頼される前に～	96
ディスプレイにエラーメッセージが表示された！ (エラーメッセージ一覧)	97
紙が詰まった！	102
紙づまりのときのメッセージ	102
原稿が詰まったとき	104
記録紙が詰まったとき	105
原因がよくわからない！	112
困ったときには (コピー／印刷)	112
困ったときには (スキャン)	128
困ったときには (電話／ファクス)	128
困ったときには (その他)	133
第5章 付録	136
機能一覧	136
初期設定機能	136
基本設定機能	137
ファクス機能	141
コピー機能	144
プリンター機能	144
USBダイレクト機能	146
レポート印刷機能	147
LAN (ネットワーク) 設定機能	148
製品情報	150
本製品の仕様	151
ファクシミリ	151
プリンター	152
コピー	152
スキャナー	152
その他	153
電源と使用環境	154
索引	156
消耗品などのご注文について	163
ご注文シート	165
アフターサービスのご案内	166

おすすめ機能

効率アップ におすすめ

コピー/プリントで効率アップ

仕分け作業は機械に
まかせましょう



● ページ順に1部ごとコピー/プリント〔ソートコピー〕

⇒プリント ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」
⇒コピー ⇒47 ページ「1部ごとにコピーする〔ソートコピー〕」

ファクスで効率アップ

宛先指定はボタン1つで簡単に

- ワンタッチダイヤルを使用する
- 短縮ダイヤルを使用する
- 再ダイヤルを使用する

⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

送付書を自動的につけられます

- 送付書を付けて送信する
- 送付書のオリジナルコメントを登録する

⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

1度にまとめて送りましょう

- 同じ原稿を数か所に送信する〔同報送信〕
- メモリ内の文書を同じ相手に一括送信する〔とりまとめ送信〕

⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

原稿をセットしておくだけで相手が必要なときに送ります

- 相手の操作で原稿を送信する〔ポーリング送信〕

⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

留守中にファクスが届いても、外出先でファクスを見られます

- 他の場所のファクシミリに転送する

⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」

エコ におすすめ

リサイクルでエコに協力

リサイクルして有効に使いましょう

- 消耗品の回収リサイクルについて

⇒22 ページ「リサイクル・廃棄のこと」

節約、コスト削減 におすすめ

用紙代を節約

両面を有効に使って節約

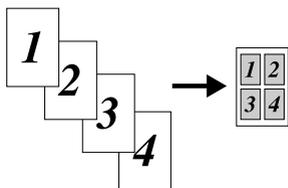
●両面コピー／両面プリント／両面ファクス

→ コピー ⇒ 48 ページ
「両面コピーをする」
→ プリント ⇒ ユーザーズ
ガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」
→ ファクス ⇒ 44 ページ
「受信したファクスを両面印刷する」

複数の原稿を 1 枚にまとめてコピー／プリントして節約

●レイアウトコピー／レイアウトプリント

→ コピー ⇒ 48 ページ
「複数の原稿を 1 枚にまとめてコピーする〔レイアウトコピー(N in 1 コピー)〕」
→ プリント ⇒ ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」



コンピューターでファクスを送受信してペーパーレス。必要なものだけプリントして節約

●ファクスをコンピューターで受信する〔PC ファクス受信〕

⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」

A4サイズを超える原稿を受信するとき、自動的に縮小して 1 枚にまとめて節約

●自動的に縮小して印刷する

⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」

通信費を節約

深夜割引を上手に使いましょう。大量のファクスをタイマーで深夜に送れば通信代節約

●指定時刻に送信する〔タイマー送信〕

⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

省エネで節約

印字の質を少し下げてトナーを節約

●トナーを節約する〔トナー節約モード〕

⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」

電力消費をおさえて節約

●スリープモードに入る時間を設定する〔スリープモード〕

⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」

安心 におすすめ

ファクスで安心

きちんと送信できたのか送信結果を知りたい	●送信結果レポートを表示する ●レポート・リストを印刷する	⇒ユーザーズガイド 応用編「レポート・リスト」
宛先の間違いを防ぎたい	●ファクス誤送信防止機能(ダイヤル制限)を設定する	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
かかってきた相手を確認したい	●ナンバー・ディスプレイ設定	⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」 ⇒ユーザーズガイド 応用編「電話帳の登録と編集」
海外への送信で、回線状況が悪いときでも送信エラーを防ぎたい	●海外へ送信する〔海外送信モード〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

制限で安心

勝手に設定変更されないように変更を制限したい	●設定変更できる機能を制限する〔セキュリティ設定ロック〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」
使える機能を制限して情報漏えいを防ぎたい。 無駄な操作を防げばコスト削減にも役立ちます。	●使用できる機能を制限する〔セキュリティ機能ロック〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」

質がきれい におすすめ

コピー／ファクスの質を調整

拡大／縮小を思いどおりに	▶ ●拡大・縮小コピーをする	⇒ 47 ページ「拡大・縮小コピーをする」
原稿の種類によって画質を調整する	▶ ●コピー／ファクス送信の画質を設定する	→ コピー ⇒ 50 ページ「画質を設定する」 → ファクス ⇒ ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
コピーの明るさを調整する	▶ ●明るさを設定する	⇒ 51 ページ「明るさを設定する」
コピーのコントラストを調整する	▶ ●コントラストを設定する	⇒ 51 ページ「コントラストを設定する」
コピーの色の濃さを調整する	▶ ●色の濃さを調整する	⇒ 52 ページ「色の濃さを変更する」
ファクス送受信時の濃度を調整する	▶ ●ファクス送信時の原稿濃度を設定する ▶ ●ファクス受信時の印刷濃度を設定する	⇒ ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」 ⇒ ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」

本書の表記

マークについて

本文中では、マークについて以下のように表記しています。

	本製品をお使いになるにあたって、守っていただきたいことがらを説明しています。
	本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。
⇒XXXページ 「XXX」	参照先を記載しています。(XXXはページ、参照先)
 「XXX」	かんたん設置ガイドの参照先を記載しています。(XXXはタイトル)
 「XXX」	ユーザーズガイド 応用編の参照先を記載しています。(XXXはタイトル名)
 「XXX」	ユーザーズガイド パソコン活用編の参照先を記載しています。(XXXはタイトル名)
 「XXX」	ユーザーズガイド ネットワーク操作編の参照先を記載しています。 (XXXはタイトル名)
 「XXX」	安全にお使いいただくためにの参照先を記載しています。(XXXはタイトル名)
<XXX>	操作パネル上のボタンを表しています。(XXXはボタン名)
「XXX」	コンピューターのディスプレイに表示される項目や入力文字などを表しています。 (XXXは項目名や入力文字)

編集ならびに出版における通告

本書ならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。プラザー工業株式会社は、本書に掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

ユーザーズガイドCD-ROM内のユーザーズガイドを見るときは

付属のユーザーズガイドCD-ROMには、下記のユーザーズガイドがPDF形式で収録されています。

- ユーザーズガイド 応用編
- ユーザーズガイド パソコン活用編
- ユーザーズガイド ネットワーク操作編
- ユーザーズガイド ネットワーク知識編

Windows®の場合

- 1 付属のユーザーズガイド CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする
「ブラザー ユーザーズガイドCD-ROM」の画面が表示されます。

補足

画面が表示されないときは、[マイコンピュータ] からCD-ROMドライブをダブルクリックし、[index.html]をダブルクリックして画面を表示させてください。

- 2 お使いの製品名にカーソルを合わせる



- 3 [ユーザーズガイドを表示する]にカーソルを合わせ、見たいユーザーズガイドをクリックする



注意

ブラウザの上部にセキュリティ警告のメッセージが表示されたときは、メッセージをクリックしてください。そのあと、「ブロックされているコンテンツを許可」をクリックし、「はい」をクリックしてください。

補足

(Microsoft® Internet Explorer® 6以上のみ)
[ユーザーズガイドをPCにコピーする]をクリックして、ユーザーズガイドをコンピューターにコピーすると、CD-ROMがなくてもユーザーズガイドを見ることができます。

Macintoshの場合

- 1 付属のユーザーズガイドCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする
- 2 ユーザーズガイドCD-ROMのアイコンをダブルクリックする
- 3 [index.html] をダブルクリックする
「ブラザー ユーザーズガイドCD-ROM」の画面が表示されます。
- 4 お使いの製品名にカーソルを合わせる



- 5 [ユーザーズガイドを表示する] にカーソルを合わせ、見たいユーザーズガイドをクリックする



インターネット上のサポートの案内を見るときは

付属のドライバー & ソフトウェアCD-ROMから、サポートサイトなどの案内を表示させることができます。

Windows®の場合

- 1 付属のドライバー&ソフトウェアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

「トップメニュー」が表示されます。



画面が表示されないときは、「マイコンピュータ（コンピュータ）」からCD-ROMドライブをダブルクリックし、「start.exe」をダブルクリックしてください。

- 2 「サービスとサポート」をクリックする

- 3 見たい項目をクリックする



- ブラザーホームページ
ブラザーのホームページを表示します。
- ソリューションセンター
サポートサイトを表示します。
- ブラザーダイレクトクラブ
トナーカートリッジなどを購入できるオンラインショップを表示します。
- 消耗品情報
ブラザー純正の消耗品の案内を表示します。

Macintoshの場合

- 1 付属のドライバー&ソフトウェアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

- 2 「サービスとサポート」をダブルクリックする

- 3 見たい項目をクリックする



- Presto! PageManager
Presto! PageManagerのインストーラーをダウンロードします。
- オンラインユーザー登録
オンライン登録画面を表示します。
- ソリューションセンター
サポートサイトを表示します。
- 消耗品情報
ブラザー純正の消耗品の案内を表示します。

本書の使いかた目次

使う前に知ってほしいこと

まずは使ってみましょう

日常のお手入れ

困ったときには

付録(索引)

1 使う前に知ってほしいこと

各部の名称とはたらき

操作パネルの名称とはたらき

ファクス機能ボタン

- <オンフック>ボタン
ファクスを手動送信するときに押します。⇒38 ページ「ファクスを手動で送信する」
- <再ダイヤル/ポーズ>ボタン
最後にダイヤルした番号を再ダイヤルするときに押します。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
ダイヤル番号の入力時にポーズ（待ち時間）を入れるときに押します。
- <ファクス画質>ボタン
ファクス送信する原稿に合わせて、画質を一時的に設定するときに押します。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

コピー機能ボタン

- <オプション>ボタン
明るさ、コントラスト、ソート、トレイ選択などを一時的に設定するときに押します。⇒47 ページ「1 部ごとにコピーする（ソートコピー）」、⇒48 ページ「複数の原稿を1枚にまとめてコピーする（レイアウトコピー（N in 1コピー）」、⇒50 ページ「記録紙トレイを設定する」、⇒51 ページ「明るさを設定する」、⇒51 ページ「コントラストを設定する」
- <拡大/縮小>ボタン
拡大/縮小コピーするときに押します。⇒47 ページ「拡大・縮小コピーをする」
- <コピー画質>ボタン
コピーをする画質を一時的に設定するときに押します。⇒50 ページ「画質を設定する」

ワンタッチボタン

あらかじめ登録したワンタッチダイヤルまたはグループダイヤルを使用するときに押します。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

<シフト>ボタン

ワンタッチダイヤルの9～16を登録またはダイヤルするときは、<シフト>ボタンを押しながらワンタッチボタンを押します。

プリント機能ボタン

- <USBダイレクト>ボタン
USBメモリを接続すると青く点灯します。USBメモリに保存されたデータを印刷するときに押します。⇒53 ページ「USBダイレクトプリントの基本」
- <セキュリティ>ボタン
4桁のパスワードを使用して機密データを印刷するときに使用します。
詳しくは⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」を参照してください。
- <キャンセル>ボタン
プリントデータを削除します。

エラーランプ

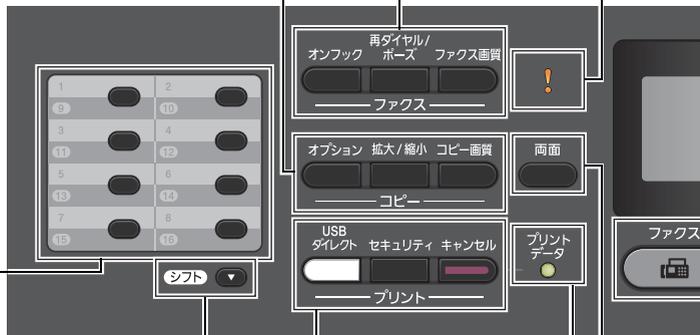
本製品のエラー状態を表します。

プリントデータランプ

本製品のプリントデータ受信状態をランプの点滅によって表します。

<両面>ボタン

両面コピーするときに押します。⇒48 ページ「両面コピーをする」



ナビゲーションキー

⇒20 ページ「ナビゲーションキーを使った基本操作」

ファクスモードのときに押すと短縮宛先の指定ができます。

- 前のレベルメニューに移動します。
- 着信音を小さくします。

機能を確定するときに押します。

入力したデータの削除や一つ前のレベルのメニューに戻す場合に押します。



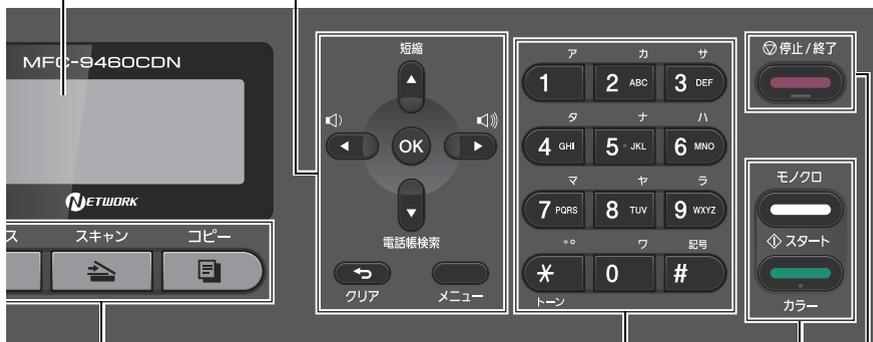
- 次のレベルメニューに移動します。
- 着信音を大きくします。

機能を設定するときに押します。

ファクスモードのときに押すと電話帳の検索ができます。

液晶ディスプレイ

日時、現在の設定内容、操作方法を案内するメッセージなどが表示されます。
長いメッセージはスクロール表示します。

**ダイヤルボタン**

ダイヤルするときや、文字入力をするときに押します。

<スタート (モノクロ/カラー)>ボタン

コピー、ファクス、スキャンを開始するときなどに押します。

モード選択ボタン

ファクス/スキャン/コピーの各モードに切り替えます。現在選択されているモード選択ボタンは青色に点灯します。
⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」

<停止/終了>ボタン

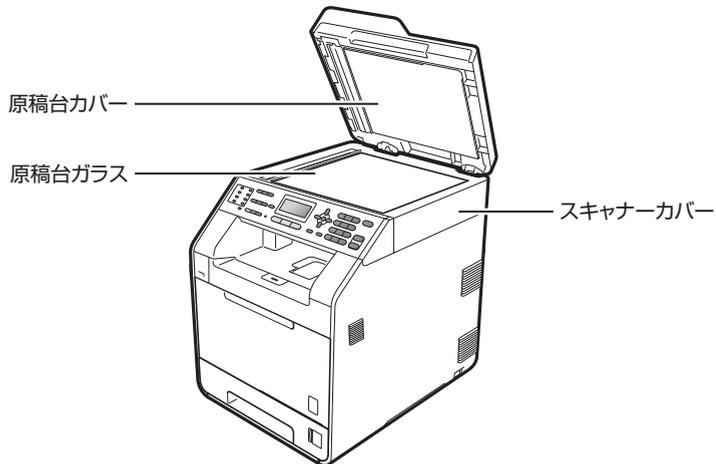
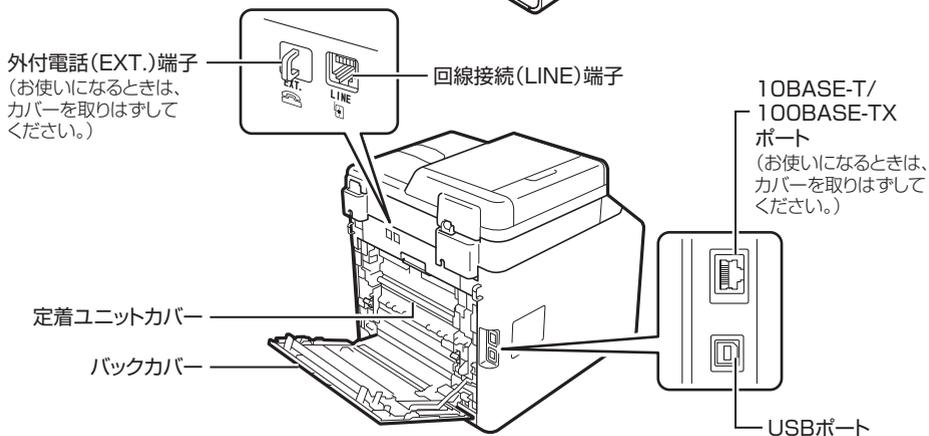
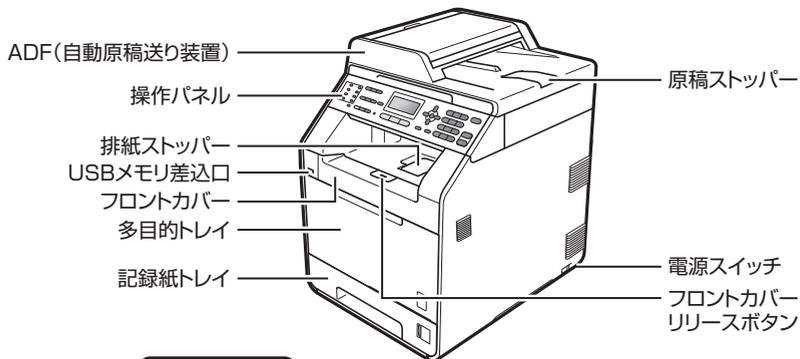
ファクス送信や操作を中止するとき、機能設定を終了するときなどに押します。

ランプについて

本製品の状態を操作上のパネルで、点灯／点滅／消灯によって表します。

プリントデータランプ	本製品の状態
プrint データ  消灯	電源スイッチがOFFになっている、メモリに印刷データがない状態、またはスリープの状態です。
プrint データ  緑 点滅	コンピューターからデータを受信中、データを処理中、または印刷中です。
プrint データ  緑 点灯	メモリに印刷データがある状態。 メモリに何らかの原因で印刷できなかったデータが残っています。対処方法については、⇒97 ページ「ディスプレイにエラーメッセージが表示された！（エラーメッセージ一覧）」を参照してください。エラーメッセージ表示中にデータを受信すると、点滅になります。
エラーランプ	本製品の状態
 消灯	本製品は正常に動作しています。
 橙 点滅	本製品に問題が発生しています。

各部の名称



機能設定操作の基本

ナビゲーションキーを使った基本操作

本製品は、ナビゲーションキーを使って各種設定をしたり、メニューを選択したりすることができます。



ナビゲーションキー	キーの役割
 メニュー	<ul style="list-style-type: none"> メインメニューを表示する
	<ul style="list-style-type: none"> 次のメニューレベルに移る 選択項目を確定（決定）する
	<ul style="list-style-type: none"> メニュー内の項目を表示する
	<ul style="list-style-type: none"> 前のメニューレベルに戻る 着信音量を小さくする
	<ul style="list-style-type: none"> 次のメニューレベルに進む 着信音量を大きくする
 クリア	<ul style="list-style-type: none"> 入力した文字や数字を削除する 前のメニューレベルに戻る
停止 / 終了ボタン	キーの役割
 停止/終了	<ul style="list-style-type: none"> 操作を中止するときや、設定を終了する モード画面に戻る

ダイヤルボタンを使った基本操作

<メニュー>を押したあと、ダイヤルボタンで設定したい機能の番号を直接入力して、各種設定ができます。

補足

- 設定を途中で終了するときは、<停止/終了>を押してください。
- 機能の番号については、⇒136 ページ「機能一覧」を参照してください。

電話回線のこと

自動で回線種別を設定する

電話機コードを接続してから電源コードを接続してください。

本製品は回線種別の自動設定を行います。回線種別の自動設定が行われたあと、液晶ディスプレイには以下のいずれかが表示されます。



: プッシュ回線に設定されたとき



: ダイヤル回線 (20PPS) に設定されたとき

補足

- 回線チェック中に「ピピピ」という警告音が鳴り、右のメッセージが表示されたときは、電話機コードが正しく接続されていません。電話機コードを正しく接続してください。
電話機コード接続しない場合は、<停止/終了>を押してください。「接続を中止します。よろしいですか?」と表示されますので<1>を押してください。

「設定できませんでした」
電話機コード 両端の接続をご確認ください。
または、ご利用の回線業者へお問合せください。

1. OK 2. 中止

- 電話機コードを接続せずにコピーやスキャンなどの機能だけを利用される場合でも、「回線種別を設定してください」と表示されます。メッセージを消去するには、手動で回線種別を設定してください。どの回線種別を選択しても構いません。手動で回線種別を設定する場合は⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。

リサイクル・廃棄のこと

消耗品の回収リサイクルについて

ブラザーでは環境保護に対する取り組みの一環として消耗品のリサイクルに取り組んでおります。使い終わりましたブラザー製消耗品の回収にご協力をお願いいたします。詳しくはホームページを参照してください。

回収対象となる消耗品

・ トナーカートリッジ ・ ドラムユニット ・ ベルトユニット ・ 廃トナーボックス

http://brother.jp/product/support_info/printer/recycle/index.htm

ブラザー 回収

検索



本製品の廃棄について

本製品を廃棄する場合は、使用される環境により処理方法が異なります。

事業所：産業廃棄物処理業者に委託してください。

一般家庭：お住まいの地方自治体の条例に従って廃棄してください。詳しくは、各自治体にお問い合わせください。

本書の使いかた目次

使う前に知ってほしいこと

まずは使ってみましょう

日常のお手入れ

困ったときには

付録(索引)

2 まずは使ってみましょう

記録紙の基本

記録紙セットの流れ

基本的な記録紙のセットの流れを説明します。手順の詳細については、参照先をご確認ください。

STEP 1 セットできるトレイと記録紙を確認する

トレイの場所やセットできる記録紙の種類などを確認して、記録紙を準備します。

⇒ 25 ページ「セットできる記録紙」、⇒ 26 ページ「使用できない記録紙」

STEP 2 記録紙をセットする

記録紙トレイまたは多目的トレイにセットします。正しくセットされていない場合、紙づまりや故障の原因になりますので、十分にご注意ください。

⇒ 27 ページ「記録紙トレイに記録紙をセットする」、⇒ 29 ページ「多目的トレイに記録紙をセットする」

STEP 3 セットした記録紙にあわせて本体の設定を変更する（必要に応じて）

本体で設定されている記録紙の種類やサイズ（お買い上げ時は「普通紙」「A4」）と実際にセットした記録紙の種類やサイズをあわせるため、必要に応じて本体の設定を変更します。

設定した内容は次に変更するまで保存されるので、セットした記録紙と本体の設定内容が一致しているかを必要に応じて確認してください。

⇒ 31 ページ「セットした記録紙にあわせて本体の設定を変更する」

セットできる記録紙

本製品では、以下の表に記載されている種類、サイズ、枚数の記録紙をセットできます。また、記録紙トレイと多目的トレイの他に、オプションの増設記録紙トレイ (LT-300CL) を増設することにより、最大800枚 (80g/m²の普通紙の場合) セットできます。

トレイ名称	記録紙の種類	記録紙のサイズ	枚数 (80g/m ²)
標準記録紙トレイ (トレイ1)	普通紙、普通紙 (厚め) (60g/m ² ~105g/m ²) 再生紙 はがき (30枚)	A4 USレター B5 (ISO/JIS) A5 A5 (横置き) B6 (ISO/JIS) A6 はがき (同等品)	250枚
多目的トレイ (MPトレイ)	普通紙、普通紙 (厚め) (60g/m ² ~105g/m ²) 超厚紙 (105g/m ² ~163g/m ²) 再生紙 はがき ^{※1} (10枚) ラベル紙 封筒 ^{※2} (洋形4号) (3枚) 光沢紙	ユーザー定義サイズ (幅69.8~216.0mm 長さ116.0~ 406.4mm)	50枚
増設記録紙トレイ (トレイ2)	普通紙、普通紙 (厚め) (60g/m ² ~105g/m ²) 再生紙	A4 USレター B5 (ISO/JIS) A5 B6 (ISO/JIS) はがき (同等品)	500枚

※1 : ⇒29 ページ「はがきに印刷する場合」を参照してください。

※2 : ⇒31 ページ「封筒に印刷する場合」を参照してください。

補足

- 宛名ラベルは、レーザープリンター用の物をお使いください。
- 印刷品質を得るために、たて目用紙を使用することをお勧めします。
- 受信したファクスはA4サイズで印刷してください。
- 特殊なサイズや種類の記録紙を使用する場合は、最初に印字テストを行ってください。
- 一度に排紙できる枚数は普通紙 (80g/m²紙) の場合、約150枚です。

使用できない記録紙

つぎのような記録紙は絶対に使用しないでください。印刷品質の低下と本製品にダメージを与えるおそれがあります。これらの紙を使用した結果、生じた製品の故障・破損については保証またはサービス契約対象外となりますので、ご注意ください。

使用できない記録紙

- インクジェット紙
- ノーカーボン紙
- 化学紙（ラミネート紙など）
- ミシン目が入った記録紙
- 極端に滑らかな記録紙
- 極端にざらつきのある記録紙
- カールしている記録紙
カールしている場合は、まっすぐにしてからご使用ください。カールしたままの記録紙をご使用になりますと、紙づまりなどの原因になります。
- 折り目やしわのある記録紙
- ホチキスや付箋のついている記録紙
- 指定された坪量を超える記録紙
- 穴のあいた記録紙（ルーズリーフなど）
- 酸性、アルカリ性の記録紙
中性紙をお使いください。
- よこ目用紙
紙づまりや複数枚の記録紙が一度に送られる原因になります。
- 湿っている記録紙や印刷済みの記録紙
紙づまりや故障の原因になります。
- アイロン転写用紙

使用できない封筒

下記のような封筒は使用しないでください。

- 破れ、反り、しわのある封筒
- 極端に光沢のある封筒、表面がすべりやすい封筒
- 留め金、スナップ、ひもなどが付いた封筒
- 粘着加工を施した封筒
- 袋状加工の封筒
- 折り目がしっかりついていない封筒
- エンボス加工の封筒
- レーザープリンターで一度印刷された封筒
- 内部が印刷された封筒
- 一定に積み重ねられない封筒
- プリンターの印刷可能用紙坪量指定を超える用紙で製造されている封筒
- 作りが不良で、端部がまっすぐでなかったり、一貫して四角になっていない封筒
- 透明な窓付、穴付、くりぬき付、ミシン目付などの封筒
- タテ形（和形）の封筒



注意

- いろいろな種類の封筒を同時にセットしないでください。紙づまりや給紙ミスを起こす恐れがあります。
- 正しく印刷するには、アプリケーションソフトでの原稿サイズの設定とトレイにセットされた記録紙のサイズの設定を同じにしてください。

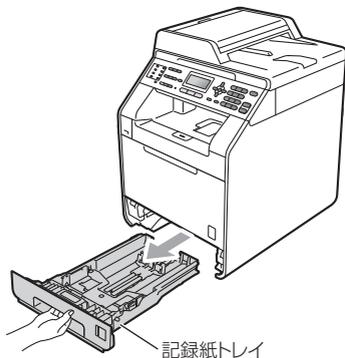
ほとんどの封筒は印刷できますが、封筒の仕上がりによっては、給紙や印刷品質に問題が起こる場合があります。レーザープリンター用の高品質の封筒を購入してください。たくさんの封筒を購入する前に、必ず少数を印刷して正しく印刷されることを確認してから購入してください。

補足

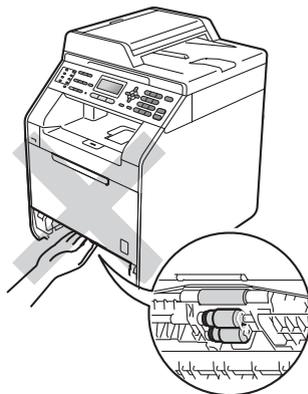
特に推奨する封筒のメーカーはありません。「使用できない封筒」以外の印刷に適した封筒をお選びください。

記録紙トレイに記録紙をセットする**注意**

- 記録紙は数回に分けて入れてください。一度にたくさん入れると紙づまりや給紙ミスの原因になります。
- 種類の異なる記録紙を一緒にセットしないでください。
- 記録紙ガイドが記録紙のサイズに正しくセットされていることを確認してください。正しくセットされていないと、印刷時にトレイ内で記録紙がずれ、故障の原因になります。

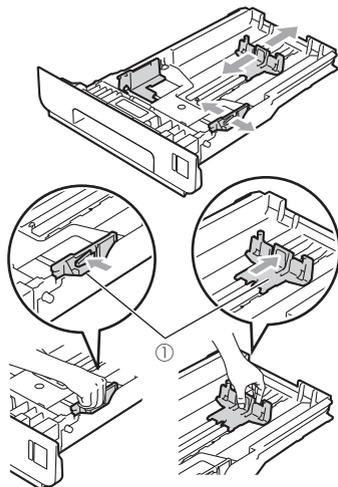
1 記録紙トレイを本製品から完全に引き出す**注意**

給紙ローラーの部分（イラストのグレー部）に手が触れないようにしてください。給紙ローラーが高速で回り、けがをするおそれがあります。



2 記録紙ガイドを使用する記録紙のサイズに合わせる

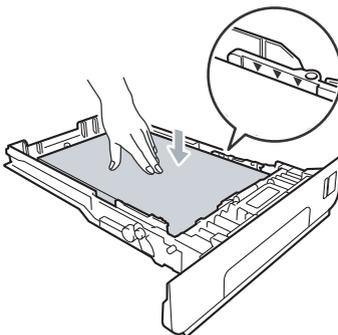
- レバー①をつまみながら使用する記録紙サイズに合わせます。
- 記録紙ガイドのつめがしっかりと溝に、はまっていることを確認してください。



3 紙づまりや給紙ミスを防ぐため、記録紙をよくさばく

4 印字面を下にして記録紙トレイに入れる

記録紙がトレイの中で平らになっていること、▼▼▼マークより下の位置にあることを確認してください。



5 記録紙トレイを本製品に戻す

6 排紙ストッパーを開く

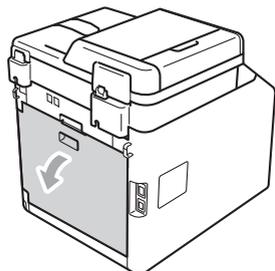


注意

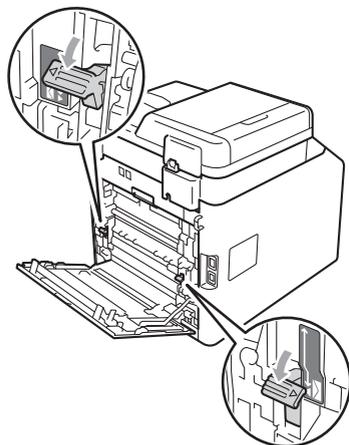
- 印刷された用紙が、上面排紙トレイから滑り落ちないように排紙ストッパーを開いてください。
- 排紙ストッパーを開かない場合には、本製品から出てきた用紙をすぐに取り除くことをおすすめします。

はがきに印刷する場合

- 1 バックカバー（背面排紙トレイ）を開ける



- 2 灰色のレバーを手前に引いて
◀▶マークを✉マークに合わせる



- 3 バックカバー（背面排紙トレイ）を閉じる

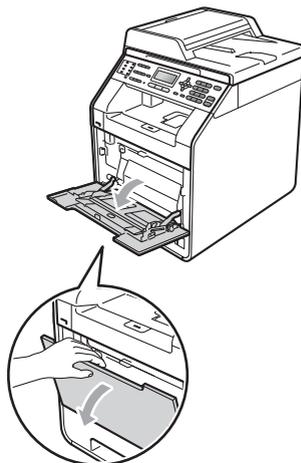
補足

印刷が終わったら灰色のレバーを元の位置まで戻してください。

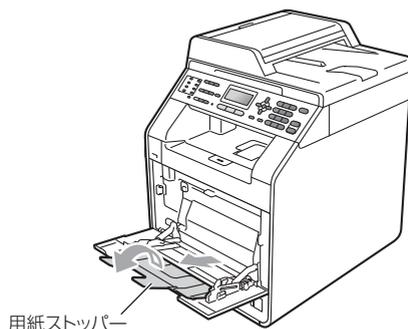
多目的トレイに記録紙をセットする

超厚紙、ラベル紙、封筒、光沢紙は、多目的トレイにセットしてください。

- 1 多目的トレイを開ける

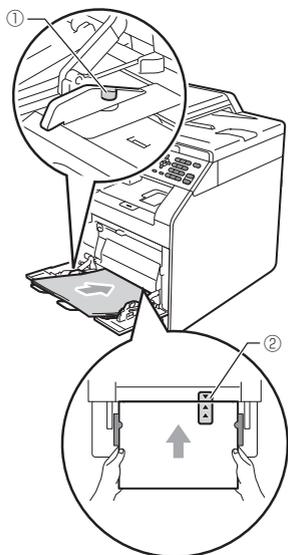


- 2 用紙ストッパーを引き出し、開く



- 3 印字面を上にして記録紙を入れる

4 記録紙ガイドを記録紙に合わせる



補足

- 用紙は用紙ガイドの両側にあるマーク①より下に収まるように入れてください。
- 用紙の先端をマーク②の位置までゆっくりと挿入してください。
- 光沢紙の場合は、紙づまり防止のために一枚ずつ入れてください。

注意

- 記録紙は正しい位置にまっすぐ挿入してください。正しく挿入されないと、印刷のゆがみや紙づまりの原因となります。
- サイズの小さな記録紙を取り出すときは、スキャナーカバーを両手でゆっくり開いてください。



- スキャナーカバーを開いた状態でも印刷ができます。スキャナーカバーを閉めるときは、両手でゆっくり閉じてください。

5 排紙ストッパーを開く



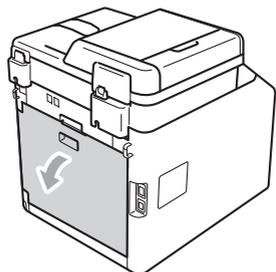
注意

- 印刷された用紙が、上面排紙トレイから滑り落ちないように排紙ストッパーを開いてください。
- 排紙ストッパーを開かない場合には、本製品から出てきた用紙をすぐに取り除くことをおすすめします。

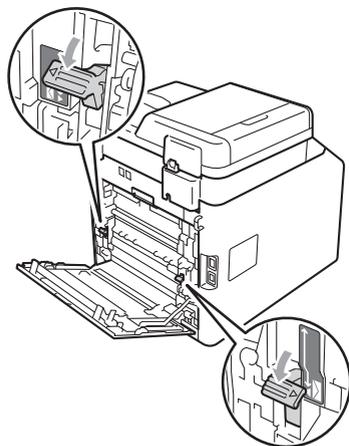
封筒に印刷する場合

封筒に印刷する場合は、印刷前に排紙場所を設定する必要があります。以下の手順に従って本製品を設定してください。

1 バックカバー（背面排紙トレイ）を開ける



2 灰色のレバーを手前に引いて ◀/▶マークを✉マークに合わせる



〔補足〕

- 紙つまりしないように印刷後は封筒をすくに取り出してください。
- 印刷が終わったら灰色のレバーを元の位置まで戻してください。

セットした記録紙にあわせて本体の設定を変更する

本体で設定されている記録紙の種類やサイズ（お買い上げ時は「普通紙」「A4」）と実際にセットした記録紙の種類やサイズをあわせるため、必要に応じて本体の設定を変更します。

記録紙のタイプを設定する

記録紙トレイにセットした記録紙のタイプを選択します。

〔補足〕

光沢紙の場合は、記録紙トレイを「多目的トレイ」に設定してください。

1 <メニュー>→<1>→<2>→<1> を押す

2 以下の手順で記録紙タイプを選択する

1 <▲>または<▼>（記録紙トレイを選択）
→<OK>

「記録紙トレイ #2」は、増設記録紙トレイを装着したときのみ表示され、選択できません。

2 <▲>または<▼>（記録紙タイプを選択）
→<OK>

3 <停止/終了>を押す

記録紙のサイズを設定する

記録紙トレイにセットした記録紙のサイズを選択します。

1 <メニュー>→<1>→<2>→<2>
を押す

2 以下の手順で記録紙サイズを選択する

1 <▲>または<▼> (記録紙トレイを選択)
→<OK>

「記録紙トレイ #2」は、増設記録紙トレイを装着したときのみ表示され、選択できません。

2 <▲>または<▼> (記録紙サイズを選択)
→<OK>

3 <停止/終了>を押す

補足

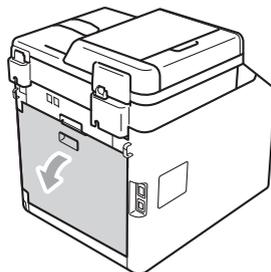
- 記録紙サイズを「フリー」にする場合、記録紙トレイを「多目的トレイ」に設定してください。
- N in 1 コピーをする場合、記録紙サイズを「フリー」に設定することはできません。
- 記録紙トレイを「記録紙トレイ #2」(増設記録紙トレイ装着時)にする場合、「A5 L (A5 (横置き))」または「A6」を設定することはできません。

記録紙が排出される場所

通常、記録紙は本製品前部の排紙トレイから排紙されます。

背面排紙トレイ

バックカバー (背面排紙トレイ) を開くと、多目的トレイに挿入した記録紙を曲げずに背面から取り出すことができます。



補足

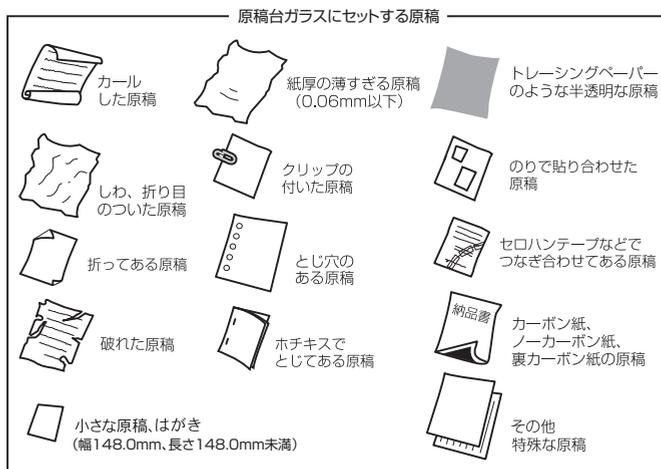
紙づまりしないように、印刷後は記録紙をすぐに取り出してください。

原稿の基本

原稿セットで注意すること

インク、修正液、のりなどが付いている原稿は、完全に乾いてからセットしてください。ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットするときに注意することは、以下のとおりです。

- 原稿のクリップ・ホチキスの針は故障の原因となります。取り外してください。
- 異なるサイズ・厚さ・紙質の原稿を混ぜてセットしないでください。
- 原稿を強く押しこまないでください。原稿づまりを起こしたり、複数枚の原稿が一度に送られることがあります。
- 以下のような原稿は、原稿台ガラスを使用してください。ADF（自動原稿送り装置）では、キャリアシート（市販品）はお使いになれません。



注意

コピーについて

法律によりコピーが禁じられている物があります。以下のような物のコピーには注意してください。

- 法律で禁止されている物（絶対にコピーしないでください）
 - 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債、地方債
 - 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
 - 未使用の郵便切手やはがき（郵便事業株式会社製 通常郵便葉書）
 - 政府発行の印紙および酒税法や物品税法で規定されている証券類
- 著作権のある物
 - 著作権の対象となっている著作物を、個人的に限られた範囲内での使用目的以外でコピーすることは禁止されています。
- その他の注意を要する物
 - 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
 - 政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類

原稿をセットする

原稿をセットするには、ADF（自動原稿送り装置）または、原稿台ガラスの2つの方法があります。原稿の種類や形状に応じてどちらかを選択してください。

セットできる原稿については、⇒33 ページ「原稿セットで注意すること」、⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。

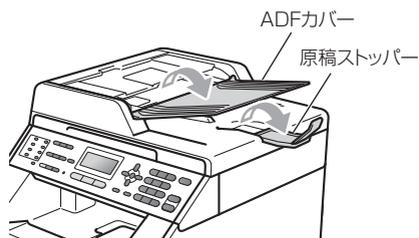
補足

原稿台ガラスやスキャナー読み取り部が汚れていると、印字品質に影響することがあります。原稿台ガラスやスキャナー読み取り部の清掃については、⇒60 ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。

ADF(自動原稿送り装置)にセットする

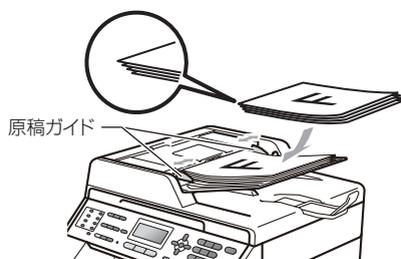
原稿は一度に35枚までセットできます。

1 ADFカバーと原稿ストッパーを開ける



2 原稿の読み取る面を上にして図のようにそろえ、原稿の先が軽く当たるまで差し込む

原稿ガイドは原稿の幅に合わせます。



原稿台ガラスにセットする

原稿は1枚ずつセットします。本などのブックものも原稿台にセットします。

注意

■原稿台カバーは必ず閉じてから送信してください。開いたまま送信すると画像が黒くなる場合があります。

■本や厚みのある原稿のときには、原稿台カバーをていねいに閉じてください。また、上からあまり強く押さないでください。

1 原稿台カバーを持ち上げる

2 原稿ガイド左奥に合わせて、原稿の読み取る面を下にセットする



3 原稿台カバーを閉じる

原稿が本や厚い場合は、原稿台カバーは無理に閉じずに軽く押さえてください。



原稿の読み取り設定をする

使用状況に応じて原稿の読み取り設定をしてください。

原稿台スキャンサイズを設定する

原稿台ガラスからファクスやコピーをする場合の原稿読み取りサイズを選択することができます。

- 1 <メニュー>→<1>→<8>→<1>
を押す
- 2 <▲>または<▼>で読み取りサイズ
を選択して、<OK>を押す
- 3 <停止/終了>を押す

ファクス送信の基本

基本的なファクス送信の流れと機能を説明します。手順の詳細については、参照先をご確認ください。

ファクス送信の流れ

ファクス送信には、「自動送信」と「手動送信」があります。ここでは「自動送信」を例に操作の流れを説明します。手動送信については、⇒38 ページ「ファクスを手動で送信する」を参照してください。

注意

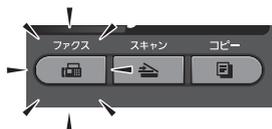
原稿台ガラスを使って複数枚の原稿を送信するときは、リアルタイム送信は「オフ」にしてください。リアルタイム送信については⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。

補足

- 「メモリがいっぱいです」と表示されたときは、本製品のメモリがいっぱいです。メモリに蓄積したファクスを出力してメモリを消去してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。
- メモリに読み込み可能な原稿の枚数はファクス画質と原稿の内容に影響します。

STEP 1 ファクスモードに切り替える

操作パネルの<ファクス>を押してファクスモードに切り替えます。ファクス操作を行う場合には、必ずファクスモードになっていることを確認してください。



ファクスモードに切り替えると、液晶ディスプレイはファクス標準画面に切り替わります。



- ① :年 / 月 / 日
- ② :現在の時刻
- ③ :設定したファクスの受信モード

STEP 2 原稿をセットする

原稿をセットするには次の2つの方法があります。

● ADF（自動原稿送り装置）にセットする

複数枚数の原稿をセットして、自動的に連続してファクスできます。

● 原稿台ガラスにセットする

1枚ずつ原稿を読み取ります。本や厚みのある原稿などもファクスできます。

ADF（自動原稿送り装置）に原稿がないことを確認してください。

⇒33ページ「原稿セットで注意すること」

⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」

STEP 3 ファクス送信の機能を設定する

必要に応じてファクスの送り方を設定します。

● 送信条件

- 同じ原稿を複数の相手に送信する〔同報送信〕
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
- 原稿を読み取りながら送信する〔リアルタイム送信〕
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
- 相手の操作で原稿を送信する〔ポーリング送信〕
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
- 海外へ送信する〔海外送信モード〕 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
- 指定時刻に送信する〔タイマー送信〕 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
- メモリ内の文書を同じ相手に一括送信する〔とりまとめ送信〕
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
- 送付書をつけて送信する ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

● 原稿読み取り

- 画質 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
- 原稿濃度 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

ポイント

複数の設定を組み合わせたいとき

設定後、<1> を押して他の機能を設定します。他の機能を設定しないときは、<2> を押したあと、「STEP4 宛先を指定する」に進みます。

STEP 4 宛先を指定する

● 直接入力

- ダイヤルボタンを使用する
ダイヤルボタンで相手のファクス番号を直接ダイヤルします。

● 電話帳を利用

- ワンタッチダイヤルを使用する
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
- 短縮ダイヤルを使用する
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
- 電話帳から検索する
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」



● その他

- 同じ相手にもう一度送信する〔再ダイヤル〕 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
- チェーンダイヤルを使用する ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

STEP 5 スタートする

● ADF（自動原稿送り装置）から送信するとき

モノクロで送るときは<スタート（モノクロ）>、カラーで送るときは<スタート（カラー）>を押して、ファクスを開始します。

正しく原稿がセットされていない場合は、原稿台ガラスの読み取りがスタートします。

● 原稿台ガラスから送信するとき

■カラーでファクスを送信する場合

<スタート（カラー）>を押して、ファクスを開始します。

カラーで原稿を複数枚送信するときは、ADFに原稿をセットしてください。

■モノクロでファクスを送信する場合

- 原稿が1枚のとき

<2>、または<スタート（モノクロ）>を押して、ファクスを開始します。

- 原稿が複数枚のとき

<1>を押して、次の原稿をセットしたあと<OK>を押します。

この操作を繰り返し、最後の原稿を読み取ったら、<2>または<スタート（モノクロ）>を押して、ファクスを開始します。

ポイント

ファクス送信を途中で中止したいとき

<停止/終了>→<1>を押します。

ファクスを手動で送信する

ファクスを手動で送信する場合は、<オンフック>を押して相手先の受信音を確認してから送信します。

1 ファクスモードに切り替えて、原稿をセットする

2 <オンフック>を押して、相手先のファクス番号を入力する

3 相手先の受信音（ビー）を確認して<スタート（モノクロ/カラー）>を押す
原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、選択画面で<1>を押します。

補足

ファクス送信が終了すると自動的に回線は切れます。

ファクス送信を中止する

原稿の読み込みや送信を途中で中止します。

自動送信のとき

1 <停止/終了>→<1>を押す

手動送信のとき

1 <停止/終了>を押す

ファクス受信の基本

ファクス受信の流れ

受信モードの設定の流れを説明します。受信モードを設定すると、電話モード以外では自動的にファクスを受信します。ここでは、受信したファクスを自動的に本製品の記録紙で印刷する「自動受信」を例に操作の流れを説明します。他に本製品のメモリで受信する「メモリ受信」、受信操作を自分で行う「手動受信」、電話機を使用して受信操作を行う「リモート受信」などさまざまな受信方法があります。詳しくは⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。

STEP 1 受信モードを選ぶ

本製品の受信モードには以下の種類があります。

使用目的に応じて、受信モードを選択します。

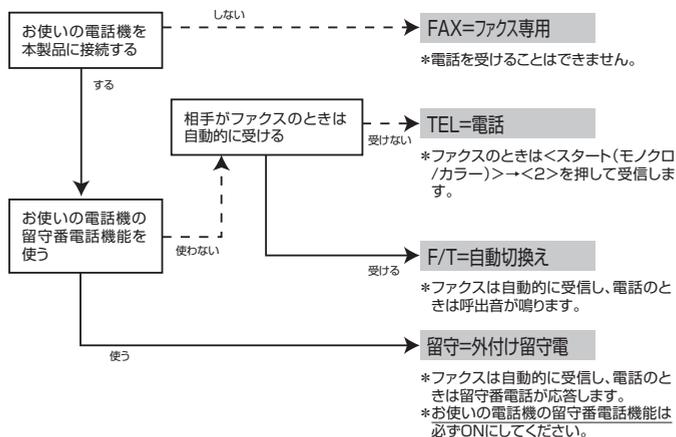
⇒ 40 ページ「受信モードの種類」

● お使いの電話機を本製品と接続しない場合

- ・ ファクス専用モード

● お使いの電話機を本製品と接続する場合

- ・ 自動切換えモード
- ・ 外付け留守電モード
- ・ 電話モード



STEP 2 受信モードを設定する

STEP1 で選択したモードに合わせて、本体を設定します。

⇒ 44 ページ「受信モードを設定する」

STEP 3 受信するファクスの印刷方法を設定する（必要に応じて）

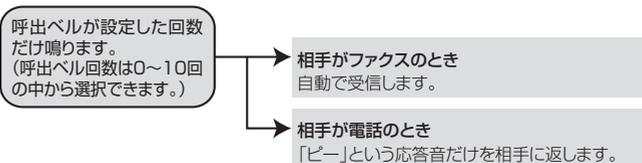
必要に応じて、ファクスの印刷方法を設定します。

- 自動的に縮小して印刷する →ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」
- 印刷の濃さを設定する →ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」
- 受信スタンプを設定する →ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」
- 受信したファクスを両面印刷する →44 ページ「受信したファクスを両面印刷する」

受信モードの種類

ファクス専用モード

本製品をファクス専用として使用するモードです。お買い上げ時はこのモードに設定されています。

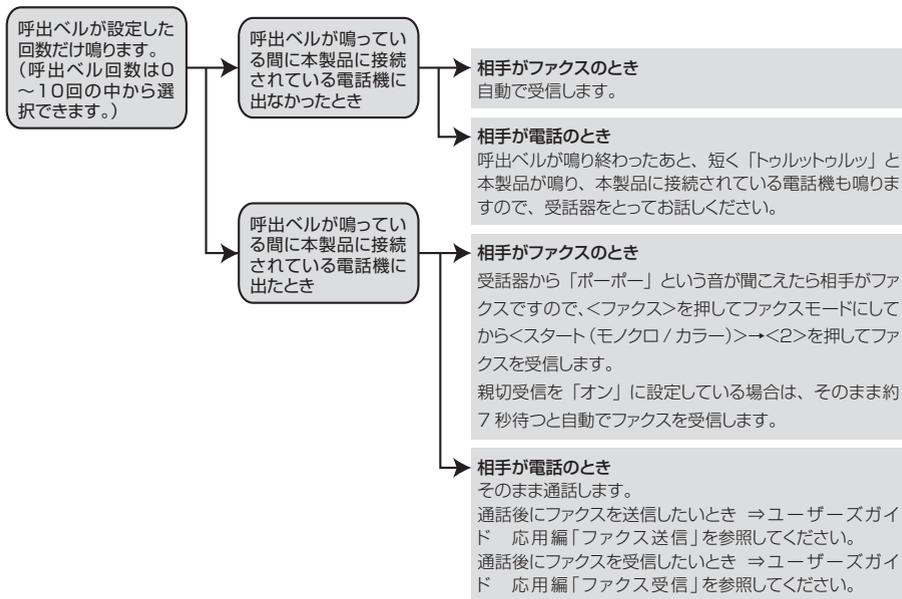


補足

- ファクス専用モードは、電話を受けても「ピー」という応答音を相手に返すだけです。電話機を本製品に接続してお使いになるときは、ファクス専用モードに設定しないでください。
- 呼出回数は、0～10回の中から選択できます。0回に設定すると呼出ベルを鳴らさずに自動受信することができます。ファクスを早く受信したいときは呼出回数を0回が1回に設定してください。呼出回数設定のしかたは⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。

自動切換えモード

ファクスが送られてきたときは自動受信し、電話のときは本製品に接続されている電話機を呼び出す便利なモードです。

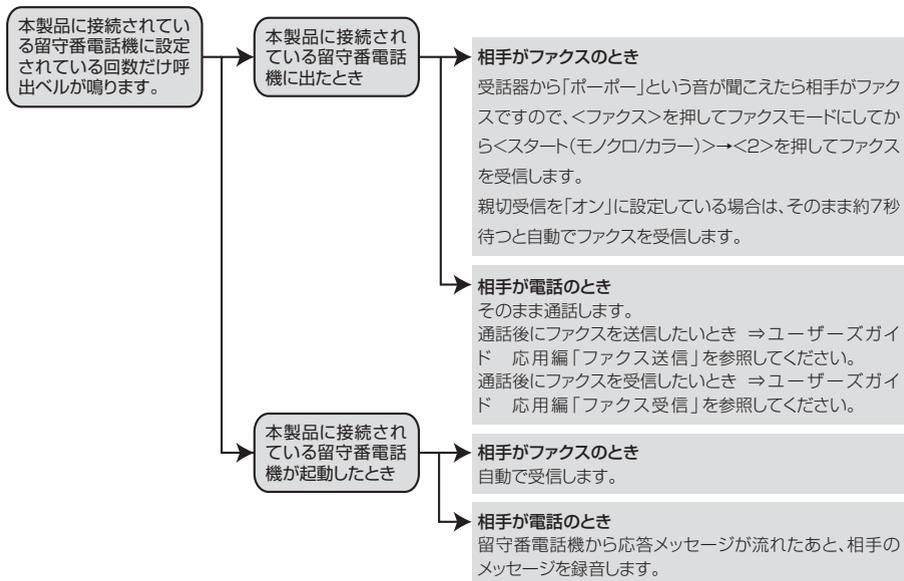


補足

- ADF (自動原稿送り装置) に原稿がセットされていると、ファクス受信できません。原稿を取り除いて <スタート(モノクロ/カラー)> → <2> を押してください。
親切受信をオンに設定しているときは、ADF (自動原稿送り装置) に原稿がセットされていてもファクス受信します。
- 呼出回数の設定のしかたは⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。
- 電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らし、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにすることができます。⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。
- 自動切換えモードでは、本製品に接続されている電話機に出なかったときでも相手に通話料金がかかります。
- 回線状態により「ポーポー」という音が聞こえてもファクスに切り替わらない場合があります。そのときは <スタート(モノクロ/カラー)> → <2> を押してから受話器を戻してください。
- 通話中に突然ファクス受信に切り替わってしまうときは、親切受信の設定を「オフ」にしてください。
- 相手が手動送信ファクスのときは受話器を取っても無音のときがあります。相手が電話でないことを口頭で確認して <スタート(モノクロ/カラー)> → <2> を押してください。
- 呼出回数を7回以上に設定すると、特定の相手からのファクスが受信できない場合があります。呼出回数を6回以下に設定することをお勧めします。
- 本製品と接続している電話機によって電話機から呼出ベルが鳴らない場合があります。このときは、呼出回数の設定を長めにしてください。
- 本製品に複数台の電話機を接続したときは、お使いの電話機のベルが鳴らない場合があります。

外付け留守電モード

ファクスを自動で受けたい場合、また、本製品に接続されている留守番電話機で電話やメッセージを受けたい場合に適したモードです。



注意

本製品に接続されている留守番電話機の設定に関する留意点を以下に示します。

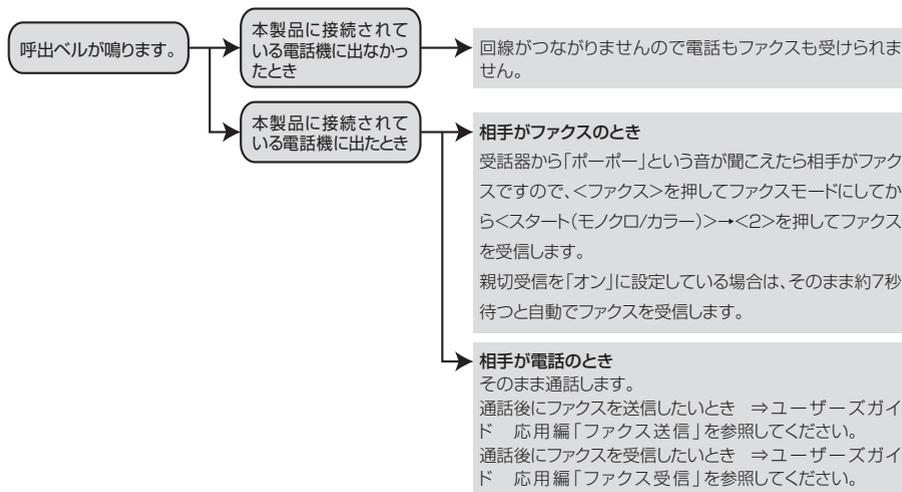
- 留守番電話機の設定は「留守」にしておいてください。
- 応答するまでのベル回数は短め（1～2回）に設定してください。
- 応答メッセージは、最初に4、5秒くらい無音状態を入れ、できるだけ短め（20秒以内）に録音してください。
- 応答メッセージには、BGMを録音しないでください。
- 録音用のテープがある場合は、テープが留守番電話機に入っていることを確認してください。

補足

- ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていると、ファクス受信できません。原稿を取り除いて <スタート(モノクロ/カラー)>→<2>を押してください。
親切受信をオンに設定しているときは、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていてもファクス受信します。
- メッセージがまったく留守番電話機が応答しない場合は、ファクスも自動的に応答しません。
- 留守番電話機が持っている機能のうち、使えない機能（転送機能など）が生じる場合があります。

電話モード

本製品に接続されている電話に出たあと、手動でファクスが受けられます。主に、本製品に接続した電話を使い、ファクスはあまり受けない場合に適したモードです。



補足

ファクス受信について

- 本製品に接続されている電話機で電話に出たときもファクス受信できます。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていると、ファクス受信できません。原稿を取り除いて<スタート(モノクロ/カラー)>→<2>を押してください。親切受信をオンに設定しているときは、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていてもファクス受信します。
- 相手が手動送信ファクスのときは受話器を取っても無音のときがあります。相手が電話でないことを口頭で確認してから<スタート(モノクロ/カラー)>→<2>を押してください。

キャッチホン[※]契約をされているとき

- NTTとキャッチホンまたはキャッチホンIIの契約をされている方は、キャッチホン/キャッチホンIIサービスを利用することができます（局番なしの116番にお問い合わせください）。
- キャッチホンの具体的な操作方法については、お使いの電話機の操作方法に従ってください。
- ファクスの送信や受信中にキャッチホンの電話がかかると、画像が乱れたり、通信が中断することがあります。画像が乱れることが気になる方は、キャッチホンIIのご利用をお勧めします。
- キャッチホンでファクス受信するときに、ファクスを何枚も受信し、時間がかかる場合がありますので、最初の相手との通話が終わってからファクス受信することをお勧めします。

※「キャッチホン」はNTTの登録商標です。ご利用の電話会社によっては同様のサービスでも名称が異なることがあります。

受信モードを設定する

- 1 <メニュー>→<0>→<1>を押す
- 2 <▲>または<▼>で受信モードを選択して、<OK>を押す
- 3 <停止/終了>を押す

補足

- 選択した受信モードは、液晶ディスプレイに日付、時刻とともに表示されます。
- 「FAX=ファクス専用」モード以外を設定した場合は、必ず電話機を本製品に接続してください。

受信したファクスを両面印刷する

受信したファクスを出力するとき、両面印刷するよう設定できます。
両面印刷できる記録紙は、A4 サイズ (60g/m² ~ 105g/m²) のみです。

- 1 <メニュー>→<2>→<1>→<0>を押す
- 2 <▲>または<▼>で「オン」を選択して、<OK>を押す
- 3 <停止/終了>を押す

補足

両面印刷を「オン」にすると「自動縮小」の設定に関係なく、内部的に「自動縮小」が「オン」と同じ状態で印刷されます。

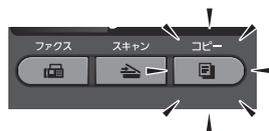
コピーの基本

コピーの流れ

基本的なコピー操作の流れを説明します。手順の詳細については、参照先をご確認ください。

STEP 1 コピーモードに切り替える

操作パネルの<コピー>を押してコピーモードに切り替えます。コピー操作を行う場合には、必ずコピーモードになっていることを確認してください。



コピーモードに切り替えると、液晶ディスプレイはコピー標準画面に切り替わります。

① コントラスト : -00000+
 ② 画質 : 自動
 ③ 倍率 : 100%
 ④ 記録紙トレイ: MP > #1
 ⑥ ▲で選択/スタート

- ①: コントラスト
- ②: コピー画質
- ③: 倍率
- ④: 記録紙トレイ
- ⑤: コピー枚数
- ⑥: ボタンの操作

STEP 2 原稿をセットする

原稿をセットするには次の2つの方法があります。

● ADF（自動原稿送り装置）にセットする

複数枚数の原稿をセットして、自動的に連続してコピーできます。

原稿が正しくセットされると、ディスプレイに「原稿セットOK」が表示されます。

● 原稿台ガラスにセットする

1枚ずつ原稿を読み取ります。本や厚みのある原稿などもコピーできます。

ADF（自動原稿送り装置）に原稿がないことを確認してください。

⇒ 33 ページ「原稿セットで注意すること」、⇒ ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」

STEP 3 部数を入力する

部数（1～99）をダイヤルボタンで入力します。

ポイント

コピー部数を取り消したいとき
＜ 停止 / 終了 ＞ を押します。



STEP 4 コピー設定をする

必要に応じてコピーの仕上がりがたを設定します。

⇒ 46 ページ「コピー設定について」

● コピーの出力形式を設定したいとき

■ ソートコピー ⇒ 47 ページ「1部ごとにコピーする〔ソートコピー〕」

■ 両面コピー ⇒ 48 ページ「両面コピーをする」

■ レイアウトコピー（N in 1 コピー）⇒ 48 ページ「複数の原稿を1枚にまとめてコピーする〔レイアウトコピー（N in 1 コピー）〕」

● コピーの倍率を変更したいとき

■ 拡大・縮小コピー ⇒ 47 ページ「拡大・縮小コピーをする」

● コピーの質を調整したいとき

■ 画質 ⇒ 50 ページ「画質を設定する」

■ 明るさ ⇒ 51 ページ「明るさを設定する」

■ コントラスト ⇒ 51 ページ「コントラストを設定する」

■ 色の濃さ ⇒ 52 ページ「色の濃さを変更する」

ポイント

ソートコピーをしたいとき

ADF（自動原稿送り装置）を使ってコピーしてください。

STEP 5 スタートする

● ADF（自動原稿送り装置）からコピーするとき

モノクロでコピーするときは<スタート（モノクロ）>、カラーでコピーするときは<スタート（カラー）>を押します。

正しく原稿がセットされていない場合は、原稿台ガラスの読み取りがスタートします。

● 原稿台ガラスからコピーするとき

モノクロでコピーするときは<スタート（モノクロ）>、カラーでコピーするときは<スタート（カラー）>を押します。

ポイント

コピーを途中で中止したいとき

<停止/終了>を押します。

コピー設定について

必要に応じて、コピーの仕上げに関する設定を行います。

設定には「自分がコピーするときだけ一時的に設定するもの」と「設定内容を保存していつでも設定した内容でコピーするもの」の2種類があります。

分類	機能	一時的な設定 (操作の入力口)	保存する設定 (操作の入力口)	参照
倍率	拡大/縮小	○ (<拡大/縮小>)	×	⇒47 ページ「拡大・縮小コピーをする」
出力形式	ソートコピー	○ (<オプション>)	×	⇒47 ページ「1部ごとにコピーする〔ソートコピー〕」
	両面コピー	○ (<両面>)	×	⇒48 ページ「両面コピーをする」
	レイアウトコピー	○ (<オプション>)	×	⇒48 ページ「複数の原稿を1枚にまとめてコピーする〔レイアウトコピー (N in 1コピー)〕」
	トレイ選択	○ (<オプション>)	○ (<メニュー> →<1>→<5> →<1>)	⇒50 ページ「記録紙トレイを設定する」
質	画質	○ (<コピー画質>)	○ (<メニュー> →<3>→<1>)	⇒50 ページ「画質を設定する」
	明るさ	○ (<オプション>)	○ (<メニュー> →<3>→<2>)	⇒51 ページ「明るさを設定する」
	コントラスト	○ (<オプション>)	○ (<メニュー> →<3>→<3>)	⇒51 ページ「コントラストを設定する」
	カラー調整	×	○ (<メニュー> →<3>→<4>)	⇒52 ページ「色の濃さを変更する」

拡大・縮小コピーをする

一時的に倍率を変えてコピーすることができます。

1 コピーモードに切り替えて、原稿をセットしたあと、部数を入力する

2 <拡大/縮小>を2回押し、<▲>または<▼>で倍率を選択して、<OK>を押す

「カスタム」を選択したときは、ダイヤルボタンで倍率(25%~400%)を入力して<OK>を押してください。

補足

「倍率」を選択後、<▶>を押して<▲>または<▼>で選択することもできます。

3 <スタート(モノクロ/カラー)>を押す

補足

原稿によっては画像が欠ける場合があります。

1部ごとにコピーする〔ソートコピー〕

コピーした記録紙を1部ごとにまとめて、ページ順に並べて出力します。

原稿はADF(自動原稿送り装置)にセットしてください。原稿台ガラスからソートコピーはできません。



ソートコピー

1 コピーモードに切り替えて、原稿をセットしたあと、部数を入力する

2 以下の手順でソートコピーを設定する

- 1 <オプション>
- 2 <▲>または<▼>(「スタック/ソートコピー」を選択) →<OK>
- 3 <▲>または<▼>(「ソートコピー」を選択) →<OK>

3 <スタート(モノクロ/カラー)>を押す

補足

原稿の読み込み中に「メモリがいっぱいです」と表示されたときは⇒97 ページ「ディスプレイにエラーメッセージが表示された! (エラーメッセージ一覧)」を参照してください。

両面コピーをする

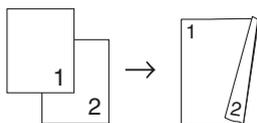
片面2枚の原稿を両面1枚にコピーすることができます。両面コピーはADF（自動原稿送り装置）から原稿送りさせることをお勧めします。両面印刷ができる記録紙は、A4サイズ（60g/m²～105g/m²）のみです。

補足

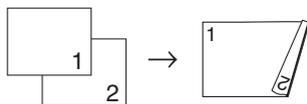
両面原稿を片面2枚や両面1枚にコピーすることはできません。

長辺綴じ

片面 → 両面
(縦長)

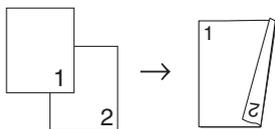


(横長)

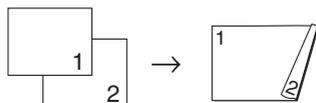


短辺綴じ

片面 → 両面
(縦長)



(横長)



1 コピーモードに切り替えて、原稿をセットしたあと、部数を入力する

2 以下の手順でコピー方法を設定する

- 1 <両面>
- 2 <▲>または<▼>（コピー方法を選択）→ <OK>

3 <スタート（モノクロ/カラー）>を押す

原稿を原稿台ガラスにセットしている場合は<1>を押して、次の原稿をセットしたあと、<OK>を押します。この操作を繰り返し、最後の原稿を読み取ったら、<2>を押します。

複数の原稿を1枚にまとめてコピーする〔レイアウトコピー（N in 1コピー）〕

2枚または4枚の原稿を1枚にコピーすることができます。

コピーのしかたは以下の種類から選択できます。

補足

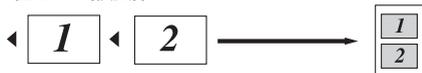
2 in 1 IDコピーの場合は、⇒49 ページ「2 in 1 IDコピーをする」を参照してください。

ADF（自動原稿送り装置）の場合

<2 in 1（縦長）>



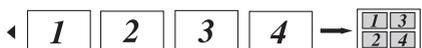
<2 in 1（横長）>



<4 in 1（縦長）>



<4 in 1（横長）>

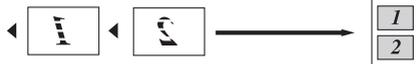


原稿台ガラスの場合

<2 in 1 (縦長)>



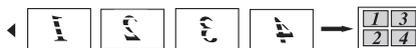
<2 in 1 (横長)>



<4 in 1 (縦長)>



<4 in 1 (横長)>



1 コピーモードに切り替えて、原稿をセットしたあと、部数を入力する

2 以下の手順でレイアウトコピーを設定する

- 1 <オプション>
- 2 <▲>または<▼> (「レイアウトコピー」を選択) →<OK>
- 3 <▲>または<▼> (レイアウトを選択) →<OK>

3 <スタート (モノクロ/カラー)>を押す

原稿を原稿台ガラスにセットしている場合は<1>を押して、次の原稿をセットしたあと、<OK>を押します。
この操作を繰り返し、最後の原稿を読み取ったら、<2>を押します。

補足

- レイアウトコピー (N in 1コピー) では、拡大/縮小機能は使えません。
- 記録紙のサイズは「A4」または「USレター」がセットされていることを確認してください。

2 in 1 IDコピーをする

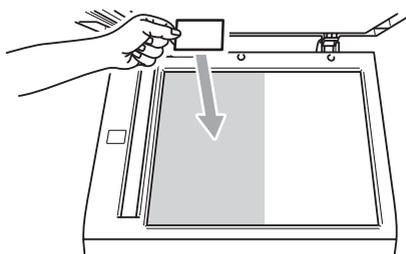
IDカードや身分証明書などカードサイズの裏表を、そのサイズのままコピーすることができます。原稿は原稿台ガラスにセットしてください。ADF (自動原稿送り装置) からコピーはできません。

補足

IDカードや身分証明書などの個人情報の取り扱いには十分、注意してください。

1 コピーモードに切り替えて、部数を入力する

2 原稿台ガラスの左側 (イラストのグレー部) に、裏向きにして印刷するカードをおく



3 以下の手順でレイアウトコピーを設定する

- 1 <オプション>
- 2 <▲>または<▼> (「レイアウトコピー」を選択) →<OK>
- 3 <▲>または<▼> (「2 in 1 (IDカード)」を選択) →<OK>

補足

「2 in 1 (IDカード)」を選択すると、画質の設定は「写真」、コントラストの設定は「-□□□□■+」になります。

4 <スタート (モノクロ/カラー)>を押す

カードの片面のスキャンが終わると、ディスプレイに「IDカードを裏返してください スタートボタンを押してください」と表示されます。

- 5 原稿台ガラスのカードを裏返して<スタート (モノクロ/カラー)>を押す

記録紙トレイを設定する

一時的に設定する

コピーするときに使用するトレイを、一時的に変更することができます。

- 1 コピーモードに切り替えて、原稿をセットしたあと、部数を入力する

- 2 以下の手順でトレイを設定する

- 1 <オプション>
- 2 <▲>または<▼> (「トレイ選択」を選択) →<OK>
- 3 <◀>または<▶> (トレイを選択) →<OK>

- 3 <スタート (モノクロ/カラー)>を押す



「A>B」を選択すると、Aトレイ、Bトレイの順に記録紙を給紙します。

設定内容を保存する

ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

- 1 <メニュー>→<1>→<5>→<1>を押す

- 2 <▲>または<▼>で記録紙トレイを選択して、<OK>を押す
<OK>を押すと、設定した内容が保存されます。

- 3 <停止/終了>を押す

画質を設定する

「画質」の設定を変更します。
画質は以下の中から選択することができます。

- ・「自動」
自動的に画質を調整します。
- ・「テキスト」
薄い文字をはっきりと印刷します。
- ・「写真」
グラデーションをきれいに印刷します。
- ・「カーボン」
カーボン紙の文字をきれいに印刷します。

一時的に設定する

一時的に画質を変えてコピーすることができます。

- 1 コピーモードに切り替えて、原稿をセットしたあと、部数を入力する

- 2 以下の手順で画質を設定する

- 1 <コピー画質>
- 2 <◀>または<▶> (画質を選択) →<OK>

- 3 <スタート (モノクロ/カラー)>を押す

設定内容を保存する

ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

- 1 <メニュー>→<3>→<1>を押す

- 2 <▲>または<▼>で画質を選択して、<OK>を押す
<OK>を押すと、設定した内容が保存されます。

- 3 <停止/終了>を押す

明るさを設定する

一時的に設定する

「明るさ」の設定を変更します。

1 コピーモードに切り替えて、原稿をセットしたあと、部数を入力する

2 以下の手順で明るさを設定する

- 1 <オプション>
- 2 <▲>または<▼> (「明るさ」を選択) → <OK>
- 3 <◀>または<▶> (明るさを選択) → <OK>

3 <スタート (モノクロ/カラー)> を押す

設定内容を保存する

ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

1 <メニュー> → <3> → <2> を押す

2 <◀>または<▶>で明るさを選択して、<OK>を押す

<▶>を押すと明るくなり、<◀>を押すと暗くなります。

3 <停止/終了>を押す

コントラストを設定する

「コントラスト」の設定を変更します。コントラストは以下のように設定することができます。

- <▶>
原稿の濃淡がよりはっきりとなります。(濃い部分はより濃く、薄い部分はより薄くなります。)
- <◀>
原稿の濃淡の差が少なくなります。(濃い部分と薄い部分の差がなくなり、同じような濃淡になります。)

一時的に設定する

一時的にコントラストを変えてコピーすることができます。

1 コピーモードに切り替えて、原稿をセットしたあと、部数を入力する

2 以下の手順でコントラストを設定する

- 1 <オプション>
- 2 <▲>または<▼> (「コントラスト」を選択) → <OK>
- 3 <◀>または<▶> (コントラストを選択) → <OK>

3 <スタート (モノクロ/カラー)> を押す

設定内容を保存する

ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

1 <メニュー> → <3> → <3> を押す

2 <◀>または<▶>でコントラストを選択して、<OK>を押す

<OK>を押すと、設定した内容が保存されます。

3 <停止/終了>を押す

色の濃さを変更する

コピーの「色の濃さ」を変更します。
ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

1 <メニュー>→<3>→<4>を押す

34. カラー調整

1. レッド
2. グリーン
3. ブルー

▲▼で選択&OKボタン

2 <▲>または<▼>で調整する色を選択して<OK>を押す

「1. レッド」「2. グリーン」「3. ブルー」の中から選択します。

3 <◀>または<▶>で濃さを調整して、<OK>を押す

濃さは5段階で調整できます。
<▶>を押すと色味が増し、<◀>を押すと色味が減少します。

4 <停止/終了>を押す

USBダイレクトプリントの基本

USBダイレクトプリントの流れ

コンピューターを使用しないで、USBメモリから直接データをプリントする操作の流れを説明します。

補足

- セキュリティ設定やUSBハブ機能付きのUSBメモリなど、ご使用のUSBメモリによっては、本製品に接続しても動作しない場合があります。
- 本製品は、PictBridge（ピクトブリッジ）に対応していません。ただし、お使いのデジタルカメラがマストレージモードに対応している場合は、デジタルカメラをマストレージ接続モードに設定し、本製品とUSBケーブルで接続することにより、デジタルカメラ内のメモ리카ードをUSBメモリと同様に記憶装置として認識します。本製品の操作パネルを操作して写真データを印刷してください。

STEP 1 データ形式を確認する

USBダイレクトプリントで印刷できるデータ形式は以下のとおりです。

ただし、PRN形式の場合は、STEP4で印刷の設定をすることができません。

- ・ PDF version1.7 (JBIG2 イメージファイル、JPEG2000 イメージファイルおよびレイヤ情報を持つファイルは未対応です。)
- ・ JPEG
- ・ Exif+JPEG
- ・ PRN (本製品のプリンタードライバーで作成されたデータ)
- ・ TIFF (ブラザー製品でスキャンしたデータ)
- ・ PostScript® 3™ (本製品の BR-Script3 プリンタードライバーで作成されたデータ)
- ・ XPS 形式

ポイント

PRN形式のファイルを保存したいとき
プリンタードライバー画面で「ファイルへ出力」項目にチェックをつけます。

STEP 2 USBメモリを本製品に接続する

USBメモリをUSBメモリ差込口に接続します。本製品がUSBメモリを認識すると、<USBダイレクト>が青く点灯します。



※本製品がデープスリープモードのときは、USBメモリを接続しても<USBダイレクト>は青く点灯しません。<OK>を押してから、USBメモリを接続してください。

STEP 3 印刷するフォルダーやデータを選択する

<USB ダイレクト> を押して、<▲> または <▼> でフォルダーやデータを選択したあと、<OK> を押します。

● 操作方法

- ・ フォルダー内を表示するときは、<OK> を押します。
- ・ 一つ上の階層に戻るときは、<クリア / バック> を押します。

● フォルダー名やデータ名の表示

- ・ フォルダー名の前に「/」が表示されます。
- ・ 半角 30 文字以上のデータ名を選択しているときは、データ名がスクロールで表示されます。
- ・ ディスプレイに表示できない特殊な文字は「?」と表示されます。

STEP 4 印刷内容を設定する

<▲> または <▼> で以下の設定項目を選択したあと、<OK> を押します。

- ・ 記録紙サイズ
- ・ 記録紙タイプ
- ・ レイアウト
- ・ 印刷の向き（JPEG 形式選択時のみ）
- ・ 両面印刷：
JPEG 形式選択時は設定できません。
両面印刷できる記録紙は、A4 サイズ
(60g/m² ~ 105g/m²) のみです。
- ・ 部単位
- ・ トレイ選択
- ・ プリント画質
- ・ PDF オプション（PDF 形式選択時のみ）

ポイント

印刷内容をあらかじめ設定したいとき
操作パネルからのメニューで設定しておく
ことができます。詳しくは⇒ユーザー
ズガイド 応用編「USB ダイレクトプリ
ント」を参照してください。

STEP 5 プリントを開始する

以下の順で操作を行い、プリントを開始します。

● プリントしたい部数（1 ~ 999）をダイヤルボタンで入力する

● カラープリントする場合は<スタート（カラー）>、モノクロプリントする場合は<スタート（モノクロ）>を押す

「印刷中。デバイスを抜かないでください。」というメッセージが表示されている間は、USB メモリを抜かないでください。

● <停止 / 終了>を押す

プリントの基本

プリントの流れ

コンピューターからプリントする操作の流れを説明します。手順の詳細については、参照先をご確認ください。

STEP 1 準備する (プリンタードライバーのインストール)

付属 CD-ROM 中にあるプリンタードライバーをインストールします。

- ⇒かんたん設置ガイド「STEP2 コンピューターに接続する」
- ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」

STEP 2 コンピューターで印刷を選択する

アプリケーションソフトの [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。

- ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」

STEP 3 プリンターを選択する

[印刷] ダイアログボックスで本製品のプリンター名を選択し、[プロパティ] をクリックします。

- ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」

STEP 4 印刷内容を設定する

[プロパティ] ダイアログボックスで印刷の詳細を設定し [OK] をクリックします。

用紙サイズ、部数、用紙種類、解像度、カラー/モノクロ、レイアウト、両面印刷/小冊子印刷、給紙方法などを設定します。

- ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」

STEP 5 プリントを開始する

[OK] をクリックします。

スキヤンの基本

スキヤンの流れ

原稿をコンピューターに読み込みます。スキヤンには、操作パネルからスキヤンする方法とコンピューターからスキヤンする方法があります。手順の詳細については、参照先をご確認ください。

STEP 1 準備する (スキャナードライバーのインストール、ネットワーク設定)

スキヤンする前に以下の2つを準備します。すでに準備が終了している場合は、STEP2 から操作してください。

● スキャナードライバーをインストールする

付属 CD-ROM 中にあるスキャナードライバーをインストールします。

- ⇒かんたん設置ガイド「STEP2 コンピューターに接続する」
- ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「スキャナーとして使う」

● ネットワークを設定する

ネットワークプリンターとして使用している場合は、ネットワークの設定は終了しています。

まだネットワークの設定が終了していない場合は本製品に TCP/IP を設定します。

- ⇒ユーザーズガイド ネットワーク操作編「ネットワークの設定」

STEP 2 スキヤンのしかたを決める

スキヤンの目的や特長によってスキヤンのしかたが異なります。ご都合に応じて最適なスキヤン方法を決めてから操作を始めてください。

- ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「スキャナーとして使う」

STEP 3 原稿をセットする

原稿をセットするには次の2つの方法があります。

● ADF (自動原稿送り装置) にセットする

複数枚数の原稿をセットして、自動的に連続してスキヤンできます。

● 原稿台ガラスにセットする

1 枚ずつ手動でスキヤンします。本や厚みのある原稿などもスキヤンできます。

- ⇒ 33 ページ「原稿セットで注意すること」、⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」

●操作パネルからスキャンする

以降の操作の詳細は以下を参照してください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「スキャナーとして使う」

STEP 4 スキャンモードに切り替える

操作パネルの〈スキャン〉を押してスキャンモードに切り替えます。

スキャン操作を行う場合には、必ずスキャンモードになっていることを確認してください。

STEP 5 スキャンの機能を選択する

機能を選択します

- ・スキャン to Eメール添付
- ・スキャン to イメージ
- ・スキャン to OCR
- ・スキャン to ファイル
- ・スキャン to FTP
- ・スキャン to ネットワークファイル
- ・スキャン to USB

STEP 6 保存先を選択する

スキャンしたデータの保存先を選択します。
USB 接続の場合は保存先の選択は必要ありません。必要に応じて画質やファイル名などを設定します。

STEP 7 スキャンを開始する

〈スタート(モノクロ/カラー)〉を押します。

●コンピューターからスキャンする

以降の操作の詳細は以下を参照してください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「スキャナーとして使う」

STEP 4 アプリケーションでスキャンを選択する

アプリケーション側でスキャンボタンまたはスキャンメニューを選択します。

STEP 5 スキャンの詳細を設定する

ダイアログボックスで解像度、明るさ、画像の種類などスキャンの詳細を設定します。

STEP 6 スキャンを開始する

ダイアログボックスでスキャン開始を指示します。

3 日常のお手入れ

定期メンテナンス

下記の部品を定期的に清掃することをお勧めします。

- ・記録紙トレイ
- ・原稿台ガラス
- ・スキャナーウインドー
- ・ドラムユニット
- ・コロナワイヤー
- ・給紙ローラー

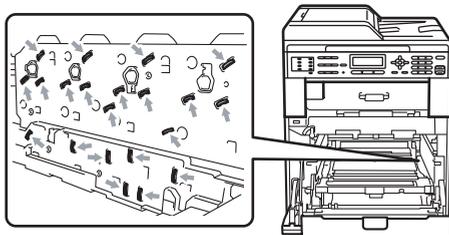
警告

- 本製品を清掃する際、可燃性のスプレー、有機溶剤などは使用しないでください。また、近くでのご使用もおやめください。火災・故障・感電の原因になります。
可燃性スプレーの例は次のとおりです。
・ほこり除去スプレー ・殺虫スプレー ・アルコールを含む除菌、消臭スプレーなど
- トナーがこぼれたときは、ほうきで掃除するか、水で湿らせ固く絞った布でふき取ってください。掃除機は使用しないでください。掃除機でトナーを吸い取ると、掃除機内で粉塵が発火し、故障や火災の原因となります。

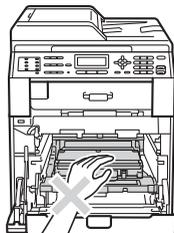


注意

- 内部のお手入れをするときは、必ず電源スイッチをOFFにしてから行ってください。
- 本製品の内部を操作するときは、以下の図で矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損するおそれがあります。



- トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。
- イラストのグレーの部分には触れないようにしてください。皮脂が付着するときにきれいに印刷されません。



- ドラムユニットを持つときは、ドラムユニットの緑色の取っ手を持ってください。



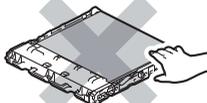
- トナーカートリッジ、ドラムユニット、ベルトユニットを持つときは、イラストのグレーの部分には触れないようにしてください。皮脂が付着するときに印刷されません。

<トナーカートリッジ>

<ドラムユニット>



<ベルトユニット>



- ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。

本製品外部を清掃する

注意

- 中性洗剤を使ってください。シンナーやベンジンを浸した布で拭かないでください。
- アンモニアの成分を含んでいる洗剤は使わないでください。
- 操作パネルはアルコールを浸した布で拭かないでください。操作パネルにひびが入ったり、パネル上の印刷が消えたりすることがあります。

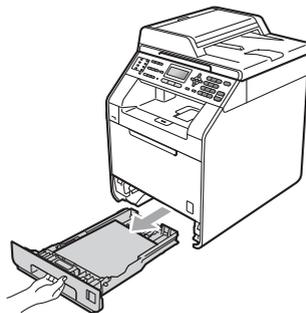
本製品は柔らかい布で軽く拭いてください。

1 電源スイッチをOFFにする

2 コード、ケーブルを取り外す

- 1 電話機コードとすべてのケーブルを取り外す
- 2 電源コードをコンセントから抜いて、本製品から電源コードを取り外す
本製品の背面と壁側のコンセントを両方とも外してください。

3 記録紙トレイを完全に引き出して、記録紙を取り出す



4 清掃する

- 1 本製品の外側を拭く
- 2 記録紙トレイの内側と外側を拭く

5 記録紙をセットして、記録紙トレイを本製品に戻す

6 コードやケーブルを元の状態に戻す

- 1 接続していたケーブルを取り付ける
- 2 電源スイッチが OFF になっていることを確認し、電源コードを本製品に接続する
- 3 電話機コードを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む

7 電源スイッチをONにする

原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する

いつもきれいな画質を得るためにスキャナーの清掃を行ってください。スキャナーが汚れていると、そのまま画質の汚れとなって送信やコピーがされます。送信やコピーで黒っぽくなったり、細い線が入るときには、スキャナーを清掃してください。

⚠ 警告

ベンジンやシンナー、可燃性スプレー、アルコールなどの有機溶剤、液体を使用しないでください。火災の原因になります。

注意

操作パネルはアルコールを浸した布で拭かないでください。操作パネル上の印刷が消えることがあります。

補足

清掃には水やぬるま湯を含ませた柔らかい布を固く絞ってご使用ください。

1 電源スイッチをOFFにする

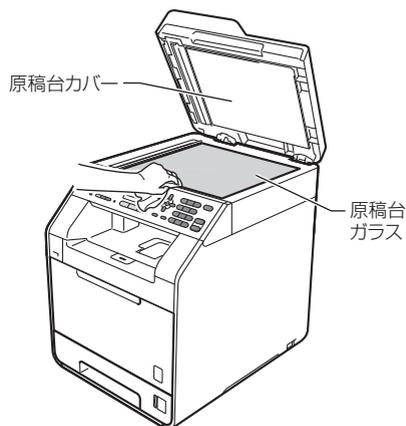
2 コード、ケーブルを取り外す

- 1 電話機コードとすべてのケーブルを取り外す
- 2 電源コードをコンセントから抜いて、本製品から電源コードを取り外す
本製品の背面と壁側のコンセントを両方とも外してください。

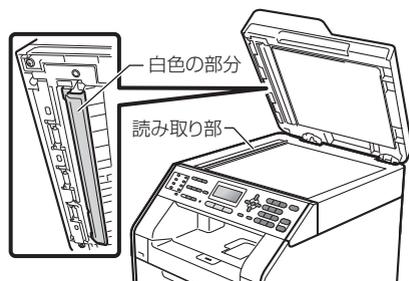
3 原稿台カバーを開く

4 清掃する

- 1 原稿台ガラスと原稿台カバーを拭く

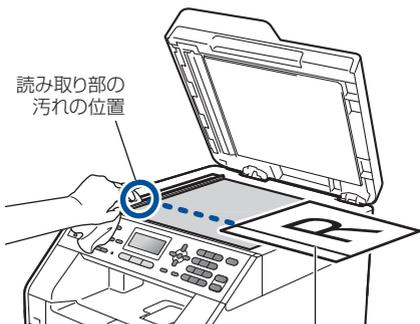


- 2 原稿台カバー（白い部分）とADF読み取り部を拭く



注意

- コピーで黒く細い線が入るときには、ADF 読み取り部の清掃を行ってください。非常に細かい汚れ（ボールペンのインクや修正液など）が付着している場合がありますので、ていねいに拭いてください。



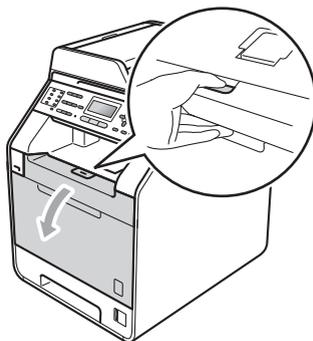
コピー結果の黒い線

- 汚れが見えない場合は、ADF 読み取り部のガラスを手で触れて汚れの位置を確認し、水やぬるま湯を含ませた柔らかい布で念入りに拭いてください。最後にADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしてコピーし、黒い線が消えたか確認してください。

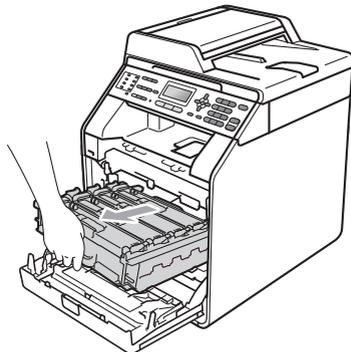
本製品内部を清掃する

本製品内部のスキャナーウィンドーが汚れていると、印刷の濃度が薄くなります。次の手順でスキャナーウィンドーを清掃してください。

- 1 電源スイッチをOFFにする**
- 2 コード、ケーブルを取り外す**
 - 1 電話機コードとすべてのケーブルを取り外す
 - 2 電源コードをコンセントから抜いて、本製品から電源コードを取り外す
本製品の背面と壁側のコンセントを両方とも外してください。
- 3 清掃部を開ける**
 - 1 フロントカバーリリースボタンを押して、フロントカバーを開く

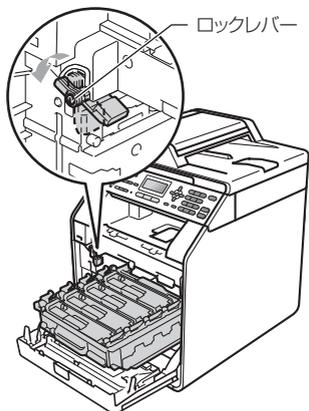


- 2 ドラムユニットの緑色の取っ手を持ち、止まる位置まで手前に引き出す

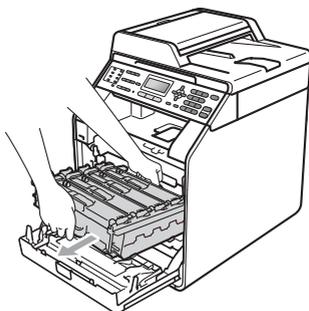


- 5 コードやケーブルを元の状態に戻す**
 - 1 接続していたケーブルを取り付ける
 - 2 電源スイッチが OFF になっていることを確認し、電源コードを本製品に接続する
 - 3 電話機コードを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む
- 6 電源スイッチをONにする**

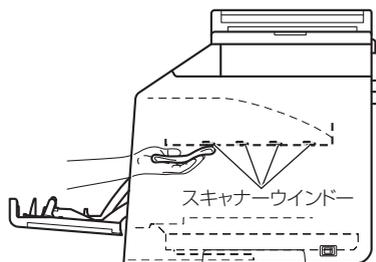
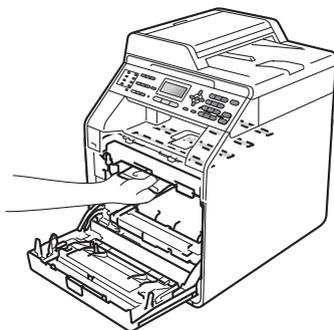
- 3 本製品左側にある緑色のロックレバーが止まる位置までイラストの矢印の方向に回す



- 4 ドラムユニットの緑色の取っ手を持って、本製品から取り出す



- 4 柔らかい乾いた布でスキャナーウィンドーを拭く

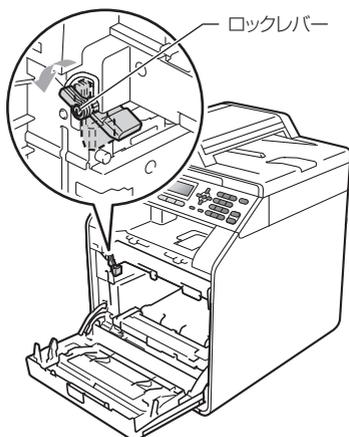


注意

スキャナーウィンドーはアルコールを浸した布で拭かないでください。

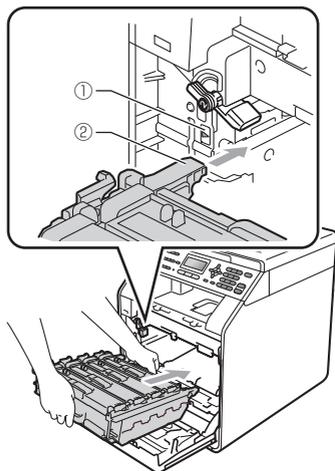
5 清掃部を閉じる

- 1 本製品左側にある緑色のロックレバーがイラストのように上がっていることを確認する

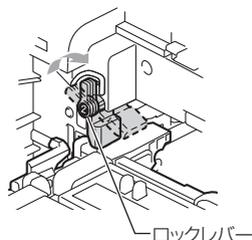


- 2 ドラムユニットの先端の部分をイラストのように入れる

本製品にドラムユニットを戻すときは、ドラムユニットの取っ手に付いている緑色のガイド②を、本製品両端の矢印①に合わせてください。



- 3 ロックレバーが止まる位置までイラストの矢印の方向に回す
ドラムユニットを奥へ押し込む前にロックレバーを下げてください。



- 4 ドラムユニットを奥へ押し込む
- 5 フロントカバーを閉じる

6 コードやケーブルを元の状態に戻す

- 1 接続していたケーブルを取り付ける
- 2 電源スイッチが OFF になっていることを確認し、電源コードを本製品に接続する
- 3 電話機コードを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む

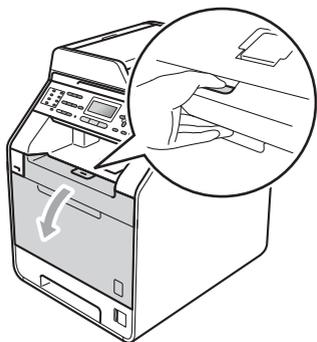
7 電源スイッチをONにする

コロナワイヤーの清掃

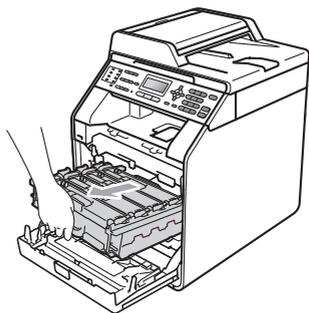
コロナワイヤーが汚れていると、印刷された画像が黒っぽく汚れたり、垂直の線が入ることがあります。印刷したページに汚れが入る場合は、コロナワイヤーを清掃してください。

1 清掃部を開ける

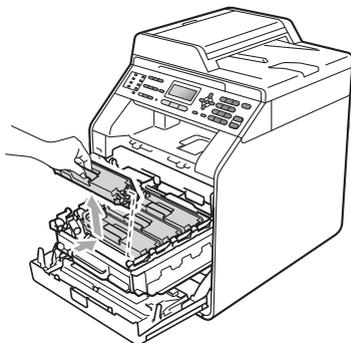
- 1 フロントカバーリリースボタンを押して、フロントカバーを開く



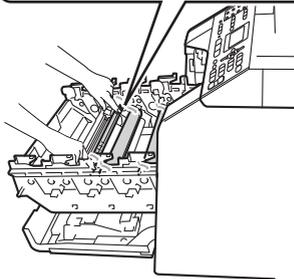
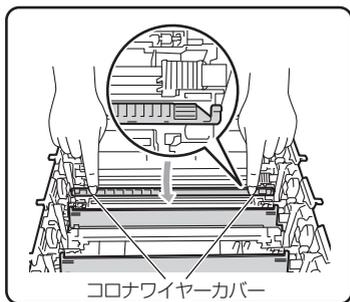
- 2 ドラムユニットの緑色の取手を持ち、止まる位置まで手前に引き出す



- 3 すべてのトナーカートリッジをドラムユニットから取り出す

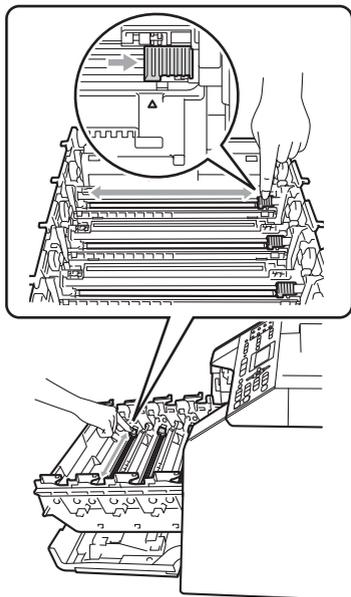


- 4 コロナワイヤーカバーの留め金を外し、カバーを開く



2 清掃する

- 1 緑色のつまみを2、3回往復させ、ドラムユニット内部のコロナワイヤーを清掃する

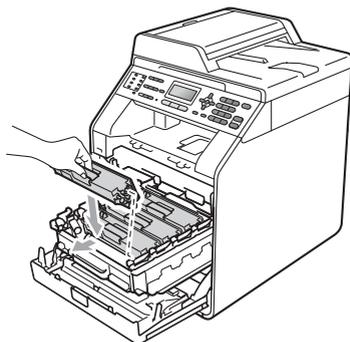


- 2 緑色のつまみは必ず元の位置 (▲) に戻す
元の位置に戻っていないと、印刷した用紙に縦縞が入る場合があります。

- 3 残りのコロナワイヤーも清掃する

3 清掃部を閉じる

- 1 コロナワイヤーカバーを閉じる
- 2 トナーカートリッジをドラムユニットの色表示に合わせて、正しい位置に取り付ける
取り付け後、トナーカートリッジの取っ手を手前に倒します。正しく取り付けると、カチッと音がします。



- 3 残りのトナーカートリッジもドラムユニットに取り付ける
- 4 ドラムユニットを奥へ押し込む
- 5 フロントカバーを閉じる

ドラムユニットの清掃

印刷したページに約94mm 間隔で規則的な汚れが見つかったときは、ドラムユニットの清掃が必要です。

1 ドラムチェックシートを印刷する

- 1 <メニュー>→<6>→<8>を押し
<スタート>を押す
ドラムチェックシートが印刷されます。

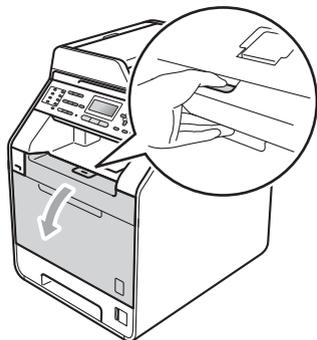
2 電源スイッチをOFFにする

3 コード、ケーブルを取り外す

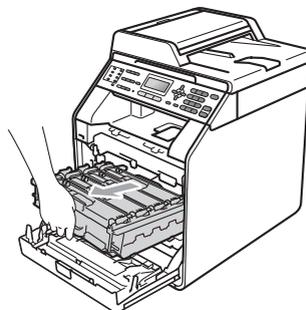
- 1 電話機コードとすべてのケーブルを取り外す
- 2 電源コードをコンセントから抜いて、本製品から電源コードを取り外す
本製品の背面と壁側のコンセントを両方も外してください。

4 ドラムユニットを取り出す

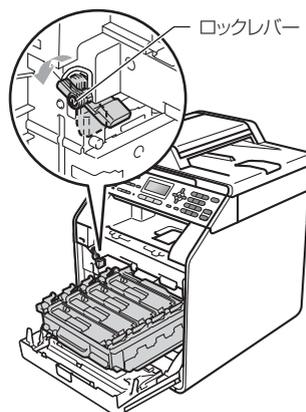
- 1 フロントカバーリリースボタンを押して、フロントカバーを開く



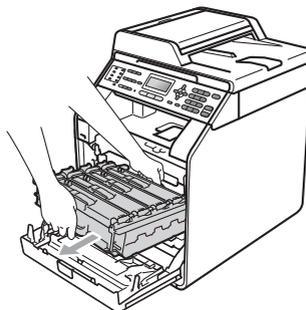
- 2 ドラムユニットの緑色の取っ手をもち、止まる位置まで手前に引き出す



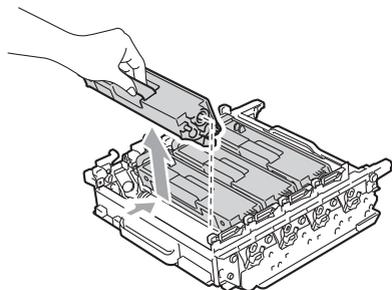
- 3 本製品左側にある緑色のロックレバーが止まる位置までイラストの矢印の方向に回す



- 4 ドラムユニットの緑色の取っ手をもち、本製品から取り出す

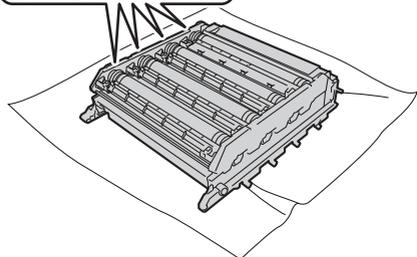
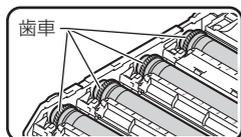
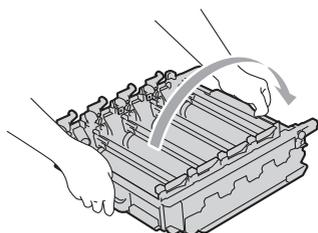


5 すべてのトナーカートリッジをドラムユニットから取り出す



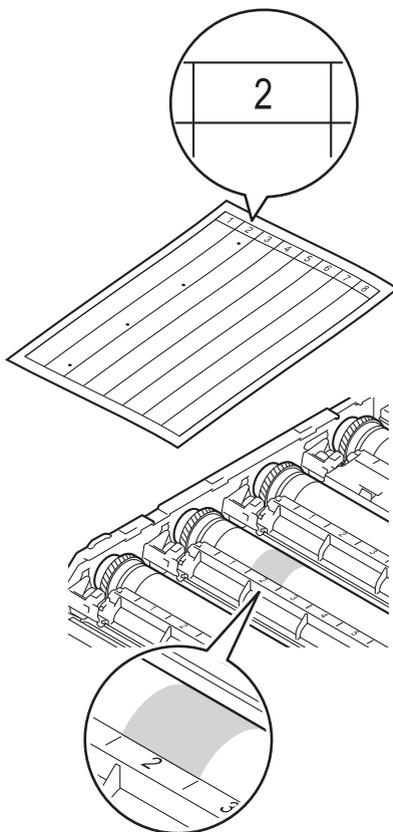
5 清掃する

1 ドラムユニットの歯車が緑色の取っ手の左側になるように、取っ手を持ってドラムユニットを裏返す

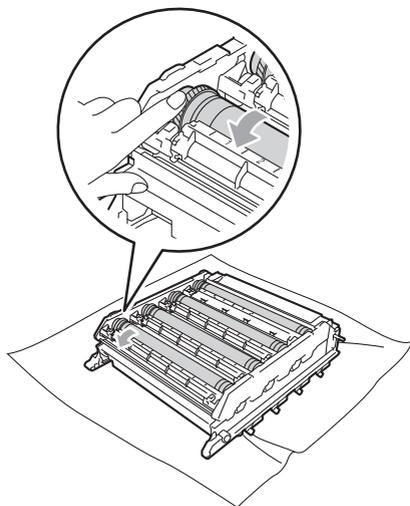


2 印刷したドラムチェックシートを確認する
印刷された色と、該当する番号を確認します。

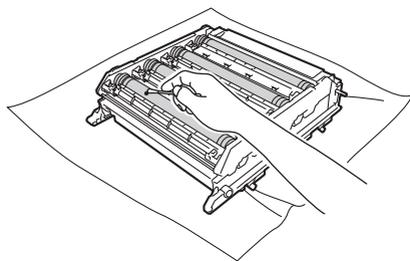
3 ドラムチェックシートの番号と、ドラムユニットのコラム番号を照らし合わせて、感光ドラムの汚れの場所を探す
感光ドラムの汚れの場所を特定します。



- 4 ドラムユニットの歯車を手前にゆっくり回しながら、感光ドラムの汚れの場所を手前にする



- 5 感光ドラムの表面に付いた汚れを綿棒でふき取る

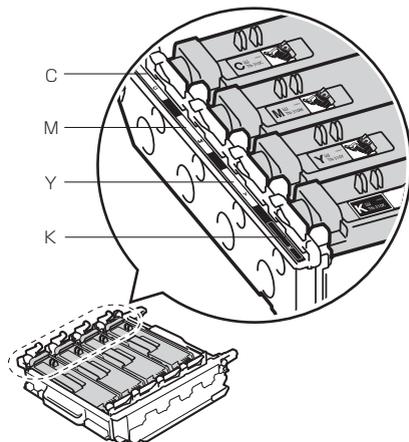
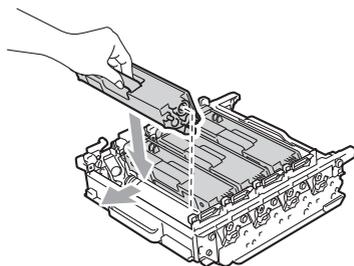


注意

- 感光ドラムの表面は指で触れないでください。
- 感光ドラムの表面を尖ったものでふかないでください。
- 電動器具は使用しないでください。

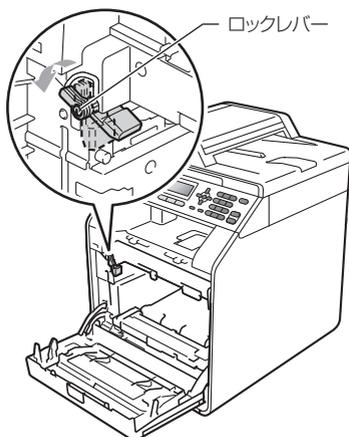
- 6 トナーカートリッジをドラムユニットに取り付ける

トナーカートリッジをドラムユニットの色表示に合わせて、正しい位置に取り付けます。取り付け後、トナーカートリッジの取っ手を手前に倒します。正しく取り付けると、カチッと音がします。



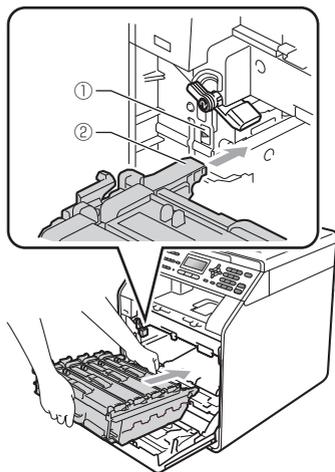
7 元の状態に戻す

- 1 本製品左側にある緑色のロックレバーがイラストのように上がっていることを確認する

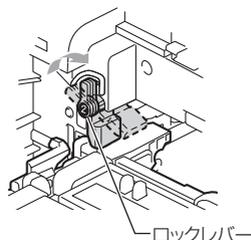


- 2 ドラムユニットの先端の部分をイラストのように入れる

本製品にドラムユニットを戻すときは、ドラムユニットの取っ手に付いている緑色のガイド②を、本製品両端の矢印①に合わせてください。



- 3 ロックレバーが止まる位置までイラストの矢印の方向に回す
ドラムユニットを奥へ押し込む前にロックレバーを下げてください。



- 4 ドラムユニットを奥へ押し込む
- 5 フロントカバーを閉じる

8 コードやケーブルを元の状態に戻す

- 1 接続していたケーブルを取り付ける
- 2 電源スイッチが OFF になっていることを確認し、電源コードを本製品に接続する
- 3 電話機コードを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む

9 電源スイッチをONにする

給紙ローラーの清掃

給紙ローラーが汚れていると、記録紙をうまく給紙しないことがあります。その場合は、次の手順で給紙ローラーを清掃してください。

1 電源スイッチをOFFにする

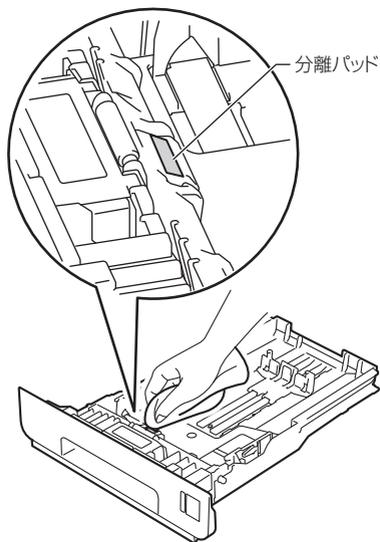
2 コード、ケーブルを取り外す

- 1 電話機コードとすべてのケーブルを取り外す
- 2 電源コードをコンセントから抜いて、本製品から電源コードを取り外す
本製品の背面と壁側のコンセントを両方とも外してください。

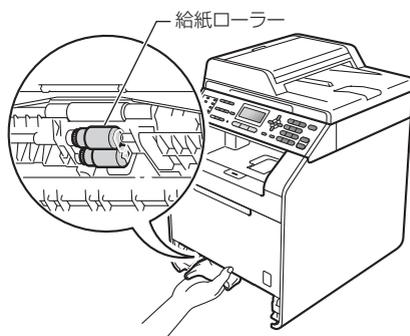
3 記録紙トレイを完全に引き出して、記録紙を取り出す

4 清掃する

- 1 水または、ぬるま湯を浸した柔らかい布を固く絞って、記録紙トレイ内の分離パッドを拭く



2 本製品内部にある給紙ローラー(2つ)を拭く



5 記録紙をセットして、記録紙トレイを本製品に戻す

6 コードやケーブルを元の状態に戻す

- 1 接続していたケーブルを取り付ける
- 2 電源スイッチが OFF になっていることを確認し、電源コードを本製品に接続する
- 3 電話機コードを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む

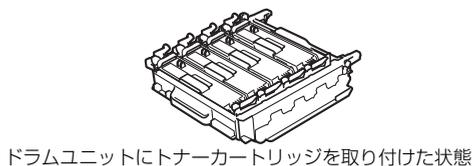
7 電源スイッチをONにする

消耗品の交換

トナーカートリッジとドラムユニットについて

注意

本製品では、画像を作成するドラムユニットにトナーカートリッジを取り付けて使用する仕組みになっています。トナー、またはドラムユニットが寿命により使用できなくなったときには、必ず分離して、使用できなくなった部品のみを廃却し交換してください。



トナー

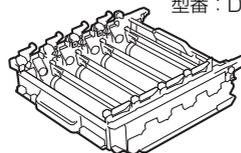
型番については、以下の表を参照してください。



シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの文字を書いたり表面に色づけするための粉末（トナー）が入っています。

ドラム

型番：DR-390CL



トナーを記録紙に写すユニットです。

	シアン		マゼンタ		イエロー		ブラック	
	型番	印刷可能枚数	型番	印刷可能枚数	型番	印刷可能枚数	型番	印刷可能枚数
付属トナーカートリッジ	—	約1,500枚	—	約1,500枚	—	約1,500枚	—	約2,500枚
標準トナーカートリッジ	TN-390C	約1,500枚	TN-390M	約1,500枚	TN-390Y	約1,500枚	TN-390BK	約2,500枚
大容量トナーカートリッジ	TN-395C	約3,500枚	TN-395M	約3,500枚	TN-395Y	約3,500枚	TN-395BK	約4,000枚

印刷可能枚数はJIS X 6932 (ISO/IEC 19798) 規格に基づく公表値を満たしています。

(JIS X 6932 (ISO/IEC 19798) とはカラー電子写真方式プリンター用トナーカートリッジの印刷枚数を測定するための試験方法を定めた規格です。)

交換のしかたについては、⇒74 ページ「トナーカートリッジの交換」、⇒77 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。

補足

- ドラムユニットはA4を1回に1ページ印刷した場合、約25,000枚印刷できます。
- 消耗品の寿命は、実際の印刷方法や内容、使用環境により異なります。

トナーカートリッジとドラムユニットの購入方法

お近くの家電量販店で取り扱っておりますが、インターネット、電話、FAXによる注文も承っております。
⇒165 ページ「ご注文シート」を参照してください。

トナーカートリッジとドラムユニット交換時の注意

警告

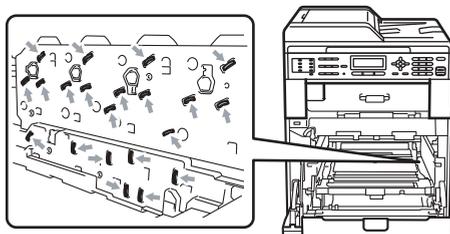
- ドラムユニットやトナーカートリッジを火の中に投げ込まないでください。また、火気のある場所に保管しないでください。トナーに引火して、火災ややけどの原因となります。
- 本製品を清掃する際、可燃性のスプレー、有機溶剤などは使用しないでください。また、近くでのご使用もおやめください。火災・故障・感電の原因になります。
可燃性スプレーの例は次のとおりです。
・ほこり除去スプレー ・殺虫スプレー ・アルコールを含む除菌、消臭スプレーなど
- トナーがこぼれたときは、ほうきで掃除するか、水で湿らせ固く絞った布でふき取ってください。掃除機は使用しないでください。掃除機でトナーを吸い取ると、掃除機内で粉塵が発火し、故障や火災の原因となります。



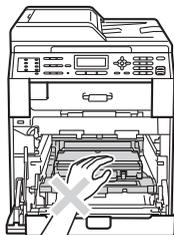
注意

- 使用済みのトナーカートリッジを廃棄するときは、アルミニウムバッグ*に入れ、しっかりと封をして、粉末がカートリッジからこぼれないようにしてください。販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。⇒22 ページ「リサイクル・廃棄のこと」を参照してください。なお、お客様で処理される場合は、地域の規則に従って廃棄してください。
- 使用済みのドラムユニットを廃棄するときは、プラスチックバッグ*に入れ、しっかりと封をして、粉末がドラムユニットからこぼれないようにしてください。⇒22 ページ「リサイクル・廃棄のこと」を参照してください。また、地域の規則に従って廃棄してください。
- 使用済みのトナーカートリッジにはトナーの粉が残っている場合があるので、取り扱いには注意してください。
- トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。
- トナーをまき散らして、吸い込んだり目に入ったりしないように注意してください。
- 誤ってトナーが目に入ってしまったときは、すぐに水で洗い流してください。もし、炎症などの症状があらわれた場合は、医師にご相談ください。
- ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。
- トナーカートリッジは、本製品に取り付ける直前に開封してください。トナーカートリッジを開封したまま長期間放置すると、トナーの寿命が短くなります。
- トナーカートリッジは、製品本体の性能を活かすためプラザー純正品をご使用ください。⇒71 ページ「トナーカートリッジとドラムユニットについて」を参照してください。純正品以外のトナーカートリッジやリサイクルトナーを使用した場合、本製品の保証が無効になります。

- 本製品の内部を操作するときは、以下の図で矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損するおそれがあります。



- イラストのグレーの部分には触れないようにしてください。皮脂が付着するときれいに印刷されません。



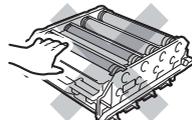
- ドラムユニットを持つときは、ドラムユニットの緑色の取っ手を持ってください。



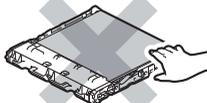
- トナーカートリッジ、ドラムユニット、ベルトユニットを持つときは、イラストのグレーの部分には触れないようにしてください。皮脂が付着するときれいに印刷されません。

<トナーカートリッジ>

<ドラムユニット>



<ベルトユニット>



- ドラムユニットは本製品に取り付ける直前に開封してください。

- ドラムユニットは、製品本体の性能を活かすためプラザー純正品をご使用ください。⇒71 ページ「トナーカートリッジとドラムユニットについて」を参照してください。純正品以外のドラムユニットを使用した場合、本製品の保証が無効になります。

- 開封したドラムユニットが過度の直射日光や室内光を受けると、ユニットが損傷することがあります。

※ 新品のトナーカートリッジ、またはドラムユニットが入っていた袋をご利用ください。

トナーカートリッジの交換

プラザ製消耗品のリサイクルにご協力をお願いいたします。⇒22 ページ「リサイクル・廃棄のこと」を参照してください。

トナーカートリッジ交換のメッセージ

本製品はトナーカートリッジの寿命を検知し、交換時期が近づくと液晶ディスプレイに表示して、お知らせします。トナーが交換時期に近づくと、液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されます。

まもなくトナー交換

補足

液晶ディスプレイに「まもなくトナー交換」のメッセージが表示されたときは、トナーカートリッジの交換時期が近づいています。液晶ディスプレイに表示された色の新しいトナーカートリッジを購入し、「トナー交換」が表示される前に準備しておいてください。

(K)：ブラック、(C)：シアン、(M)：マゼンタ、(Y)：イエロー

さらに使い続けると液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されます。

トナー交換

交換する必要があるトナーカートリッジの色が表示されます。一度この表示になるとトナーカートリッジを交換しないと印刷やコピーができなくなります。新しいトナーカートリッジに交換してください。

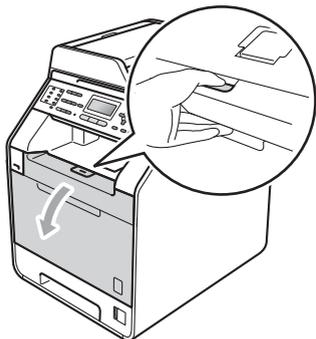
補足

- トナーの寿命は使用可能なトナーがなくなった場合やトナーが劣化した場合で検知され、どちらかに該当するとトナーの寿命となります。
- 複数色のトナーを同時期に交換する場合、交換したトナーの劣化が同時に進むため、同時期にトナーの寿命と判断されることがあります。
- カラートナーが寿命になっても、ブラックトナーだけを使ってモノクロで印刷することができます。⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。
- お近くでトナーカートリッジが手に入らないときは巻末のご注文シートをご利用ください。

トナーカートリッジを交換する

1 トナーカートリッジを取り出す

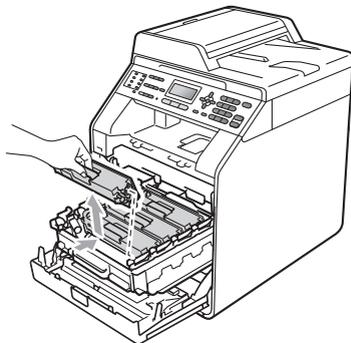
- 1 フロントカバーリリースボタンを押して、フロントカバーを開く



- 2 ドラムユニットの緑色の取っ手を持ち、止まる位置まで手前に引き出す

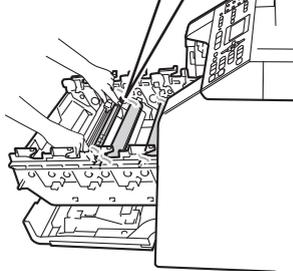
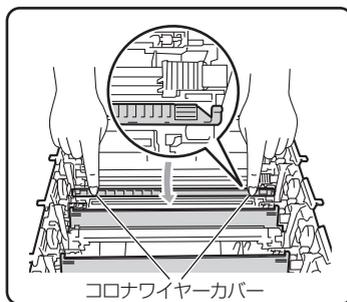


- 3 すべてのトナーカートリッジをドラムユニットから取り出す

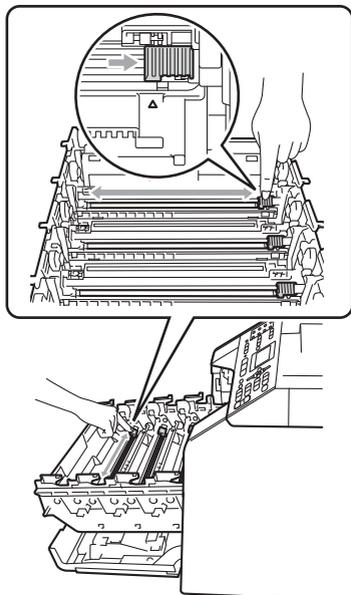


2 コロナワイヤーを清掃する

- 1 コロナワイヤーカバーの留め金を外し、カバーを開く



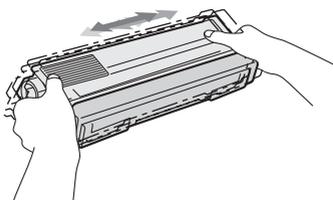
- 2 緑色のつまみを2、3回往復させ、ドラムユニット内部のコロナワイヤーを清掃する



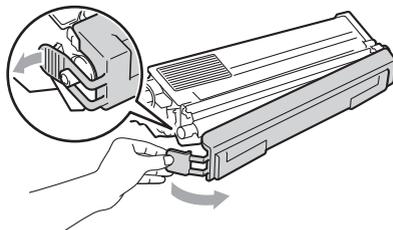
- 3 緑色のつまみは必ず元の位置(▲)に戻す
元の位置に戻っていないと、印刷した用紙に縦縞が入る場合があります。
- 4 コロナワイヤーカバーを閉じる
- 5 残りのコロナワイヤーも清掃する

3 交換する

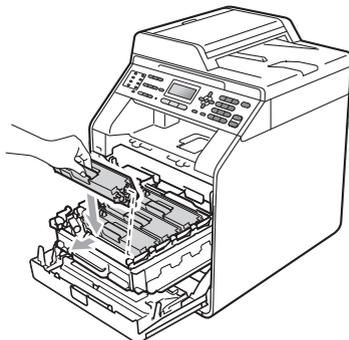
- 1 新しいトナーカートリッジを開封し、トナーが均等になるように左右に5~6回ゆっくりと振る



- 2 保護カバーを取り除く



- 3 トナーカートリッジをドラムユニットの色表示に合わせて、正しい位置に取り付ける
取り付け後、トナーカートリッジの取っ手を手前に倒します。正しく取り付けると、カチッと音がします。



4 元の状態に戻す

- 1 ドラムユニットとトナーカートリッジを元の位置に戻す
- 2 フロントカバーを閉じる

注意

液晶ディスプレイに「お待ちください」と表示されますので、そのままお待ちください。途中で本製品の電源スイッチをOFFにしたり、フロントカバーを開けると、新しいトナーを検知できない場合があります。

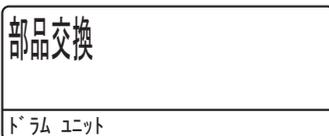
ドラムユニットの交換

本製品は、ドラムの回転数によってドラムユニットの交換時期が決定され、あらかじめ設定されている回転数に達すると、液晶ディスプレイにドラムユニットの交換を促すメッセージが表示されます。印刷を続けることもできますが、印刷品質が低下します。

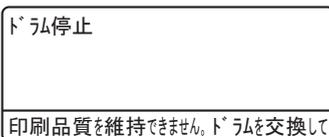
ブラザー製消耗品のリサイクルにご協力をお願いいたします。詳しくは⇒22 ページ「リサイクル・廃棄のこと」を参照してください。

ドラムユニット交換のメッセージ

液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されたときは、新しいドラムユニットに交換してください。



液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されたときは、印刷品質を保証できません。新しいドラムユニットに交換してください。



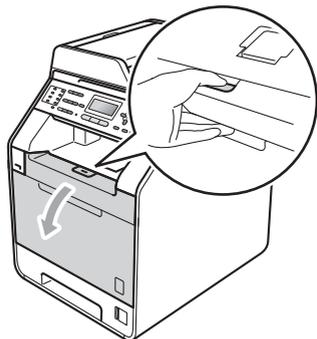
補足

- ドラムユニットの交換時期に影響する要因は、温度や湿度、用紙の種類、使用するトナーの種類、印刷ジョブごとの印刷枚数などです。理想的な印刷条件下での平均的なドラムユニットの交換周期は約25,000枚です。実際のドラムユニットの印刷可能枚数は、印刷条件によってはこの数字よりも大幅に少ないこともあります。このため、実際の印刷可能枚数を保証することはできません。
- 最良の性能を発揮させるために、ブラザー純正ドラムユニットおよびトナーカートリッジを使用してください。本製品は、清潔でちりやほこりが発生せず、適度の換気が行われている環境において使用してください。
- ドラムユニットを交換するタイミングに合わせて、本製品も掃除することをお勧めします。⇒58 ページ「定期メンテナンス」を参照してください。

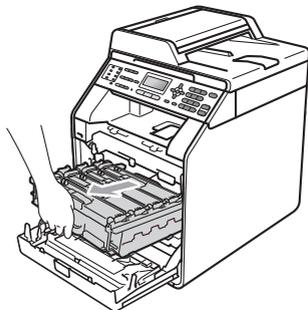
ドラムユニットを交換する

1 ドラムユニットを取り出す

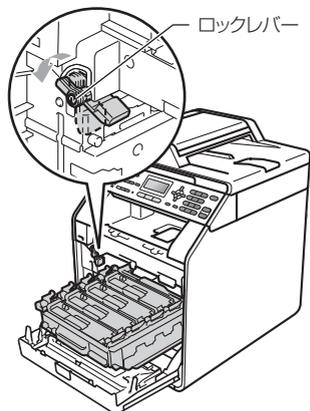
- 1 フロントカバーリリースボタンを押して、フロントカバーを開く



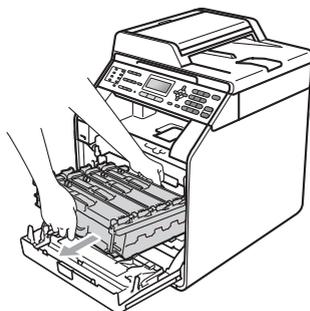
- 2 ドラムユニットの緑色の取っ手を持ち、止まる位置まで手前に引き出す



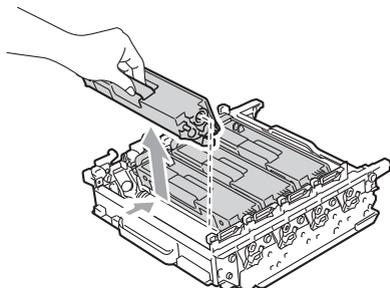
- 3 本製品左側にある緑色のロックレバーが止まる位置までイラストの矢印の方向に回す



- 4 ドラムユニットの緑色の取っ手を持って、本製品から取り出す

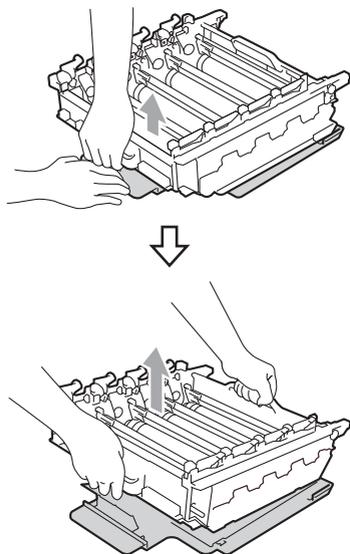


- 5 すべてのトナーカートリッジをドラムユニットから取り出す

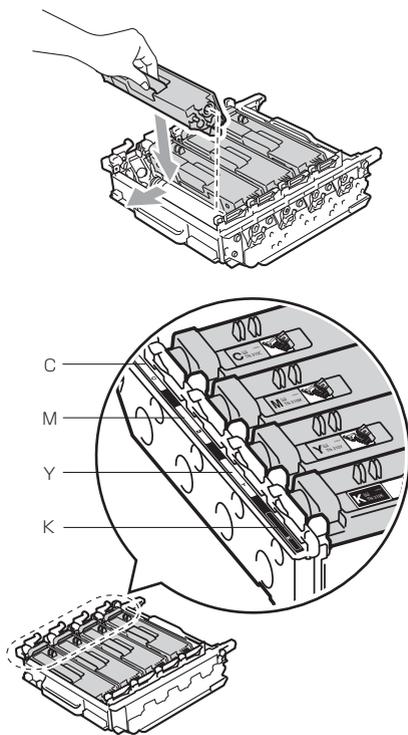


2 交換する

1 新しいドラムユニットを開封し、保護カバーを外す

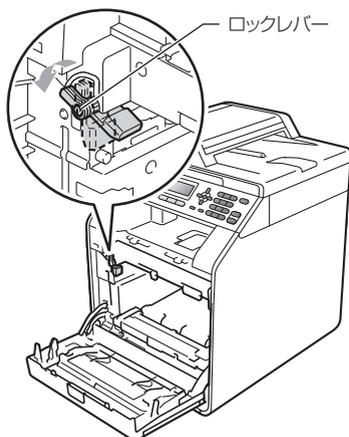


2 トナーカートリッジをドラムユニットの色表示に合わせて、正しい位置に取り付ける
取り付け後、トナーカートリッジの取っ手を手前に倒します。正しく取り付けると、カチッと音がします。



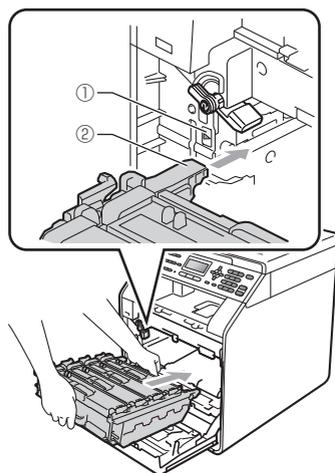
3 元の状態に戻す

- 1 本製品左側にある緑色のロックレバーがイラストのように上がっていることを確認する

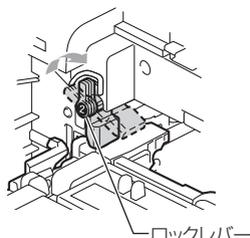


- 2 ドラムユニットの先端の部分をイラストのように入れる

本製品にドラムユニットを戻すときは、ドラムユニットの取っ手に付いている緑色のガイド②を、本製品両端の矢印①に合わせてください。



- 3 ロックレバーが止まる位置までイラストの矢印の方向に回す
ドラムユニットを奥へ押し込む前にロックレバーを下げてください。



- 4 ドラムユニットを奥へ押し込む
- 5 フロントカバーを閉じる

ドラムユニットのカウンターをリセットする

ドラムユニットを交換したときは、ドラムユニットのカウンターをリセットしてください。

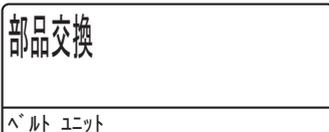
- 1 <メニュー>→<8>→<4>を押す
- 2 <▲>または<▼>で「ドラム」を選択して<OK>を押す
- 3 <1>を押す
- 4 <停止/終了>を押す

ベルトユニットの交換

ブラザー製消耗品のリサイクルにご協力をお願いいたします。⇒22 ページ「リサイクル・廃棄のこと」を参照してください。

ベルトユニットの交換メッセージ

液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されたときは、新しいベルトユニットに交換してください。



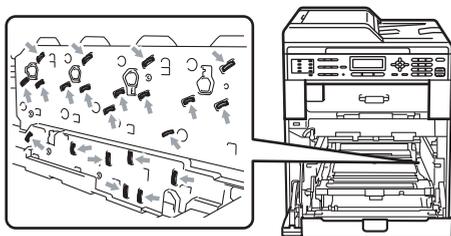
警告

- ベルトユニットを火の中に投げ込まないでください。また、火気のある場所に保管しないでください。
- 本製品を清掃する際、可燃性のスプレー、有機溶剤などは使用しないでください。また、近くでの使用もおやめください。火災・故障・感電の原因になります。
可燃性スプレーの例は次のとおりです。
・ほこり除去スプレー ・殺虫スプレー ・アルコールを含む除菌、消臭スプレーなど 
- トナーがこぼれたときは、ほうきで掃除するか、水で湿らせ固く絞った布でふき取ってください。掃除機は使用しないでください。掃除機でトナーを吸い取ると、掃除機内で粉塵が発火し、故障や火災の原因となります。

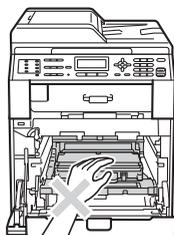
注意

- ベルトユニットの誤った取り扱いによる故障は保証の対象とはなりません。
- ベルトユニットは再利用しないでください。
- 使用済みのベルトユニットを廃棄するときは、プラスチックバッグ[※]に入れ、しっかりと封をしてください。⇒22 ページ「リサイクル・廃棄のこと」を参照してください。また、地域の規則に従って廃棄してください。
- トナーをまき散らして、吸い込んだり目に入ったりしないように注意してください。
- 誤ってトナーが目に入ってしまったときは、すぐに水で洗い流してください。もし、炎症などの症状があらわれた場合は、医師にご相談ください。
- トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐにふき取るか冷たい水で洗い流してください。
- ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。
- ベルトユニットは、製品本体の性能を活かすためブラザー純正品（型番：BU-300CL）をご使用ください。純正品以外のベルトユニットを使用した場合、本製品の保証が無効になります。

- 本製品の内部を操作するときは、以下の図で矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損するおそれがあります。



- イラストのグレーの部分には触れないようにしてください。皮脂が付着するときれいに印刷されません。

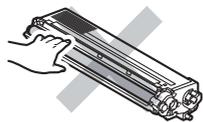


- ドラムユニットを持つときは、ドラムユニットの緑色の取手を持ってください。



- トナーカートリッジ、ドラムユニット、ベルトユニットを持つときは、イラストのグレーの部分には触れないようにしてください。皮脂が付着するときれいに印刷されません。

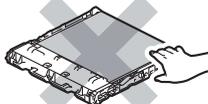
<トナーカートリッジ>



<ドラムユニット>



<ベルトユニット>

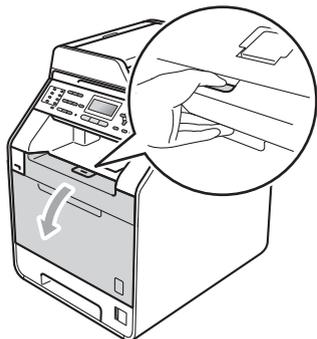


※ 新品のベルトユニットが入っていた袋をご利用ください。

ベルトユニットを交換する

1 ベルトユニットを取り出す

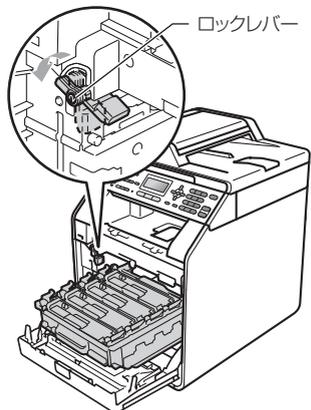
- 1 フロントカバーリリースボタンを押して、フロントカバーを開く



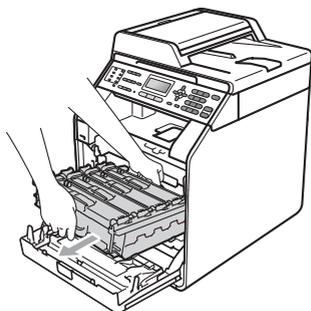
- 2 ドラムユニットの緑色の取っ手を持ち、止まる位置まで手前に引き出す



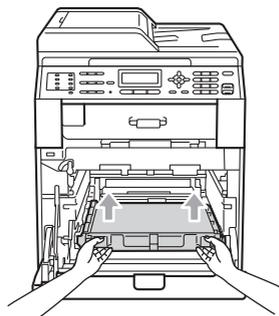
- 3 本製品左側にある緑色のロックレバーが止まる位置までイラストの矢印の方向に回す



- 4 ドラムユニットの緑色の取っ手を持って、本製品から取り出す

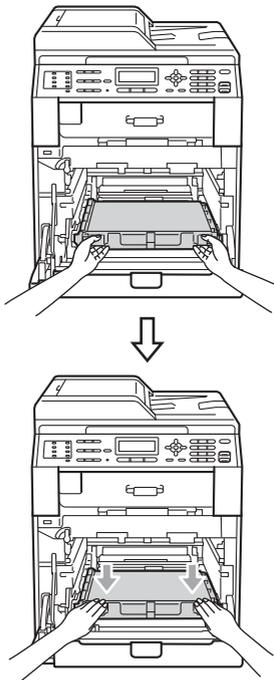


- 5 ベルトユニットの緑色の部分を両手で持ってベルトユニットを持ち上げ、ゆっくり取り出す



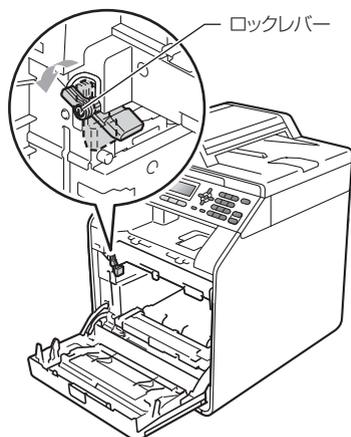
2 交換する

新しいベルトユニットを開封し、本製品に取り付ける



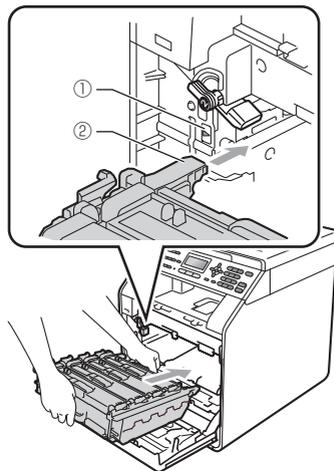
3 元の状態に戻す

1 本製品左側にある緑色のロックレバーがイラストの位置にあるか確認する



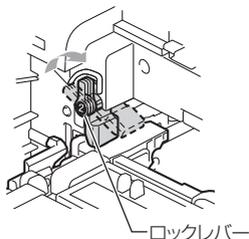
2 ドラムユニットの先端の部分をイラストのように入れる

本製品にドラムユニットを戻すときは、ドラムユニットの取っ手に付いている緑色のガイド②を、本製品両端の矢印①に合わせてください。



3 ロックレバーが止まる位置までイラストの矢印の方向に回す

ドラムユニットを奥へ押し込む前にロックレバーを下げてください。



- 4 ドラムユニットを奥へ押し込む
- 5 フロントカバーを閉じる

ベルトユニットのカウンターをリセットする

ベルトユニットを交換したときは、ベルトユニットのカウンターをリセットしてください。

- 1 <メニュー>→<8>→<4>を押す
- 2 <▲>または<▼>で「ベルトユニット」を選択して<OK>を押す
- 3 <1>を押す
- 4 <停止/終了>を押す

廃トナーボックスの交換

ブラザー製消耗品のリサイクルにご協力をお願いいたします。⇒22 ページ「リサイクル・廃棄のこと」を参照してください。

廃トナーボックスの交換メッセージ

液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されたときは、新しい廃トナーボックスに交換してください。



警告

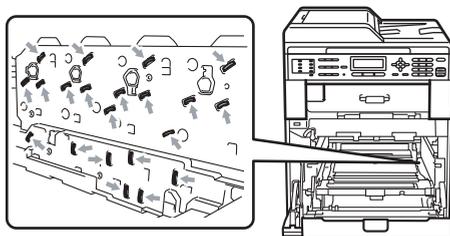
- 廃トナーボックスを火中に投じないでください。爆発する恐れがあります。
- 本製品を清掃する際、可燃性のスプレー、有機溶剤などは使用しないでください。また、近くでのご使用もおやめください。火災・故障・感電の原因になります。
可燃性スプレーの例は次のとおりです。
・ほこり除去スプレー ・殺虫スプレー ・アルコールを含む除菌、消臭スプレーなど
- トナーがこぼれたときは、ほうきで掃除するか、水で湿らせ固く絞った布でふき取ってください。掃除機は使用しないでください。掃除機でトナーを吸い取ると、掃除機内で粉塵が発火し、故障や火災の原因となります。



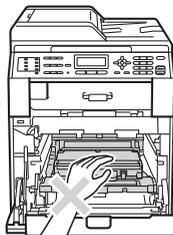
注意

- 廃トナーボックスは再利用しないでください。
- 使用済みの廃トナーボックスを廃棄するときは、プラスチックバッグ*に入れ、しっかりと封をしてください。⇒22 ページ「リサイクル・廃棄のこと」を参照してください。また、地域の規則に従って廃棄してください。
- トナーをまき散らして、吸い込んだり目に入ったりしないように注意してください。
- 誤ってトナーが目に入ってしまったときは、すぐに水で洗い流してください。もし、炎症などの症状があらわれた場合は、医師にご相談ください。
- トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐにふき取るか冷たい水で洗い流してください。
- ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。
- 廃トナーボックスは、製品本体の性能を活かすためブラザー純正品（型番：WT-300CL）をご使用ください。純正品以外の廃トナーボックスを使用した場合、本製品の保証が無効になります。

- 本製品の内部を操作するときは、以下の図で矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損するおそれがあります。



- イラストのグレーの部分には触れないようにしてください。皮脂が付着するときれいに印刷されません。



- ドラムユニットを持つときは、ドラムユニットの緑色の取っ手を持ってください。

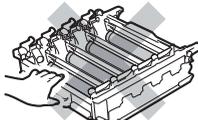


- トナーカートリッジ、ドラムユニット、ベルトユニットを持つときは、イラストのグレーの部分には触れないようにしてください。皮脂が付着するときれいに印刷されません。

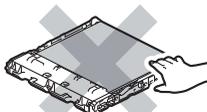
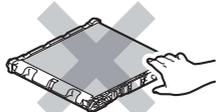
<トナーカートリッジ>



<ドラムユニット>



<ベルトユニット>



※ 新品の廃トナーボックスが入っていた袋をご利用ください。

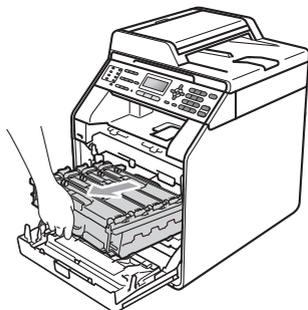
廃トナーボックスを交換する

1 廃トナーボックスを取り出す

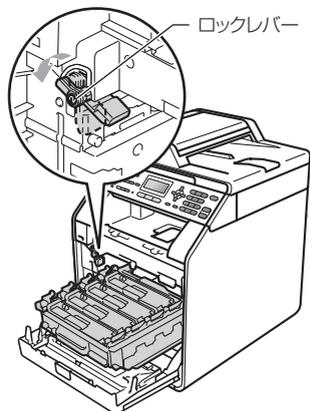
- 1 フロントカバーリリースボタンを押して、フロントカバーを開く



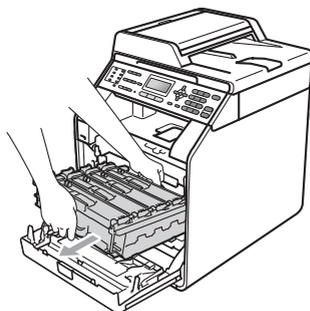
- 2 ドラムユニットの緑色の取っ手を持ち、止まる位置まで手前に引き出す



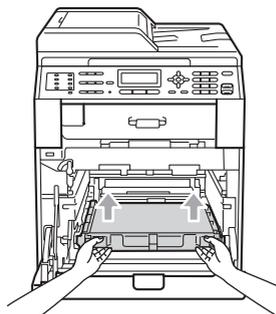
- 3 本製品左側にある緑色のロックレバーが止まる位置までイラストの矢印の方向に回す



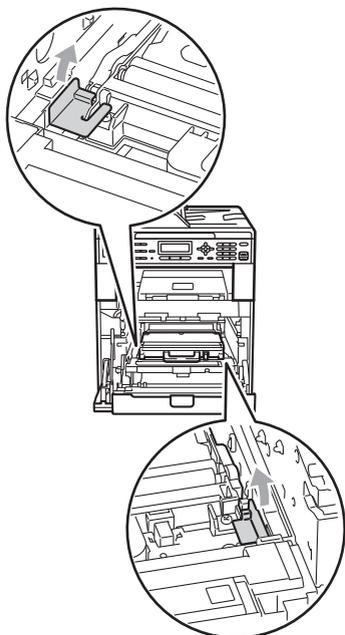
- 4 ドラムユニットの緑色の取っ手を持って、本製品から取り出す



- 5 ベルトユニットの緑色の部分を両手で持ってベルトユニットを持ち上げ、ゆっくり取り出す



6 橙色の保護部材（2ヶ所）を取り外す



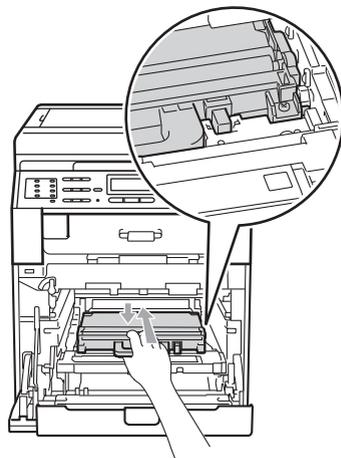
補足

この手順は、はじめて廃トナーボックスを取り出すときのみ必要です。橙色の保護部材は工場出荷時に取り付けられています。廃トナーボックスの交換後、再度取り付ける必要はありません。

7 緑色の取っ手を持って廃トナーボックスを取り出す

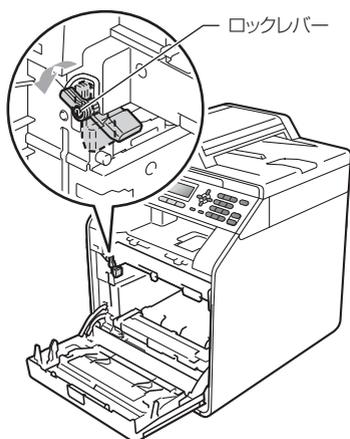
2 交換する

新しい廃トナーボックスを開封し、緑色の取っ手を持って本製品に取り付ける



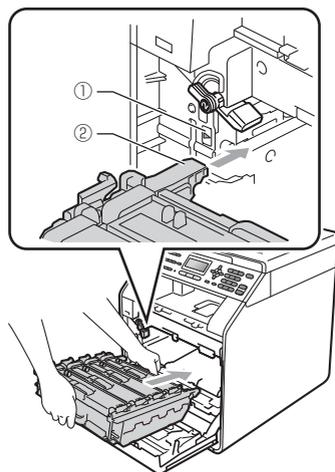
3 元の状態に戻す

- 1 ベルトユニットを本製品に戻す
- 2 本製品左側にある緑色のロックレバーがイラストのように上がっていることを確認する

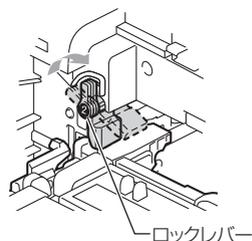


3 ドラムユニットの先端の部分をイラストのように入れる

本製品にドラムユニットを戻すときは、ドラムユニットの取っ手に付いている緑色のガイド②を、本製品両端の矢印①に合わせてください。



- 4 ロックレバーが止まる位置までイラストの矢印の方向に回す
ドラムユニットを奥へ押し込む前にロックレバーを下げてください。



- 5 ドラムユニットを奥へ押し込む
- 6 フロントカバーを閉じる

定期交換部品の交換

ディスプレイに以下のエラーメッセージが表示されたときは、お客様相談窓口へご連絡ください。

- 部品交換 PF キット MP
- 部品交換 ヒーター
- 部品交換 PF キット 1
- 部品交換 レーザーユニット
- 部品交換 PF キット 2

補足

- PFキットMPとは多目的トレイ用のローラーホルダーと分離パッドのキットです。
- PFキット1/PFキット2とは記録紙トレイ1および記録紙トレイ2用のローラーホルダー、分離パッド、分離パッドパネのキットです。
- PFキットMPの概算寿命は50,000枚、その他の定期交換部品の概算寿命は100,000枚です。残り寿命の確認は⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。

本製品を再梱包するときは

本製品を引越などで移動させるときには、購入時に梱包されていた箱や部品を使って再梱包します。以下に再梱包する手順を説明します。

警告

再梱包の作業は必ず、2人以上で行ってください。本製品を置くときには指をはさまないように注意してください。また、オプションの記録紙トレイを使用している場合は本製品から取り外してください。

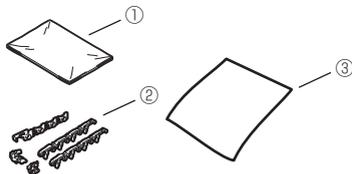


注意

■再梱包を行う場合は、前もって電源スイッチをOFFにし、機械内部を十分に冷ましてください。

■以下のものがあるか、確認してください。

- ① 廃トナーボックス用梱包袋
(お客様にてご用意ください。)
- ② ドラムユニットを固定する橙色の保護部材 (5個)
- ③ A4サイズ用の紙
(ベルトユニットの保護に使用します。お客様にてご用意ください。)



1 電源スイッチをOFFにし、10分以上待つ

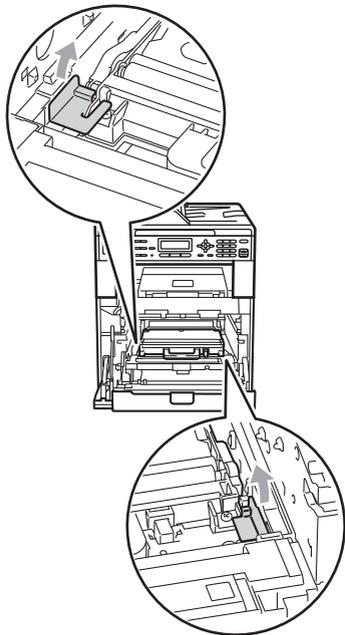
2 コード、ケーブルを取り外す

- 1 電源コードをコンセントから抜いて、本製品から電源コードを取り外す
- 2 電話機コードとすべてのケーブルを取り外す
本製品の背面と壁側のコンセントを両方も外してください。

3 廃トナーボックスを梱包する

- 1 フロントカバーリリースボタンを押して、フロントカバーを開く
- 2 ドラムユニットの緑色の取っ手を持ち、止まる位置まで手前に引き出す
- 3 本製品左側にある緑色のロックレバーを上げて、ドラムユニットの緑色の取っ手を持って、本製品から取り出す
- 4 ベルトユニットの緑色の部分を両手で持ってベルトユニットを持ち上げ、ゆっくり取り出す

- 5 橙色の保護部材(2ヶ所)を取り外す
取り外した保護部材は廃棄してください。

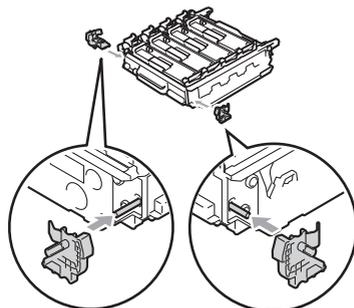
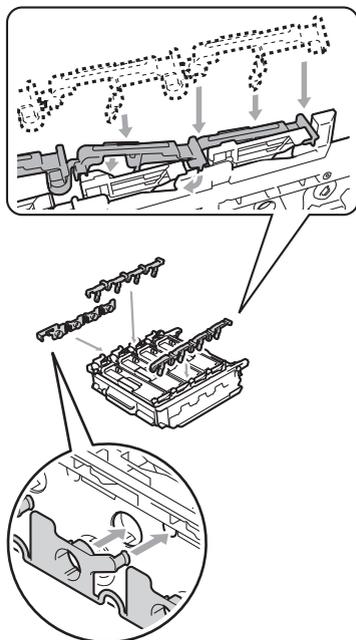


〔補足〕

この手順は、はじめて廃トナーボックスを取り出すときのみ必要です。橙色の保護部材は工場出荷時に取り付けられています。再度取り付ける必要はありません。

- 6 本製品から廃トナーボックスを取り出し、
梱包袋に入れる
7 ベルトユニットを本製品に取り付ける

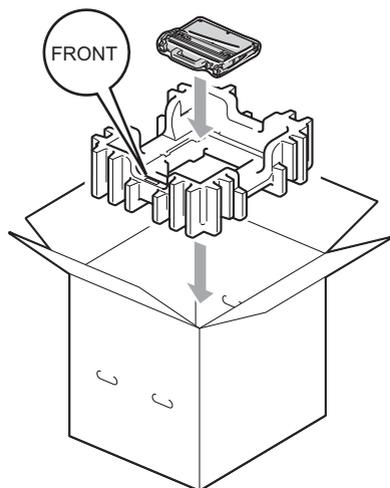
- 8 ドラムユニットを固定させるため、橙色の5
つの保護部材をイラストのように取り付ける



- 9 ベルトユニットの破損を防ぐために、ベルト
ユニットの上にA4サイズの内紙を1枚置
く
10 本製品左側にある緑色のロックレバーが
上がっていることを確認する
11 ドラムユニットの先端の部分の本製品両
端の矢印に合わせ、ドラムユニットを押
し込む
12 緑色のロックレバーがロックの位置に
なっていることを確認する
13 ドラムユニットを本製品に取り付ける

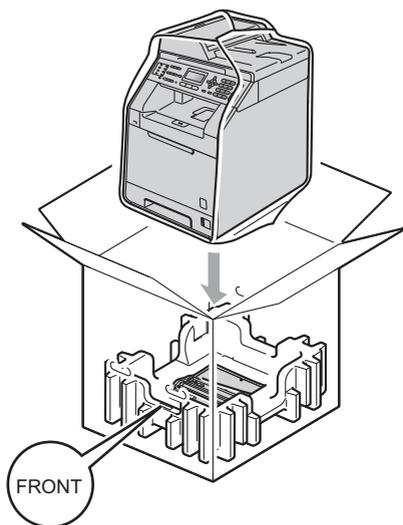
4 本製品や付属品を梱包する

- 1 フロントカバーを閉じて、本製品をビニール袋に入れる
- 2 発泡スチロールに廃トナーボックスをセットし、外箱に入れる

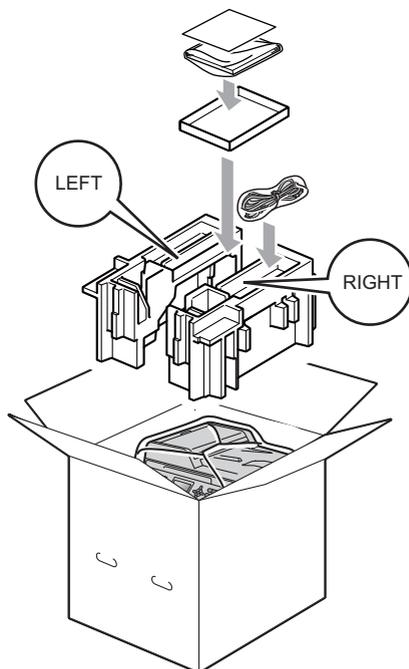


3 本製品をセットする

発泡スチロールの「FRONT」と本製品の前面を合わせてセットしてください。



- 4 本製品の上に発泡スチロールをセットし、箱型トレイボックス、電源コード、取扱説明書やCD-ROMなどを入れる



- 5 箱を閉じ、テープを貼って完全に閉じる

本書の使いかた目次

使う前に知ってほしいこと

まずは使ってみましょう

日常のお手入れ

困ったときには

付録(索引)

4 困ったときには

解決のステップ～修理依頼される前に～

本製品を使用中にトラブルがおきたときの解決までのステップを説明します。
修理依頼される前にここを読んでみてください。

ランプが点滅、またはディスプレイにエラーメッセージが表示されていますか

表示されている

- ① ディスプレイにしたがって処置をしてください
- ② 以下の項目を確認してください
⇒97 ページ「ディスプレイにエラーメッセージが表示された！（エラーメッセージ一覧）」
⇒102 ページ「紙が詰まった！」

表示されていない

- ① 以下の項目を確認してください
⇒112 ページ「原因がよくわからない！」
- ② サポートサイトのよくあるご質問（Q&A）を確認してください
(<http://solutions.brother.co.jp/>)
詳しくは⇒166 ページをご確認ください

どうしても解決しない！

表示されているメッセージをメモしてください

サポートサイトのよくあるご質問（Q&A）を確認してください
(<http://solutions.brother.co.jp/>)
詳しくは⇒166 ページをご確認ください

やっぱり、どうしても解決しない！

お客様相談窓口にご連絡ください

本製品が正常に動作しない
または
どこに問題があるかわからない

以下の2点をメモしてください

- ・製品名
- ・シリアル番号

⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」-「製品情報の確認/印刷」

コピー、プリント、スキャンは正常に動作する

回線種別は正しく設定されている
⇒21 ページ「自動で回線種別を設定する」
⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」-「電話回線設定」

電話やファクス回線に問題がある可能性があります。ご利用している電話会社、またはプロバイダーにご相談ください

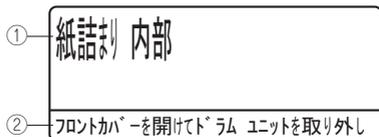
コピー、ファクスは正常に動作する

プリンタードライバーは正しくインストールされている

コンピューターに問題がある可能性があります。コンピューターのメーカーまたは購入された販売店にご相談ください

ディスプレイにエラーメッセージが表示された！(エラーメッセージ一覧)

本製品や電話回線に異常が発生した場合は、エラーメッセージとともに対処方法が液晶ディスプレイに表示されます。液晶ディスプレイに表示された対処方法や、下記の処置を行ってもエラーが解決しないときは、エラーメッセージを控えた後でお客様相談窓口へ連絡してください。



- ①：エラー内容など
②：エラーの対処方法など

液晶ディスプレイ表示

解決方法

色補正
色補正に失敗しました。
ユーザーズガイドの
〈エラーメッセージ〉を
ご覧ください。

本製品の電源スイッチを OFF にして、数秒後電源を入れ直してください

新しいドラムユニットに交換してください

⇒ 77 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。

新しいベルトユニットを取り付けてください

⇒ 81 ページ「ベルトユニットの交換」を参照してください。

新しい廃トナーボックスを取り付けてください

⇒ 86 ページ「廃トナーボックスの交換」を参照してください。

何度もエラーメッセージが表示される場合は、本製品を購入した販売店、またはお客様相談窓口へお問い合わせください

色ずれ補正
色ずれ補正に失敗しました。
ユーザーズガイドの
〈エラーメッセージ〉を
ご覧ください。

電源スイッチを OFF にして、数分間 OFF のままにした後、もう一度 ON にしてください

メモリに保管されたファクスデータは電源スイッチを OFF にしても、消去されません。ファクスデータをコンピューターに保存するときは、⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」を参照してください。

本製品の電源スイッチを OFF にし、フロントカバーを完全に開けます。そのままの状態です 30 分放置し水蒸気などを取り除いた後、フロントカバーを閉じて、電源を入れ直してください

印刷できません

定着ユニットカバーを完全に閉じてください

バックカバーを開けて、定着ユニットカバーを閉め直してください。

カバーが開いています

フロントカバー、または ADF (自動原稿送り装置) カバーを完全に閉じてください

液晶ディスプレイ表示

解決方法

紙詰まり 後ろ

本製品の背面でつまっている記録紙を取り除いてください
⇒ 107 ページ「背面に記録紙がつまったとき」を参照してください。

紙詰まり トレイ 1

記録紙トレイでつまっている記録紙を取り除いてください
⇒ 106 ページ「記録紙トレイに記録紙がつまったとき」を参照してください。

紙詰まり 内部

本製品の内部でつまっている記録紙を取り除いてください
⇒ 108 ページ「本製品の内部に記録紙がつまったとき」を参照してください。

紙詰まり 両面

記録紙トレイの裏側につまっている記録紙を取り除いてください
⇒ 110 ページ「両面印刷ユニットまたは定着ユニットに記録紙がつまったとき」を参照してください。

紙詰まり MPトレイ

多目的トレイ (MP トレイ) でつまっている記録紙を取り除いてください
⇒ 105 ページ「多目的トレイに記録紙がつまったとき」を参照してください。

気温が低すぎます

室温を上げてください

記録エラー回復中

ファンの音を聞き、回転しているかどうか確認してください
ファンが回転している場合は、排気口が塞がれていないか確認してください。排気口の前に障害物があるときは取り除き、電源スイッチを ON にしたまま約 10 分お待ちください。
ファンが回転していない場合は、電源スイッチを OFF にして、数分間 OFF のままにした後、もう一度 ON にしてください。メモリに保管されたファクスデータは電源スイッチを OFF にしても、消去されません。

記録紙サイズ間違い

正しい記録紙をセットしてください
メニューの記録紙サイズ設定で設定した記録紙とトレイにセットしている記録紙が違う可能性があります。確認して正しい記録紙をセットしてください。

記録紙を送れません

記録紙を補給するか、記録紙を正しくセットしてください
問題が解決しない場合は、給紙ローラーが汚れている可能性があります。給紙ローラーを清掃してください。⇒ 70 ページ「給紙ローラーの清掃」を参照してください。

多目的トレイの記録紙を正しくセットしてください

液晶ディスプレイ表示	解決方法
原稿詰まり ADF	<p>ADF(自動原稿送り装置)につまっている原稿を取り除いてください 原稿を取り除いたら、<停止/終了>を押してください。</p> <p>読み込む原稿を短くして、読み込ませてください <停止/終了>を押して、原稿をセットし直してください。</p>
サイズ エラー 両面	<p>正しい記録紙をセットしてください 両面印刷できない記録紙がセットされている可能性があります。確認して正しい記録紙をセットしてください。</p>
使用不能な USB 機器です	<p>接続したデバイス(USBメモリなど)を確認してください 接続しているデバイス(USBメモリなど)は壊れているか互換性がない可能性があります。</p>
初期化できません	<p>電源スイッチをOFFにして、数分間OFFのままにした後、もう一度ONにしてください メモリに保管されたファクスデータは電源スイッチをOFFにしても、消去されません。ファクスデータをコンピューターに保存するときは、⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」を参照してください。</p>
スキャンできません	<p>電源スイッチをOFFにして、数分間OFFのままにした後、もう一度ONにしてください メモリに保管されたファクスデータは電源スイッチをOFFにしても、消去されません。ファクスデータをコンピューターに保存するときは、⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」を参照してください。</p>
切断されました	<p>少し時間を置いて、もう一度、送信または受信をしてください</p>
小さい記録紙を印刷します	<p>印刷された記録紙が背面から排出されるように、バックカバー(背面排紙トレイ)を開いてから<スタート(モノクロ/カラー)>を押してください</p>
通信エラー	<p>相手先のポーリング設定を確認してください</p> <p>別のファクスから送信するか、接続をしながら送信できるか確認してください 電話回線の状況が悪くなっているか、接続が誤っている可能性があります。通信できない場合は、お客様相談窓口へご連絡ください。</p>
登録されていません	<p>ワンタッチボタンまたは短縮ダイヤルに登録してください ⇒ユーザーズガイド 応用編「電話帳の登録と編集」を参照してください。</p>

液晶ディスプレイ表示

解決方法

トナーが確認できません	<p>ドラムユニットを取り出し、ドラムユニットからトナーカートリッジを取り出してください 再度トナーカートリッジをドラムユニットに戻し、ドラムユニットを本製品に戻してください。</p>
トナーがセットされていません	<p>ディスプレイに表示されている色のトナーカートリッジを正しく取り付けてください ドラムユニットを取り外し、トナーカートリッジを正しく取り付けてください。</p>
トナー交換	<p>ディスプレイに表示された色のトナーカートリッジを交換してください ⇒ 74 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。</p>
ドラムエラー	<p>コロナワイヤー（ドラムユニット）を掃除してください ⇒ 64 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。</p> <p>ドラムユニットを交換してください ⇒ 77 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。</p>
ドラム停止	<p>ドラムユニットを交換してください ⇒ 77 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。</p>
廃トナーボックス交換	<p>廃トナーボックスを交換してください ⇒ 86 ページ「廃トナーボックスの交換」を参照してください。</p>
話し中 / 応答がありません	<p>電話番号を確認し、もう一度かけなおしてください</p>
ヒーターエラー	<p>電源スイッチを OFF にします。2～3 秒後、もう一度、電源スイッチを ON にして、そのまま 15 分お待ちください メモリに保管されたファクスデータは電源スイッチを OFF にしても、消去されません。</p>
部品交換 ドラム ユニット	<p>ドラムユニットの交換時期です 印刷品質が目立って低下したら消耗品を交換してください。</p> <p>ドラムユニットのカウンターをリセットしてください ⇒ 80 ページ「ドラムユニットのカウンターをリセットする」を参照してください。</p>
部品交換 ヒーター	<p>ヒーターの交換が必要です お客様相談窓口にご連絡ください。</p>
部品交換 ベルト ユニット	<p>ベルトユニットを交換してください ⇒ 81 ページ「ベルトユニットの交換」を参照してください。</p>

液晶ディスプレイ表示	解決方法
部品交換 PF キット 1	<p>PF キット 1 の交換が必要です お客様相談窓口にご連絡ください。</p>
部品交換 PF キット 2	<p>PF キット 2 の交換が必要です お客様相談窓口にご連絡ください。</p>
部品交換 PF キット MP	<p>PF キット MP の交換が必要です お客様相談窓口にご連絡ください。</p>
部品交換 レーザーユニット	<p>レーザーユニットの交換が必要です お客様相談窓口にご連絡ください。</p>
ベルトユニットがありません	<p>ベルトユニットを取り付けてください ⇒ 81 ページ「ベルトユニットの交換」を参照してください。</p>
まもなくトナー交換	<p>ディスプレイに表示された色の新しいトナーカートリッジを購入し、「トナー交換」が表示される前に準備しておいてください (K) : ブラック、(C) : シアン、(M) : マゼンタ、(Y) : イエロー</p>
メモリがいっぱいです	<p>ファクス送信・コピー実行中のとき < 停止 / 終了 > を押してからもう一度試してください。原稿が複数枚の場合は、< スタート (モノクロ / カラー) > を押して読み込まれた分だけを送信もしくはコピーしてください。</p> <p>印刷中のとき < キャンセル > を押し、受信できなかったジョブデータを消去してからもう一度試してください。 セキュリティ印刷のデータを保存している場合、印刷するかデータを消去してメモリの空き容量を確保してください。 または、文書の文字量を減らすか、解像度を下げてもう一度試してください。 市販の SO-DIMM メモリで本製品のメモリを増やしてください。 ⇒ ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。</p>
用紙サイズが合いません	<p>正しい記録紙をセットしてください メニューの記録紙サイズ設定で設定した記録紙とトレイにセットしている記録紙が違う可能性があります。確認して正しい記録紙をセットしてください。</p>
DIMM を認識できません	<p>本製品の電源スイッチを OFF にし、メモリ (SO-DIMM) をいったん取り外し、再度正しく取り付けてください 数秒後電源を入れ直します。再度エラーメッセージが表示された場合は、メモリ (SO-DIMM) を新しいものに交換してください。 ⇒ ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。</p>

紙が詰まった！

紙づまりのときのメッセージ

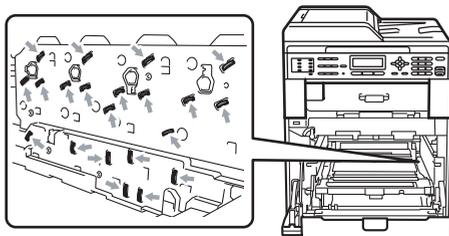
液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。長いメッセージはスクロール表示します。

原稿が詰まったとき ⇒104 ページ「原稿が詰まったとき」 を参照してください。	原稿詰まり ADF 詰まった紙を取り除いて停止ボタンを押してください。
記録紙が詰まったとき ⇒105 ページ「記録紙が詰まったとき」 を参照してください。	紙詰まり XXXX XXXXXXXX

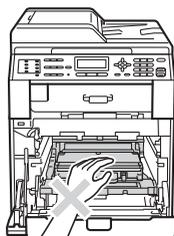
“XXXXXXXX” は、紙づまりの場所によって表示が異なります。

注意

- トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。
- ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。
- 本製品の内部を操作するときは、以下の図の矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損するおそれがあります。



- イラストのグレーの部分には触れないようにしてください。皮脂が付着するときれいに印刷されません。



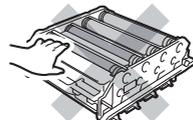
- ドラムユニットを持つときは、ドラムユニットの緑色の取っ手を持ってください。



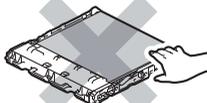
- トナーカートリッジ、ドラムユニット、ベルトユニットを持つときは、イラストのグレーの部分には触れないようにしてください。皮脂が付着するときれいに印刷されません。

<トナーカートリッジ>

<ドラムユニット>



<ベルトユニット>



- つまった記録紙を引き抜くときに無理な力をかけないでください。次に印刷されるページにトナーが飛び散ることがあります。

- つまった記録紙の表面には触れないでください。トナーで手や衣服が汚れるおそれがあります。

補足

使用できない記録紙は紙づまりや故障の原因になります。⇒26 ページ「使用できない記録紙」を参照してください

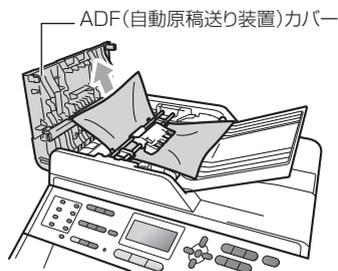
原稿が詰まったとき

液晶ディスプレイに次のように表示されたときは、ADF（自動原稿送り装置）に原稿が詰まっています。



ADF（自動原稿送り装置）の入口で原稿が詰まったときは

- 1 送り込まれていない原稿を取る
- 2 ADF（自動原稿送り装置）カバーを開き、詰まった原稿をゆっくり上に引いて取り除く



- 3 ADF（自動原稿送り装置）カバーを閉じる
ADF（自動原稿送り装置）カバーの中心を押して、左右が閉じていることを確認してください。
- 4 <停止/終了>を押す

ADF（自動原稿送り装置）内で原稿が詰まったときは

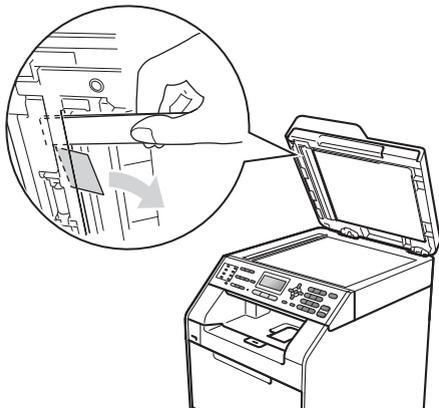
- 1 送り込まれていない原稿を取る
- 2 原稿台カバーを開き、詰まった原稿をゆっくり引き出す



- 3 原稿台カバーを閉じる
- 4 <停止/終了>を押す

ADF（自動原稿送り装置）内に破れた原稿（紙片）などがつまったときは

- 1 原稿台カバーを開く
- 2 かない紙などを使い、破れた原稿（紙片）を取り出す



- 3 原稿台カバーを閉じる
- 4 <停止/終了>を押す

ADF（自動原稿送り装置）の出口で原稿がつまったときは

- 1 送り込まれていない原稿取る
- 2 つまった原稿をゆっくり引き出す



- 3 <停止/終了>を押す

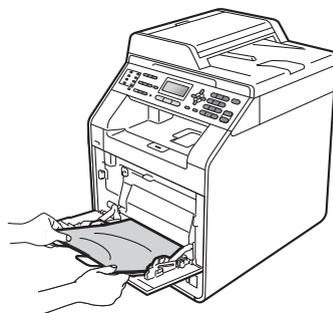
記録紙がつまったとき

多目的トレイに記録紙がつまったとき

ディスプレイに次のように表示されたときは、多目的トレイ(MPトレイ)に記録紙がつまっています。



- 1 多目的トレイからつまっていない記録紙を取り除く
- 2 つまった記録紙を取り除く
両手で静かに引き出してください。



- 3 紙づまりや給紙ミスを防ぐため、記録紙をよくさばく

4 多目的トレイに記録紙をセットする



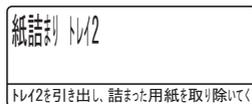
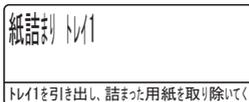
補足

用紙は用紙ガイドの両側にあるマーク①より下に収まるように入れてください。

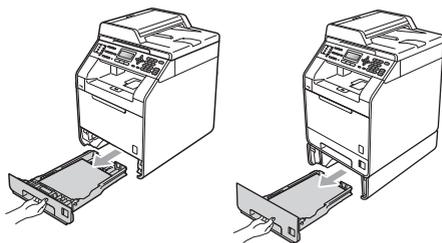
5 <スタート (モノクロ/カラー)> を押す

記録紙トレイに記録紙が詰まったとき

ディスプレイに次のように表示されたときは、記録紙トレイ (トレイ1) / 増設記録紙トレイ (トレイ2) に記録紙が詰まっています。

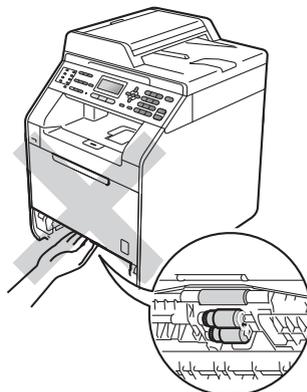


1 本製品から該当の記録紙トレイを完全に引き出す



注意

給紙ローラーの部分 (イラストのグレー部) に手が触れないようにしてください。給紙ローラーが高速で回り、けがをするおそれがあります。



2 つまった記録紙を取り除く

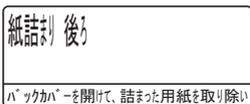
両手で静かに引き出してください。



3 該当の記録紙トレイを本製品に戻す

背面に記録紙がつまったとき

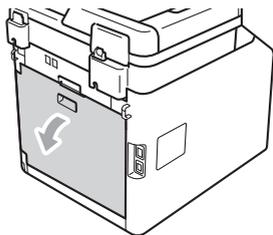
ディスプレイに次のように表示されたときは、バックカバー内に記録紙がつまっています。



バックカバーを開けて、詰まった用紙を取り除く

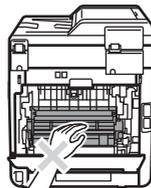
1 本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

2 バックカバーを開ける

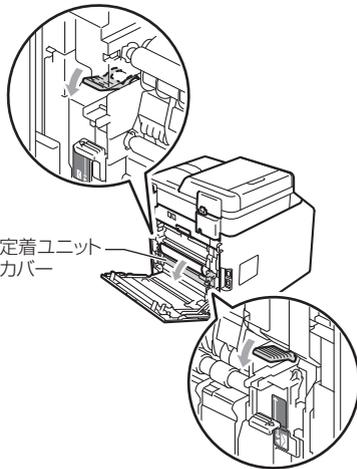


⚠ 注意

本製品の使用直後は、内部は非常に高温になっている部分があります。本製品のバックカバーを開けたときは、イラストのグレーの部分には触れないでください。やけどのおそれがあります。



3 左右の緑色のつまみを手前に引き、定着ユニットカバーを開く

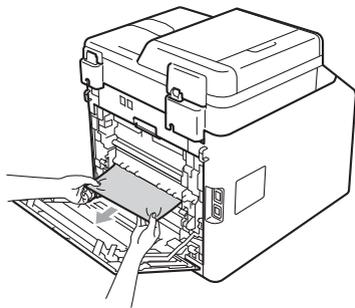


ⓘ (補足)

左右の灰色のレバーの◀/▶マークが✉マークの位置になっていたら、元の位置までレバーを上げてください。

4 つまった記録紙を取り除く

両手でゆっくり引き出してください。



補足

つまった用紙を取り除くことができないときは、本製品の内部からつまった用紙を取り除いてください。詳しくは、⇒ 108 ページ「本製品の内部に記録紙がつまったとき」を参照してください。

5 定着ユニットカバーとバックカバーを閉じる

本製品の内部に記録紙がつまったとき

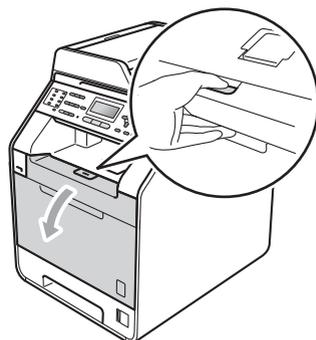
ディスプレイに次のように表示されたときは、本製品の内部に記録紙がつまっています。



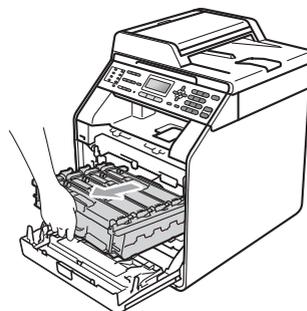
1 電源スイッチをOFFにする

2 ドラムユニットを取り出す

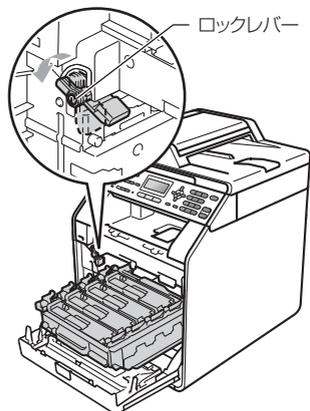
- 1 フロントカバーリリースボタンを押して、フロントカバーを開く



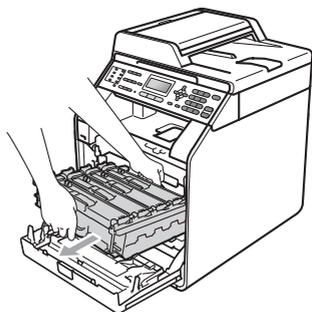
- 2 ドラムユニットの緑色の取っ手を持ち、止まる位置まで手前に引き出す



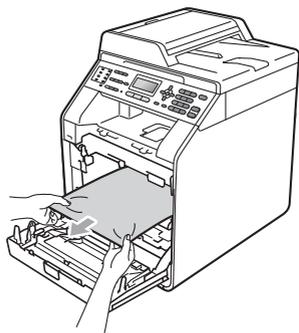
- 3 本製品左側にある緑色のロックレバーが止まる位置までイラストの矢印の方向に回す



- 4 ドラムユニットの緑色の取っ手を持って、本製品から取り出す

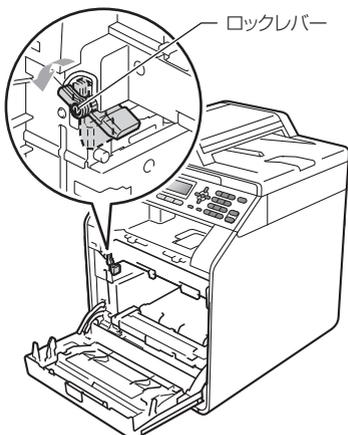


- 3 つまった記録紙を取り除く



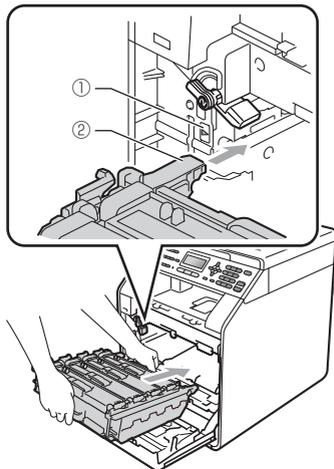
4 元の状態に戻す

- 1 本製品左側にある緑色のロックレバーがイラストの位置にあるか確認する

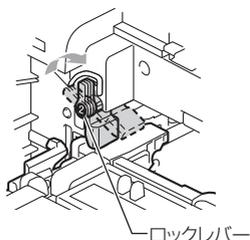


- 2 ドラムユニットの先端の部分をイラストのように入れる

本製品にドラムユニットを戻すときは、ドラムユニットの取っ手に付いている緑色のガイド②を、本製品両端の矢印①に合わせてください。



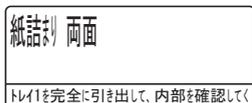
- 3 ロックレバーが止まる位置までイラストの矢印の方向に回す
ドラムユニットを奥へ押し込む前にロックレバーを下げてください。



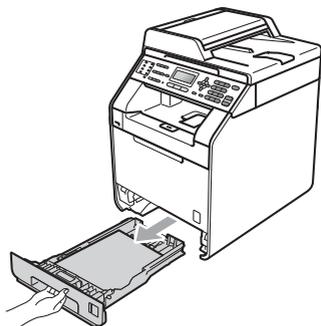
- 4 ドラムユニットを奥へ押し込む
- 5 フロントカバーを閉じる

5 電源スイッチをONにする

両面印刷ユニットまたは定着ユニットに記録紙が詰まったとき

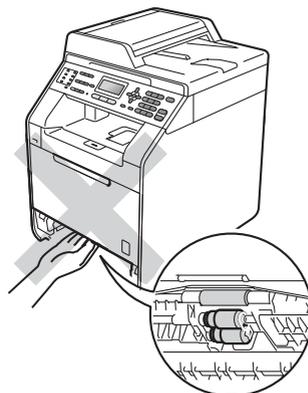


- 1 本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ
- 2 本製品から記録紙トレイを完全に引き出す

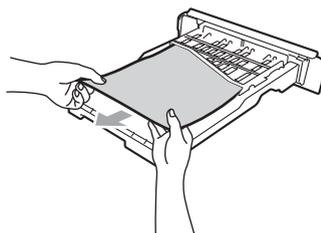


注意

給紙ローラーの部分（イラストのグレー部）に手が触れないようにしてください。給紙ローラーが高速で回り、けがをすることがあります。



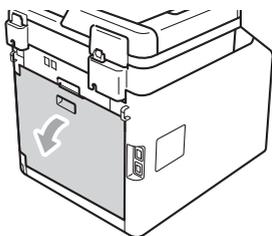
- 3 本製品内部底面に紙が詰まっていない場合は、記録紙トレイの裏側を確認する



補足

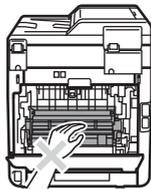
この時点で記録紙トレイを本製品に戻さないでください。

4 記録紙トレイに用紙が詰まっている場合は、バックカバーを開ける

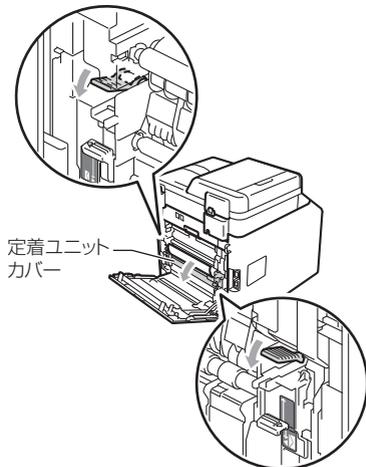


⚠ 注意

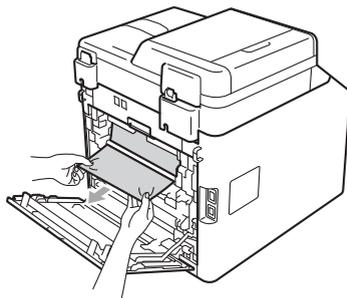
本製品の使用直後は、内部は非常に高温になっています。本製品のバックカバーを開けたときは、イラストのグレーの部分には触れないでください。やけどのおそれがあります。



5 左右の緑色のつまみを手前に引き、定着ユニットカバーを開く



6 つまった用紙を両手で持ち、ゆっくり引いて取り除く



7 定着ユニットカバーとバックカバーを閉じる

原因がよくわからない！

困ったときには（コピー／印刷）

コピー／印刷ができない

ここを確かめてください

電源コードは差さっていますか

本製品の電源スイッチは ON になっていますか

トナーカートリッジが正しく取り付けられていますか

給紙ローラーが汚れていませんか

液晶ディスプレイが「記録紙を送れません」と表示していませんか

記録紙トレイに記録紙を多くセットしていませんか

原稿が正しく送り込まれていますか（ADF（自動原稿送り装置）使用時）

原稿が斜めになって送り込まれていますか（ADF（自動原稿送り装置）使用時）

対処方法

電源コード（壁側、本体側）を確実に差し込んでください。

本製品の電源を ON にしてください。

< 電源が入らない場合 >

- （落雷やパワーサージなどの）瞬間的に発生する大電流によって、本製品内部で安全装置が動作した可能性があります。
- 本製品の電源スイッチを OFF にして、電源プラグを抜いてください。10 分後に電源プラグを差し込み、本製品の電源を入れ直します。

トナーカートリッジとドラムユニットを正しく取り付けてください。⇒ 74 ページ「トナーカートリッジの交換」、⇒ 77 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。

⇒ 70 ページ「給紙ローラーの清掃」を参照してください。

記録紙がまっすぐにセットされていることを確認してください。また、記録紙が丸まっていないか、記録紙が折れ曲がっていないか確認してください。

記録紙を少し減らしてセットしてください。

- 原稿を一度取り出し、もう一度確実に挿入してください。
- ADF（自動原稿送り装置）カバーをもう一度閉じ直してください。
- 原稿が薄すぎたり、厚すぎたりしている場合や原稿が折れ曲がったり、カールしていたり、しわになっている場合は、原稿台ガラスからファクスやコピーをしてください。
⇒ 34 ページ「原稿台ガラスにセットする」を参照してください。
- 原稿のサイズを確認してください。
- 原稿挿入口に破れた原稿などがつまっている場合があります。カバーを開け、つまっている原稿を取り除いてください。
⇒ 104 ページ「原稿がつまったとき」を参照してください。

原稿ガイドを原稿に合わせてください。

ここを確かめてください

記録紙を正しくセットしていますか

記録紙がつまってないか確認してください

対処方法

⇒ 27 ページ「記録紙トレイに記録紙をセットする」を参照してください。

⇒ 105 ページ「記録紙がつまったとき」を参照してください。
フロントカバー、スキャナーカバーまたはバックカバーを確実に閉めてください。

両面印刷ができない

ここを確かめてください

プリンタードライバーの設定は正しいですか

用紙サイズを正しく設定していますか

対処方法

プリンタードライバーが「両面」に設定されているか確認してください。

用紙サイズが正しく設定しているか確認してください。

コピーできない

ここを確かめてください

コピーモードになっていますか

セキュリティ機能ロックが設定されていませんか

対処方法

<コピー> が点灯しているか確認してください。

本製品の管理者にセキュリティ機能ロックが設定されていないか確認してください。

コンピューターから印刷できない

以下の順番で確認してください。

ここを確かめてください

① ケーブルが正しく接続されていますか

② 「通常使うプリンタ」の設定になっていますか

③ 液晶ディスプレイがエラーメッセージを表示していませんか

対処方法

本製品側とコンピューター側の両方のケーブルを差し直してください。(USB ハブなどを経由しては接続できません。)

[プリンター] アイコンにチェックマークが付いているか確認してください。付いていない場合は、次の手順に従って、チェックマークを付けます。

<Windows® 7>

[スタート] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] の順にクリックします。[プリンター] アイコンを右クリックし、[通常使うプリンターに設定] をクリックしてチェックを付けます。

<Windows Vista®>

[スタート] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] の順にクリックします。[プリンター] アイコンを右クリックし、[通常使うプリンタに設定] をクリックしてチェックを付けます。

<Windows® XP>

[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタとFAX] の順にクリックします。[プリンター] アイコンを右クリックし、[通常使うプリンタに設定] をクリックしてチェックを付けます。

<Windows® 2000>

[スタート] - [設定] - [プリンタ] の順にクリックします。[プリンター] アイコンを右クリックし、[通常使うプリンタに設定] をクリックしてチェックを付けます。

⇒ 97 ページ「ディスプレイにエラーメッセージが表示された! (エラーメッセージ一覧)」を参照してください。

ここを確かめてください

④ オフラインの状態になっていませんか

対処方法

プリンターがオフラインになっていないか確認します。

<Windows® 7>

[スタート] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] の順にクリックします。[プリンター] アイコンを右クリックし、[プリンターをオンラインにする] がメニューにある場合は、オフラインの状態です。[プリンターをオンラインにする] をクリックしてください。

<Windows Vista®>

[スタート] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] の順にクリックします。[プリンター] アイコンを右クリックし、[プリンタをオンラインにする] がメニューにある場合は、オフラインの状態です。[プリンタをオンラインにする] をクリックしてください。

<Windows® XP>

[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタとFAX] の順にクリックします。[プリンター] アイコンを右クリックし、[プリンタをオンラインにする] がメニューにある場合は、オフラインの状態です。[プリンタをオンラインにする] をクリックしてください。

<Windows® 2000>

[スタート] - [設定] - [プリンタ] の順にクリックします。[プリンター] アイコンを右クリックし、[プリンタをオンラインにする] がメニューにある場合は、オフラインの状態です。[プリンタをオンラインにする] をクリックしてください。

ここを確かめてください

⑤ 「一時停止」の状態になっていませんか

対処方法

プリンターが一時停止の状態になっていないか確認します。

<Windows® 7>

[スタート] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] の順にクリックします。[プリンター] アイコンを右クリックし、[印刷の再開] がメニューにある場合は、一時停止の状態です。[印刷の再開] をクリックしてください。

<Windows Vista®>

[スタート] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] の順にクリックします。[プリンター] アイコンを右クリックし、[印刷の再開] がメニューにある場合は、一時停止の状態です。[印刷の再開] をクリックしてください。

<Windows® XP>

[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタとFAX] の順にクリックします。[プリンター] アイコンを右クリックし、[印刷の再開] がメニューにある場合は、一時停止の状態です。[印刷の再開] をクリックしてください。

<Windows® 2000>

[スタート] - [設定] - [プリンタ] の順にクリックします。[プリンター] アイコンを右クリックし、[印刷の再開] がメニューにある場合は、一時停止の状態です。[印刷の再開] をクリックしてください。

⑥ 印刷待ちのデータがありませんか

印刷に失敗した古いデータが残っている場合があります。以下の方法でデータを削除してください。

<Windows® 7>

[スタート] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] の順にクリックします。[プリンター] アイコンをダブルクリックして、印刷データを選択します。[ドキュメント] メニューから [キャンセル] を選択します。

<Windows Vista®>

[スタート] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] の順にクリックします。[プリンター] アイコンをダブルクリックして、印刷データを選択します。[ドキュメント] メニューから [キャンセル] を選択します。

<Windows® XP>

[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタとFAX] の順にクリックします。[プリンター] アイコンをダブルクリックして、印刷データを選択します。[ドキュメント] メニューから [キャンセル] を選択します。

<Windows® 2000>

[スタート] - [設定] - [プリンタ] の順にクリックします。[プリンター] アイコンをダブルクリックして、印刷データを選択します。[ドキュメント] メニューから [キャンセル] を選択します。

ここを確かめてください

⑦ 印刷先（ポート）の設定が間違っていないですか

<Windows® 7>
[スタート] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] の順にクリックします。[プリンター] アイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] をクリックします。[ポート] タブをクリックして、印刷先のポートを正しく設定します。

<Windows Vista®>
[スタート] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] の順にクリックします。[プリンター] アイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。[ポート] タブをクリックして、印刷先のポートを正しく設定します。

<Windows® XP>
[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタとFAX] の順にクリックします。[プリンター] アイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。[ポート] タブをクリックして、印刷先のポートを正しく設定します。

<Windows® 2000>
[スタート] - [設定] - [プリンタ] の順にクリックします。[プリンター] アイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。[ポート] タブをクリックして、印刷先のポートを正しく設定します。

⑧ セキュリティ機能ロックが設定されていませんか

ネットワーク管理者に連絡して、セキュリティ機能ロックが設定されていないか確認してください。

⑨ アドビ・イラストレーターを使用していますか

印刷解像度が高すぎる可能性があります。印刷解像度を低く設定してください。

⑩ お使いのコンピューターを再起動して、本製品の電源を入れ直してください

本製品とコンピューターを確認しても印刷できない場合は、本製品の電源を入れ直してください。

⑪ プリンタードライバーをアンインストールし、再インストールしてください

本製品の電源を入れ直しても印刷できない場合は、プリンタードライバーをアンインストールして、かんたん設置ガイドに従ってもう一度ドライバーをインストールしてください。

プリンタードライバーの給紙方法は正しいですか

プリンタードライバーの給紙方法を確認してください。
(多目的トレイ (MP トレイ) 使用時)

- 原稿をよくさばいてからセットしなおしてください。
- プリンタードライバーの給紙方法が MP トレイを選択しているか確認してください。

USBxxx: への書き込みエラーが表示される

液晶ディスプレイに「トナー交換」と表示されていないですか。

- 液晶ディスプレイに表示されている色のトナーカートリッジを交換してください。⇒ 74 ページ「トナーカートリッジ交換のメッセージ」を参照してください。

コピー／印刷結果が悪い

印刷した内容に問題がある場合は、はじめに次の手順を確認してください。
それでも解決しない場合は、「こんなコピー／印刷結果のときは」の問題例やイラストを確認し、対処方法に従ってください。

1. 本製品の仕様を満たしている用紙を使用しているか確認してください。⇒24 ページ「記録紙の基本」、⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。

補足

最適な印刷品質で印刷するために、推奨紙の使用をおすすめします。

2. ドラムユニットとトナーカートリッジが正しく取り付けられているか確認してください。

こんなコピー／印刷結果のときは

対処方法

印刷結果が圧縮され、水平の縞が現れる
または、上下左右の文章が切れる

原稿の上下左右に、印刷可能領域があるので、余白を調整して印刷しなおしてください。

A4 サイズより小さい原稿を原稿台ガラスからコピーする場合に印刷結果が切れる

コピーするときに使用する記録紙トレイの設定を「記録紙トレイ #1のみ」、「記録紙トレイ #2のみ」(増設記録紙トレイ装着時)、または「多目的トレイのみ」のいずれかに設定し、選択した記録紙の記録紙サイズを原稿と同じサイズに設定してください。
コピー終了後、もとの設定に戻してください。
記録紙トレイの設定は、⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」、記録紙サイズの設定は、「セットした記録紙にあわせて本体の設定を変更する」を参照してください。

色つきの文字・鉛筆などで書いた薄い文字の原稿をコピーしたときに、印刷結果が薄い

画質の設定を「テキスト」に設定し、コントラストのレベルを変更してください。
⇒50 ページ「画質を設定する」、⇒51 ページ「コントラストを設定する」を参照してください。

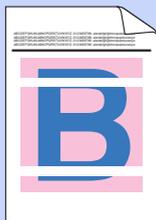
何も印刷されない(真っ白)

- 原稿を表と裏を間違えてセットしている可能性があります。ADF (自動原稿送り装置) の場合は、コピーする面を上にして、原稿台ガラスの場合は、コピーする面を下にして原稿をセットしてください。
- 複写式の原稿は文字が読み取りにくい場合があります。推奨している記録紙を使用してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。
- 薄い色や、青色や緑色の文字で書かれた原稿は、文字が読み取りにくい場合があります。文字の色を濃くしてください。
- 原稿台ガラスの読み取り部と原稿台カバー (白い部分)、ADF 読み取り部を清掃してください。⇒60 ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。
- ドラムユニットとトナーカートリッジが正しく装着されていない可能性があります。ドラムユニットを取り外し、トナーカートリッジをドラムユニットから取り外してください。トナーカートリッジを正しく入れなおし、ドラムユニットを本製品に正しく装着してください。

こんなコピー／印刷結果のときは

印刷結果が薄すぎるか濃すぎる

印刷されたページに、白い線が横方向に現れる

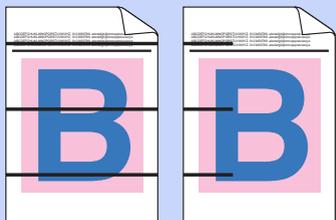


対処方法

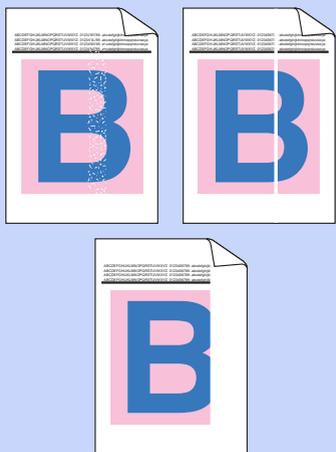
- コントラストまたは明るさを印刷条件に合わせて調整してください。お買上げ時は中央に設定されています。
⇒ 51 ページ「コントラストを設定する」、⇒ 51 ページ「明るさを設定する」を参照してください。原稿の先端に色が付いていると、濃い原稿と判断することがあります。このときは、原稿をセットする向きを変えたり、あらかじめ濃度を下げるなどの対処をしてください。
- 複写式の原稿は文字が読み取りにくい場合があります。推奨している記録紙を使用してください。⇒ ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。
- 原稿台ガラスの読み取り部と原稿台カバー（白い部分）、ADF 読み取り部を清掃してください。⇒ 60 ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。
- ドラムユニットとトナーカートリッジが正しく装着されていない可能性があります。ドラムユニットを取り外し、トナーカートリッジをドラムユニットから取り外してください。トナーカートリッジを正しく入れなおし、ドラムユニットを本製品に正しく装着してください。
- ブラザー純正のトナーカートリッジとドラムユニットを使用しているか確認してください。⇒ 71 ページ「トナーカートリッジとドラムユニットについて」を参照してください。
- 推奨している記録紙を使用してください。
- プリンタードライバーで適切な用紙種類を選択してください。
- 本製品内部で結露している可能性があります。複数ページを印刷してください。改善されない場合は、2 時間程度放置してください。
- ドラムユニットが破損している場合は、新しいドラムユニットに交換してください。
- 破れた紙片がスキャナウィンドーを覆っていることがあります。その場合は、紙片を取り除いてください。
- きれいな柔らかい布でスキャナウィンドーを清掃してください。⇒ 61 ページ「本製品内部を清掃する」を参照してください。
- ブラザー純正のトナーカートリッジとドラムユニットを使用しているか確認してください。⇒ 71 ページ「トナーカートリッジとドラムユニットについて」を参照してください。

こんなコピー／印刷結果のときは

色の付いた線が横方向に現れる



印刷されたページに、
白い線が縦方向に現れる



画像のずれが起こる



対処方法

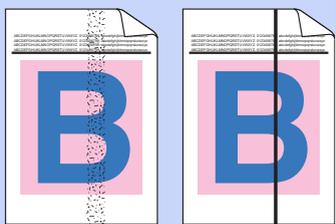
- 問題の色を特定し、新しいトナーカートリッジに交換してください。⇒ 75 ページ「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。
交換するトナーカートリッジの色を特定する方法も含めた解決方法は、サポートサイト(ブラザーソリューションセンター) (<http://solutions.brother.co.jp/>) をご覧ください。
- 新しいドラムユニットに交換してください。⇒ 78 ページ「ドラムユニットを交換する」を参照してください。

- 破れた紙片がスキャナーウインドーを覆っていることがあります。その場合は、紙片を取り除いてください。
- きれいな柔らかい布でスキャナーウインドーを清掃してください。⇒ 61 ページ「本製品内部を清掃する」を参照してください。
- ドラムユニットを清掃してください。⇒ 66 ページ「ドラムユニットの清掃」を参照してください。
- 問題の色を特定し、新しいトナーカートリッジに交換してください。
⇒ 75 ページ「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。
交換するトナーカートリッジの色を特定する方法も含めた解決方法は、サポートサイト(ブラザーソリューションセンター) (<http://solutions.brother.co.jp/>) をご覧ください。

- プリンタードライバーで適切な用紙種類を選択しているか確認してください。⇒ ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。
- バックカバー内部の左右両側の灰色のレバーが持ち上がっているか確認してください。
- 本製品の設置環境を確認してください。低温、乾燥などは、この問題の原因になる場合があります。⇒ 「安全にお使いいただくために」を参照してください。
- 新しいドラムユニットに交換してください。⇒ 78 ページ「ドラムユニットを交換する」を参照してください。

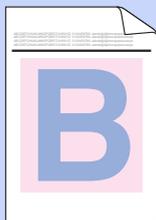
こんなコピー／印刷結果のときは

色の付いた線が縦方向に現れる



- 原稿台ガラスの読み取り部と原稿台カバー（白色の部分）を清掃してください。
⇒ 60 ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。
- ドラムユニットの緑色のつまみをスライドさせて、ドラムユニットのコロナワイヤーを清掃してください。⇒ 64 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。
- ドラムユニットの緑色のつまみが元の位置（▲）にあることを確認してください。
- 問題の色を特定し、新しいトナーカートリッジに交換してください。⇒ 75 ページ「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。
- 交換するトナーカートリッジの色を特定する方法も含めた解決方法は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（<http://solutions.brother.co.jp/>）をご覧ください。
- 新しいドラムユニットに交換してください。⇒ 78 ページ「ドラムユニットを交換する」を参照してください。

全体に色が薄いまたはぼやけている



- 「省エネモード」の「トナー節約モード」が「オフ」になっているか確認してください。⇒ ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。
- プリンタードライバーで適切な用紙種類を選択しているか確認してください。⇒ ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。
- 4 つすべてのトナーカートリッジをゆっくり振ってください。
- 乾いた起毛がない柔らかい布で、スキャナーウインドーの汚れやちりをふき取ってください。⇒ 61 ページ「本製品内部を清掃する」を参照してください。
- 色補正を行ってください。⇒ ユーザーズガイド 応用編「色合いや色ずれを補正する」を参照してください。

印刷されたページに白い部分が現れる

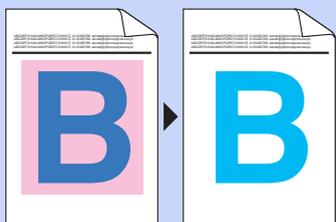


- 数ページ印刷しても問題が解決しない場合は、ドラムユニットが汚れている可能性があります。ドラムユニットを清掃してください。⇒ 66 ページ「ドラムユニットの清掃」を参照してください。
- 推奨紙を使用してください。
- プリンタードライバーで適切な用紙種類を選択しているか確認してください。⇒ ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。
- 高温、多湿などの特定の環境条件がこの問題の原因になる場合があります。設置環境を確認してください。⇒ 「安全にお使いいただくために」を参照してください。

こんなコピー／印刷結果のときは

対処方法

一部の色が抜けている



- 問題の色を特定し、新しいトナーカートリッジに交換してください。⇒ 75 ページ「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。交換するトナーカートリッジの色を特定する方法も含めた解決方法は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（<http://solutions.brother.co.jp/>）をご覧ください。
- 新しいドラムユニットに交換してください。⇒ 78 ページ「ドラムユニットを交換する」を参照してください。

背景が灰色になる



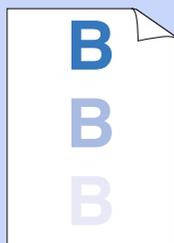
- 推奨している記録紙を使用してください。
- 高温、多湿などの特定の環境条件がこの問題の原因になる場合があります。設置環境を確認してください。
- 新しいドラムユニットに交換してください。

斜めに印刷される



- 記録紙ガイドが、セットした記録紙のサイズに正しく合っているか確認してください。
- 多目的トレイをご利用の場合は、⇒ 29 ページ「多目的トレイに記録紙をセットする」を参照してください。
- 記録紙トレイ内の紙の枚数が多すぎる場合は減らしてください。
- ADF（自動原稿送り装置）からのコピーの場合は、原稿ガイドが原稿の幅に正しく合わせられているか確認してください。⇒ 34 ページ「ADF（自動原稿送り装置）にセットする」を参照してください。
- 推奨している記録紙を使用してください。

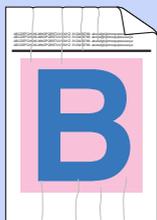
ゴーストイメージが印刷されたページに現れる



- 推奨している記録紙を使用してください。
- 用紙種類の設定を「厚紙」に変更してください。
- 用紙サイズの設定を適切に変更してください。
- 高温、多湿などの特定の環境条件がこの問題の原因になる場合があります。設置環境を確認してください。
- 新しいドラムユニットに交換してください。
- 定着ユニットが汚れていることがあります。お客様相談窓口へご連絡ください。

こんなコピー／印刷結果のときは

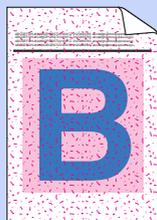
しわが寄ったり折れ曲がって印刷される



封筒にしわが寄ったり折れ曲がって印刷される



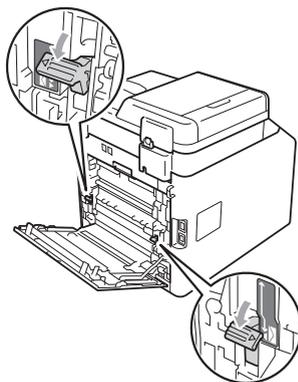
はがきがカール、またははがきの印刷結果が悪い



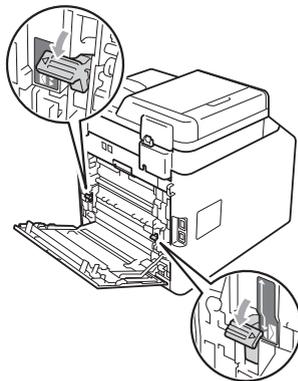
対処方法

- 推奨紙を使用してください。
- バックカバーが正しく閉められているか確認してください。
- バックカバー内部の左右両側の灰色のレバーが持ち上がっているか確認してください。
- プリンタードライバーで適切な用紙種類を選択しているか確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。

封筒を印刷するときは、バックカバーを開け、バックカバー内部の左右両側の灰色のレバーの◀/▶マークが✉マークにあっているか確認してください。



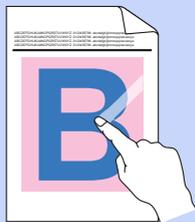
バックカバーを開け、バックカバー内部の左右両側の灰色のレバーの◀/▶マークが✉マークにあっているか確認してください。



こんなコピー／印刷結果のときは

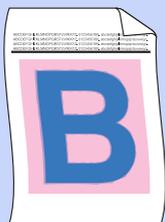
対処方法

印刷された箇所を指でこすると汚れる



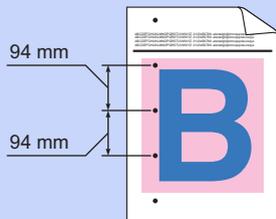
- プリンタードライバーで適切な用紙種類を選択しているか確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。
- バックカバー内部の左右両側の灰色のレバーが持ち上がっているか確認してください。
- プリンタードライバーの【トナーの定着を改善する】を選択してください。⇒ユーザーズガイド パソコン活用編を参照してください。それでも解決しない場合は、「超厚紙」に用紙種類を選択してください。

カールしたり波打って印刷される



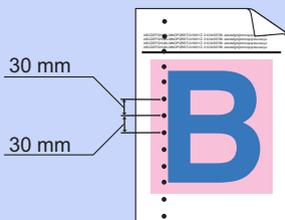
- プリンタードライバーの【用紙のカールを軽減する】を選択してください。⇒ユーザーズガイド パソコン活用編を参照してください。それでも解決しない場合は、用紙種類をお使いの記録紙より1段階薄く設定してください。
- 本製品を頻繁に使わない場合は、記録紙トレイに用紙を入れたまま長期間放置されます。トレイの中の用紙を裏返すか、用紙をさばいた後に向きを180度回転させてください。
- 高温多湿の場所で放置していない用紙をセットしてください。

印刷されたページに周期的な点が見れる



- 数ページ印刷しても問題が解決されない場合は、ドラム表面に汚れが付着した可能性があります。⇒66 ページ「ドラムユニットの清掃」を参照してください。
- 新しいドラムユニットに交換してください。⇒78 ページ「ドラムユニットを交換する」を参照してください。

30mm ごとに色の付いた斑点が見れる



- 問題の色を特定し、新しいトナーカートリッジに交換してください。⇒75 ページ「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。交換するトナーカートリッジの色を特定する方法も含めた解決方法は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）(<http://solutions.brother.co.jp/>) をご覧ください。

こんなコピー／印刷結果のときは

対処方法

印刷結果がかすれる



トナーが飛び散り、汚れる



印刷の色が異なる

- ・「トナー節約モード」を「オフ」に設定してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。
- ・ドラムユニットのコロナワイヤーを清掃してください。⇒64 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。清掃後も改善されない場合は、ドラムユニットを交換してください。
- ・新しいトナーカートリッジに交換してください。
- ・高温、多湿などの特定の環境条件がこの問題の原因になる場合があります。設置環境を確認してください。
- ・原稿台ガラスを清掃してください。

- ・本製品の設置環境を確認してください。湿気、高温などは、この問題の原因になる場合があります。⇒「安全にお使いいただくために」を参照してください。
- ・推奨している記録紙を使用してください。
- ・トナーカートリッジを交換してください。
- ・ドラムユニットのコロナワイヤーを清掃してください。⇒64 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。清掃後も改善されない場合は、ドラムユニットを交換してください。
- ・定着ユニットが汚れていることがあります。お客様相談窓口へご連絡ください。

- ・「省エネモード」の「トナー節約モード」が「オフ」になっているか確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。
- ・色補正を行ってください。⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。
- ・プリンタードライバーの拡張設定や操作パネルから色補正を行います。本製品で印刷できる色とコンピュータのモニターで表示される色は異なります。モニターと同じ色を本製品で再現できない場合もあります。⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。
- ・陰影部分の画像品質が予想していたものと異なる場合は、プリンタードライバーの【黒色を強調して印刷する】のチェックボックスにチェックをしてください。⇒ユーザーズガイド パソコン活用編を参照してください。
- ・画像の陰影部分がくすんでいる場合、[グレーの印刷を改善する]のチェックボックスにチェックをしてください。
- ・新しいトナーカートリッジに交換してください。⇒75 ページ「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。
問題が続く場合は、新しいドラムユニットに交換してください。⇒78 ページ「ドラムユニットを交換する」を参照してください。

こんなコピー／印刷結果のときは

対処方法

黒い汚れが平行に繰り返し入る



- 推奨している記録紙を使用してください。
- ラベル紙を使用の場合は、ラベルののりが感光ドラムに付着することがあります。ドラムユニットを清掃してください。⇒ 66 ページ「ドラムユニットの清掃」を参照してください。開封されたドラムユニットは過度の直射日光や照明で品質が損なわれていることがあります。新しいドラムユニットに交換してください。
- クリップやホチキスがついた記録紙を使用すると、ドラム表面が傷ついてしまっている可能性があります。ドラムの表面を確認して、傷がついている場合は、ドラムを交換してください。
- 新しいトナーカートリッジに交換してください。

点々が不規則に現れる



- トナーカートリッジから本製品内部にトナーが漏れていないか確認してください。漏れている場合は、新しいトナーカートリッジと交換してください。
- コピーを数枚してください。
- ブラザー純正のトナーカートリッジとドラムユニットを使用しているか確認してください。⇒ 71 ページ「トナーカートリッジとドラムユニットについて」を参照してください。

印刷されたページに、線が縦方向に現れる



- 原稿台ガラスの読み取り部と原稿台カバー（白色の部分）を清掃してください。⇒ 60 ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。
- コロナワイヤーの緑色のつまみが元の位置（▲）にあるか確認してください。
- ドラムユニットのコロナワイヤーを清掃してください。⇒ 64 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。
- 感光ドラムの表面にトナーや粘着性の汚れがついている場合は、乾いた布でふきとってください。感光ドラムの場所は、⇒ 66 ページ「ドラムユニットの清掃」を参照してください。清掃後も線が現れる場合は、ドラムユニットを新しいものに交換してください。
- ブラザー純正のトナーカートリッジとドラムユニットを使用しているか確認してください。純正品の型番と購入方法については、⇒ 71 ページ「トナーカートリッジとドラムユニットについて」を参照してください。
- 定着ユニットに汚れがある可能性があります。お客様相談窓口へご連絡ください。

こんなコピー／印刷結果のときは

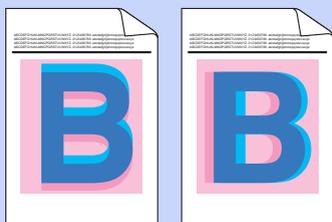
対処方法

すべて1色で印刷される



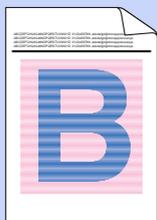
新しいドラムユニットに交換してください。⇒ 78 ページ「ドラムユニットを交換する」を参照してください。

色ズレが起こる



- 本製品を固く水平な面の上に設置しているか確認してください。
- 自動色ずれ補正、または手動色ずれ補正を行ってください。⇒ ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。
- 新しいドラムユニットに交換してください。⇒ 78 ページ「ドラムユニットを交換する」を参照してください。
- 新しいベルトユニットに交換してください。⇒ 81 ページ「ベルトユニットの交換」を参照してください。

色むらが起こる



- 色補正を行ってください。⇒ ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。
 - 濃さの異なっている色を特定し、その色の新しいトナーカートリッジに交換してください。⇒ 75 ページ「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。
- 交換するトナーカートリッジの色を特定する方法も含めた解決方法は、サポートサイト(ブラザーソリューションセンター) (<http://solutions.brother.co.jp/>) をご覧ください。
- 新しいドラムユニットに交換してください。⇒ 78 ページ「ドラムユニットを交換する」を参照してください。

細線の画像が欠けている

- 「省エネモード」の「トナー節約モード」が「オフ」になっているか確認してください。⇒ ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。
- 印刷解像度を変更してください。
- Windows® のプリンタードライバーを使用している場合は、[パターン印刷を改善する] または [細線の印刷を改善する] チェックボックスをチェックしてください。⇒ ユーザーズガイド パソコン活用編を参照してください。

困ったときには（スキャン）

スキャンできない

このような場合は

スキャン中にエラーが表示される



Windows®の場合、Presto! PageManagerで[ファイル] - [TWAIN 対応機器の選択] の選択をして、Brother TWAIN ドライバーを選択し、「選択」をクリックしてください。

Macintosh の場合、[ファイル] - [取り込みデバイスを選択] の選択をして、Brother TWAIN ドライバーを選択し、「選択」をクリックしてください。

OCR が使用できない



解像度を上げてもう一度スキャンしてください。

ネットワークスキャンが使用できない



⇒「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。

対処方法

困ったときには（電話／ファクス）

ファクスできない

ここを確かめてください

本製品が正しく設定されていますか



回線種別を正しく設定してください。
⇒21 ページ「電話回線のこと」、⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。

ファクスを送信／受信できる相手とできない相手がありますか



「安心通信モード」を設定してください。このとき、「標準」→「安心」の順にお試しください。
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。

ダイヤルできますか



電話線を正しく接続してください。

送信確認レポートで、「結果エラー」と印刷される



もう一度ファクスを送信してください。問題が続いている場合、電話会社に問い合わせ、回線を確認してください。

原稿を正しくセットしていますか



原稿を正しくセットしているか確認してください。

登録している電話番号に、ポーズ「p」が入っていませんか



登録している電話番号に、ポーズ【p】が入っている場合は、削除してください。

IP フォンを使用していますか



ご利用しているプロバイダーへファクス通信が保障されていることを確認してください。

対処方法

ここを確かめてください

IP 網を使用した専用線を使用していますか

ADSL 環境ですか

対処方法

「安心通信モード」を「標準」に変更してください。または、一般電話回線を選択して送信してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。

- ブランチ接続（並列）接続をしないでください。
- ラインセパレータ（分岐器）を使用すると改善する場合があります。

ファクスできない（応用編）

こんなときは

自動受信できない

リモート受信できない

構内交換機（PBX）に内線接続したときに、ファクス受信できない

IP 網を使用している

対処方法

- 呼出回数が多すぎないか確認してください。在宅モードのときは呼出回数を 6 回以下に、留守モードのときは呼出回数を 2 回以下に設定してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。または、手動で受信してください。
- 自動で記録紙に印刷したいときは、「転送 / メモリ受信」の設定を「オフ」にしてください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」、⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」を参照してください。

- 「リモート受信」の設定を「オン」にしてください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。
- リモート起動番号を正しくダイヤルしてください。お買い上げ時は「# 5 1」に設定されています。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。
- メモリがいっぱいになっている場合があります。メモリ内部のデータを印刷するか、メモリの内容を消去してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」、⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。

「特別回線対応」の設定を「PBX」にしてください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。それでも受信できないときは、「お客様相談窓口」にご連絡ください。

「0000」や選択番号をダイヤルした後、約 3 秒間待ってから相手の番号や電話帳をダイヤルしてください。

こんなときは

ファクスを複数枚送信できない (ADF (自動原稿送り装置) 使用時)

対処方法

「リアルタイム送信」を、「オフ」にしてください。
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。

リモコン機能が使えない

ここを確かめてください

トーン信号 (ピポッパッ) が出せない
電話機からかけていませんか

対処方法

トーン信号の出せる電話機からかけ直してください。

ファクスの画質が悪い

こんなときは

受信したファクスが分割されて2ページに印刷される

対処方法

「自動縮小」を「オン」にしてください。
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。

受信したファクスの画像が乱れる

- 相手に画質を変更して送信してもらってください。
- キャッチホンが途中で入っていませんか。「キャッチホンII」のサービスに変更し、「キャッチホンII」の呼び出しベル回数を0回に設定してください。「キャッチホンII」の詳細内容はNTTの166番にお尋ねください。
- ブランチ接続 (並列接続) はしないでください。
⇒「安全にお使いいただくために」を参照してください。

受信したファクスに縦の線が現れる

- ドラムユニットのコロナワイヤーをきれいにします。⇒64ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。
コロナワイヤー清掃後、緑色のつまみが元の位置 (▲) にあることを確認します。
清掃後も線が現れる場合は、ドラムユニットを新しいものに交換してください。⇒77ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
それでも改善されない場合は、定着ユニットに汚れがある可能性があります。お客様相談窓口へご連絡ください。
- 相手側のファクス読み取り部が汚れている可能性があります。相手にファクス読み取り部の汚れを確認してもらってください。

こんなときは

受信したファクスに、水平の線が現れる
または、行が抜ける

対処方法

- ・回線状況が悪い可能性があります。相手にファクスを再送するように依頼してください。
- ・「安心通信モード」の設定を「標準」または「安心(VolP)」にしてください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。
- ・相手側のファクス読み取り部が汚れている可能性があります。相手にファクス読み取り部の汚れを確認してもらってください。

相手側で受信したファクスが鮮明でない

- ・スキャナーを清掃してください。
⇒ 60 ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。
- ・ファクスの送信時に選択した解像度が適切でないことがあります。【ファイン】または【スーパーファイン】モードを使用してファクスを再送信してください。原稿が写真の場合は、【写真】モードを選択して送信してください。
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。

送信したファクスに縦の線が現れる

原稿台ガラス、読み取り部、原稿台カバーを清掃してください。

送信したファクスに横の線が現れる

- ・キャッチホンが途中で入ると、画像が乱れることがあります。⇒ 43 ページ「電話モード」を参照してください。
- ・「安心通信モード」の設定を「標準」または「安心(VolP)」にしてください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。

電話がかけられない

ここを確かめてください

受話器から「ツー」という音が聞こえますか

対処方法

本製品に接続している電話機が本製品の外付電話(EXT.)端子に接続していることを確認してください。

ひかり電話を使用していますか

- ・手動で回線種別を「プッシュ回線」に設定してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。
- ・一部つながらない番号があります。ご利用の電話会社へのお問い合わせください。

着信音が鳴らない

ここを確かめてください

電源は入っていますか

ひかり電話を使用していますか

ISDN を使用していますか

ISDN 回線で、複数の回線を契約していますか

対処方法

本製品の電源スイッチが ON になっているか確認してください。また電源コードも確認してください。

VoIP アダプタ側が、ナンバー・ディスプレイを使用しない設定になっているか確認してください。場合によっては、VoIP アダプタの設定が必要です。契約内容の確認や、VoIP アダプタの設定方法については、契約電話会社にお問い合わせください。

- ターミナルアダプタの電源が入っているか確認してください。また、設定を何も接続していない空きアナログポートは「使用しない」に設定してください。それでもうまくいかないときは、お使いになっているターミナルアダプタのメーカーまたはご利用の電話会社にお問い合わせください。
- ターミナルアダプタの自己診断モードで ISDN 回線の状況を確認してください。異常があった場合は NTT 故障係（113）へご連絡ください。
- 本製品を接続しているアナログポートの設定を「電話」にしてください。
- 「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、1～2 回おきにしか着信できません。ターミナルアダプタの設定で「着信優先」または「応答平均化」を解除してください。

- ダイヤルイン番号またはナンバーを着信させるアナログポートはグローバル着信「しない」に設定してください。
- まだ問題がある場合は、お使いになっているターミナルアダプタのメーカーまたは最寄りの NTT におたずねください。

「声」をファクス信号音として誤って検出する

ここを確かめてください

「親切受信」が「オン」に設定されていませんか

対処方法

本製品の「親切受信」が「オン」に設定されていると、音に対して敏感になります。本製品は回線上の特定の音声をファクス機器の呼び出しと間違っ、ファクスの受信トーンで応答することがあります。本製品に接続している電話機をお使いの場合は、⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。

キャッチホン、ナンバー・ディスプレイが使用できない

ここを確かめてください

雑音が入ったり、キャッチホンが受けられない

電話番号が表示されない

ISDN を使用していますか

ひかり電話を使用していますか

対処方法

ブランチ接続（並列接続）をしている場合は、正しく接続しなおしてください。⇒「安全にお使いいただくために」を参照してください。

- ・ブランチ接続（並列接続）をしている場合は、ブランチ接続（並列接続）をしないでください。
- ・NTT のナンバー・ディスプレイサービスの契約をしてください。⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。

本製品を接続しているターミナルアダプタのアナログポートから、番号情報が送出される設定になっているか確認してください。

VoIP アダプタ側が、ナンバー・ディスプレイを使用しない設定になっているか確認してください。場合によっては、VoIP アダプタの設定が必要です。契約内容の確認や、VoIP アダプタの設定方法については、契約電話会社にお問い合わせください。

困ったときには（その他）

突然印刷が開始されたり、無意味なデータが印刷される

ここを確かめてください

USB ケーブル、LAN ケーブルが長すぎないか、破損または故障していませんか

インターフェイス切替器を使用していますか

対処方法

- ・USBケーブルは長さが2.0m以下のものをおすすめします。
- ・ケーブルが破損、故障している場合は交換してください。

インターフェイス切替器をとりはずして、直接本製品と接続してください。

マイクロソフト「エクセル」または「パワーポイント」をご使用中にオブジェクトに設定したハッチパターンがうまくプリントできない

ここを確かめてください

プリンタードライバーの[拡張機能]タブで[イメージタイプ]の設定を確認してください

対処方法

「イメージタイプ」の設定を「写真」にしてください。

ネットワークリモートセットアップの接続に失敗した

ここを確かめてください

ネットワークの設定を変更したり、別の機器と置き換えたりしていませんか

対処方法

接続失敗のエラーメッセージ画面から「検索」をクリックし、表示される機器の一覧から、使用する機器（本製品）を選び、再度設定してください。⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「リモートセットアップ」

液晶ディスプレイの文字が読みにくい

ここを確かめてください

液晶ディスプレイのコントラストの設定が適切ですか

対処方法

液晶ディスプレイのコントラストの設定を変更してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。

スピーカーからの音（キータッチ音など）が割れる

ここを確かめてください

スピーカーの近くにアンテナがありませんか

対処方法

アンテナを回転してスピーカーから遠ざけてください。

本書の使いかた目次

使う前に知ってほしいこと

まずは使ってみましょう

日常のお手入れ

困ったときには

付録(索引)

5 付録

機能一覧

初期設定機能

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内容	参照ページ
0. 初期設定	1. 受信モード	—	FAX=ファクス専用 F/T=自動切換え 留守=外付け留守電 TEL=電話	受信モードを設定します。	⇒44 ページ
	2. 時計セット	1.時計セット	—	現在の日付・時刻を設定します。	—
		2.タイムゾーン	UTC XXX:XX UTC +09:00	タイムゾーンを設定します。	—
	3. 発信元登録	—	ファクス 電話 名前	ファクスに印刷される発信元の名前、ファクス番号を設定します。	—
	4. 回線種別設定	—	プッシュ回線 ダイヤル 10PPS ダイヤル 20PPS 自動設定	お使いの電話回線に合わせて回線種別を設定します。	—
	5. ダイヤルトーン設定	—	検知する 検知しない	ダイヤルトーン検知を設定します。	—
	6. 特別回線対応	—	一般 ISDN PBX	回線種別を設定します。	—
	7. ナンバー プレフィックス	—	—	外線にダイヤルするときに必要な番号を設定します。	—
8. リセット	1.機能設定	1.決定 2.キャンセル	1.決定 2.キャンセル	コピー、ファクスなど各種機能でご使用にあわせて設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。	—
		2.ネットワーク	1.決定 2.キャンセル	ネットワークの設定をすべて初期値に戻します。	—
		3.電話帳 & ファクス	1.決定 2.キャンセル	電話帳や着信履歴、メモリなどをすべて消去します。	—
		4.全設定	1.決定 2.キャンセル	本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻します。	—

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内 容	参照ページ
0. 初期設定	0. 表示言語	—	日本語 English	液晶ディスプレイに表示される言語を設定します。 This setting allows you to change LCD Language to English.	—

※ 下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

基本設定機能

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内 容	参照ページ
1. 基本設定	1. モード タイマー	—	0 秒	ファクスモードに戻る時間を設定します。 「切」を選択すると、最後に使ったモードを保持します。	—
			30 秒		
	1 分				
	2 分				
2. 記録紙設定	1. 記録紙タイプ	1. 多目的トレイ	普通紙	記録紙トレイにセットする記録紙のタイプを設定します。	⇒31 ページ
			普通紙 (厚め)		
			厚紙		
			ハガキ		
			超厚紙		
			再生紙		
2. 記録紙トレイ #1	普通紙	普通紙 (厚め)			
普通紙 (厚め)					
厚紙					
ハガキ					
超厚紙					
再生紙					
3. 記録紙トレイ #2*	普通紙	普通紙 (厚め)			
普通紙 (厚め)					
厚紙					
ハガキ					
超厚紙					
再生紙					

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択		選択項目	内 容	参照ページ
1. 基本設定	2. 記録紙設定	2.記録紙サイズ	1.多目的トレイ	A4 USレター A5 A5 L (A5 (横置き)) A6 B5 B6 ハガキ フリー	記録紙トレイに セットする記録紙 のサイズを設定し ます。	⇒31 ページ
			2.記録紙トレイ #1	A4 USレター A5 A5 L (A5 (横置き)) A6 B5 B6 ハガキ		
			3.記録紙トレイ #2*	A4 USレター A5 B5 B6		
	3. 音量	1. 着信音量		切 小 虫 大	着信音量を設定し ます。	—
		2. ボタン確認音量		切 小 虫 大	操作パネルのボタ ンを押したときの 音量を設定します。	—
		3. スピーカー音量		切 小 虫 大	スピーカーの音量 を設定します。	—
	4. 省エネモード	1. トナー節約モード		オン オフ	トナーの使用量を セーブします。 「オン」に設定する と、印字結果が薄 くなります。	—

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内容	参照ページ	
1. 基本設定	4. 省エネモード	2. スリープ モード	003分	スリープ状態になるまでの時間を設定します。消費電力を節約することができます。	—	
	5. トレイ選択	1. コピー	記録紙トレイ #1 のみ 記録紙トレイ #2 のみ* 多目的トレイ のみ <u>多目的トレイ > トレイ#1</u> 多目的 > #1 > #2* トレイ#1 > 多目的トレイ #1 > #2 > 多目的*	コピーするときに給紙する記録紙トレイを設定します。	—	
		2. ファクス	記録紙トレイ #1 のみ 記録紙トレイ #2 のみ* 多目的トレイ のみ <u>多目的トレイ > トレイ#1</u> 多目的 > #1 > #2* <u>トレイ#1 > 多目的トレイ</u> #1 > #2 > 多目的*	ファクスを印刷するときに給紙する記録紙トレイを設定します。	—	
		3. プリンター	記録紙トレイ #1 のみ 記録紙トレイ #2 のみ* 多目的トレイ のみ <u>多目的トレイ > トレイ#1</u> 多目的 > #1 > #2* トレイ#1 > 多目的トレイ #1 > #2 > 多目的*	プリンター印刷するときに給紙する記録紙トレイを設定します。	—	
	6. 画面のコントラスト		-□□■□□+	液晶ディスプレイのコントラストを調整します。	—	
	7. セキュリティ	1. セキュリティ 機能ロック		—	暗証番号を設定しファクス送信などの機能をユーザごとにロックします。	—
		2. セキュリティ 設定ロック		—	暗証番号を設定し機能設定をロックします。	—

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内 容	参照ページ
1. 基本設定	8. 原稿読み取り設定	1. 原稿台スキャンサイズ	A4 USレター	—	⇒35 ページ
		2. ファイルサイズ	1. カラー	小 虫 大	ユーザーズガイド パソコン活用編を参照してください。
			2. グレー	小 虫 大	

※オプションの増設記録紙トレイ2（LT-300CL）を増設したときにメニューが表示されます。

ファクス機能

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内容	参照ページ
2. ファクス	1. 受信設定	1. ファクス無鳴動受信	オン オフ	電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らして、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにします。	—
		2. 呼出回数	00 : 04 : 10	「ファクス専用モード」と「自動切換えモード」のとき、着信してから自動受信するまでの呼出回数を0~10回の間で設定します。	—
		3. 再呼出回数	08 15 20	「自動切換えモード」のとき、本製品が自動受信後に鳴る呼出音の回数を設定します。	—
		4. 親切受信	オン オフ	ファクスを自動受信する前に本製品と接続されている電話をとってしまった場合でも、本製品の<スタート(モノクロ/カラー)>を押さずに、ファクスを受信する機能を設定します。	—
		5. リモート受信	オン(#51) オフ	本製品と接続されている電話機からファクスを受信させるときに設定します。	—
		6. 自動縮小	オン オフ	A4サイズより長い原稿が送られてきたときに自動的に縮小する/しないを設定します。	—
		7. 印刷濃度	-□□■□□+	受信したファクスを印刷する濃度を設定します。	—
		8. ポーリング受信	標準 機密 タイマー	ポーリング受信を設定します。	—
		9. 受信スタンプ	オン オフ	ファクス印刷するときに受信した日時を印刷します。	—
		0. 両面印刷	オン オフ	両面印刷を設定します。	⇒44 ページ

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内容	参照ページ
2. ファクス	2. 送信設定	1. 原稿濃度	自動 濃く 薄く	原稿に合わせて濃度を設定します。	—
		2. ファクス画質	標準 ファイン スーパーファイン 写真	送信時の画質の設定をします。 ここで設定した内容は次に変更するまで有効です。	—
		3. タイマー送信	指定時刻=00 : 00	タイマー送信を行うときの送信時刻を設定します。	—
		4. とりまとめ送信	オン オフ	同一の相手に一括してタイマー送信を行うときに設定します。	—
		5. リアルタイム送信	今回のみ : オン 今回のみ : オフ オン オフ	メモリを使わずに原稿を読み取りながら送信するときに設定します。	—
		6. ポーリング送信	標準 機密	ポーリング送信を設定します。	—
		7. 送付書	今回のみ : オン 今回のみ : オフ オン オフ 印刷サンプル	送付書を付加する／しないを設定します。	—
		8. 送付書コメント	—	送付書のコメントを作成します。	—
		9. 海外送信モード	オン オフ	海外にファクスを送るときに設定します。	—
	3. 電話帳登録	1. 電話帳/ワンタッチ	—	ワンタッチボタン1～16にファクス番号や相手の名前を登録します。	—
		2. 電話帳/短縮	—	3桁の短縮番号(001～300)にファクス番号や相手の名前を登録します。	—
		3. 電話帳/グループ	—	複数の相手をグループ(01～20)として登録します。	—

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内 容	参照ページ
2. ファクス	4. レポート設定	1. 送信結果レポート	オン オン+イメージ オフ オフ+イメージ	ファクス送信後に送信結果を印刷するかどうかの設定をします。	—
		2. 通信管理間隔	レポート出力しない 50件ごと 6時間ごと 12時間ごと 24時間ごと 2日ごと 7日ごと	通信管理レポートを印刷する間隔を設定します。	—
	5. 応用機能	1. 転送/メモリ受信	オフ ファクス転送 電話呼び出し メモリ受信 PCファクス受信	ファクスを転送したり、メモリ受信を設定します。	—
		2. 暗証番号	暗証番号:----*	外出先から本製品を操作するときの暗証番号を設定します。	—
		3. ファクス出力	—	メモリ受信でメモリに蓄積されたファクスを印刷するときを使用します。	—
	6. ダイヤル制限機能	1. 直接入力	オフ 2度入力 オン	ファクス送信を禁止したり、誤って間違った相手にファクスを送信しないように制限することができます。	—
		2. ワンタッチダイヤル	オフ 2度入力 オン		—
		3. 短縮ダイヤル	オフ 2度入力 オン		—
	7. 通信待ち一覧	—	—	メモリ送信の設定を確認したり、解除できます。	—
	0. その他	1. 安心通信モード	高速標準 安心 (VoIP)	ファクスをより確実に送信したいときに設定します。	—
		2. ナンバーディスプレイ	オン オフ 外付け電話優先	NTTのナンバー・ディスプレイサービスを利用するときに設定します。	—

コピー機能

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内容	参照ページ	
3. コピー	1. コピー画質	—	自動 テキスト 写真 カーボン	画質を調整します。	⇒50 ページ	
	2. 明るさ	—	-□□■□□+	明るさを調整します。	⇒51 ページ	
	3. コントラスト	—	-□□■□□+	コントラストを調整します。	⇒51 ページ	
	4. カラー調整	1. レッド	—	-□□■□□+	赤色の濃さを調整します。	⇒52 ページ
		2. グリーン	—	-□□■□□+	緑色の濃さを調整します。	
		3. ブルー	—	-□□■□□+	青色の濃さを調整します。	

プリンター機能

本製品のプリンター機能については、⇒ユーザーズガイド パソコン活用編を参照してください。

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内容	参照ページ
4. プリンター	1. エミュレーション	—	自動 HP LaserJet BR-Script 3	オペレーティングシステムとアプリケーションが異なった場合は、それぞれのエミュレーションモードを使用して印刷します。	—
	2. プリンター オプション	1. フォント リスト	1. HP LaserJet 2. BR-Script 3	内蔵フォントの種類を印刷します。	—
		2. プリンター設定	—	プリンターの設定を印刷します。	—
		3. テストプリント	—	テストチャートを印刷します。	—
	3. 両面印刷	—	オ2 オン (長辺と同じ) オン (短辺と同じ)	両面印刷時の内容を設定します。	—
	4. 印刷カラー	—	自動 カラー モノクロ	印刷時のカラーを設定します。	—
	5. プリンターリセット	—	1. 決定 2. キャンセル	プリンターの設定を初期状態に戻します。	—

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内 容	参照ページ	
4. プリンター	6. 色補正	—	色補正実施 リセット	色補正を行います。	—	
	7. 自動色ずれ補正	—	1. スタート 2. キャンセル	各カラーの印刷位置を自動調整します。	—	
	8. 手動色ずれ補正	1. 色ずれチャート印刷	—	—	色ずれを補正するためのプリントチャートを出力します。	—
		2. 補正值入力	1 マゼンタ左 2 シアン左 3 イエロー左 4 マゼンタ中央 5 シアン中央 6 イエロー中央 7 マゼンタ右 8 シアン右 9 イエロー右	色ずれチャートで出力された位置の色ずれを手動で調整します。	—	
9. 補正頻度	—	普通 低い オフ	画質補正を自動で行う頻度を設定します。	—		

USBダイレクト機能

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内容	参照ページ
5. USBダイレクト	1. ダイレクトプリント	1. 記録紙サイズ	A4 USレター A5 A5L (A5 (横置き)) A6 B5 B6 ハガキ	記録紙サイズを設定します。	—
		2. 記録紙タイプ	普通紙 普通紙 (厚め) 厚紙 ハガキ 超厚紙 再生紙 光沢紙	記録紙タイプを設定します。	—
		3. レイアウト	1in1 2in1 4in1 9in1 16in1 25in1 縦2×横2倍 縦3×横3倍 縦4×横4倍 縦5×横5倍	Nin1を設定します。	—
		4. 印刷の向き	縦長 横長	印刷方向を設定します。	—
		5. 部単位	オン オフ	部単位で印刷するかどうかを設定します。	—
		6. プリント画質	標準 きれい	印刷画質を設定します。	—
		7. PDF オプション	文書 文書&注釈 文書&スタンプ	PDFオプションを設定します。	—
		8. インデックスプリント	簡易 詳細	インデックスシートの方式を設定します。	—

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内 容	参照ページ
5. USB ダイレクト	2. スキャン to USB	1. 解像度	カラー 100 dpi カラー 200 dpi カラー 300 dpi カラー 600 dpi グレー 100 dpi グレー 200 dpi グレー 300 dpi モノクロ 200 dpi モノクロ 200x100dpi	スキャンするカラーと解像度を設定します。	—
		2. ファイル名	—	保存するファイル名を入力します。	—

レポート印刷機能

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内 容	参照ページ	
6. レポート印刷	1. 送信結果レポート	1. 表示	—	送信した最新の最大200件分の結果を表示します。	—	
		2. 印刷	—	最後に送ったファクスの送信結果を印刷します。	—	
	2. 機能案内	—	—	機能の解説を印刷します。	—	
	3. 電話帳リスト	1. メモリ番号順	—	—	電話帳に登録されている内容をメモリ番号順に印刷します。	—
		2. 名前順	—	—	電話帳に登録されている内容を名前順に印刷します。	—
	4. 通信管理レポート	—	—	—	送信・受信した最新の最大200件分の結果を印刷します。	—
	5. 設定内容リスト	—	—	—	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。	—
	6. 着信履歴リスト	—	—	—	着信した履歴を印刷します。	—
7. ネットワーク設定リスト	—	—	—	ネットワークの設定内容を印刷します。	—	
8. ドラム汚れ印刷	—	—	—	感光ドラムの汚れの場所を特定するためのチェックシートを印刷します。	—	

LAN（ネットワーク）設定機能

本製品をネットワークで使用する際の詳細については、⇒ユーザズガイド ネットワーク操作編を参照してください。

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内容
7. ネットワーク	1. TCP/IP設定	1. IP取得方法	Auto Static RARP BOOTP DHCP	IPの取得方法を指定します。
		2. IPアドレス	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255]. (000.000.000.000)	IPアドレスを設定します。
		3. サブネットマスク	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255]. (000.000.000.000)	サブネットマスクを設定します。
		4. ゲートウェイ	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255]. (000.000.000.000)	ゲートウェイのアドレスを設定します。
		5. ノード名	BRNxxxxxxxxxx	ノード名を設定します。
		6. WINS設定	Auto Static	WINSサーバーのアドレスの取得方法を設定します。
		7. WINSサーバー	プライマリ 000.000.000.000 セカンダリ 000.000.000.000	WINSサーバーを設定します。
		8. DNSサーバー	プライマリ 000.000.000.000 セカンダリ 000.000.000.000	DNSサーバーを設定します。
		9. APIPA	オン オフ	APIPAを設定します。
		0. IPv6	オン オフ	IPv6を設定します。

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内容	
7. ネットワーク	2. イーサネット	—	Auto 100B-FD 100B-HD 10B-FD 10B-HD	Auto：自動接続により選択します。 100B-FD/ 100B-HD/10B-FD/10B-HD：それぞれのリンクモードに固定されます。	
	3. 接続状態	—	アクティブ 100B-FD アクティブ 100B-HD アクティブ 10B-FD アクティブ 10B-HD 未接続	接続状態を表示します。	
	4. MACアドレス	—	—	MACアドレスを表示します。	
	5. スキャン to FTP	—	カラー 100 dpi カラー 200 dpi カラー 300 dpi カラー 600 dpi グレー 100 dpi グレー 200 dpi グレー 300 dpi モノクロ 200 dpi モノクロ 200x100dpi	ファイルの種類を設定します。	
	6. スキャン to ネットワークファイル				
	0. ネットワーク設定リセット	1. 決定	1. はい	1. はい	ネットワークの設定をすべて初期値に戻します。
			2. キャンセル	—	

製品情報

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内容	参照ページ	
8. 製品情報	1. シリアル No.	—	—	シリアルNo.を表示します。	—	
	2. 印刷枚数表示	—	合計 ファクス/リスト コピー プリンター	お買い上げ時から今までに印刷したそれぞれの枚数を表示します。	—	
	3. 消耗品寿命	1. ドラム 寿命	—	—	ドラムユニット寿命までの残り%を表示します。	—
		2. ベルト ユニット 寿命	—	—	ベルトユニット寿命までの残り%を表示します。	
		3. ヒーター 寿命	—	—	ヒーター寿命までの残り%を表示します。	
		4. レーザー 寿命	—	—	レーザーユニット寿命までの残り%を表示します。	
		5. PF キット MP 寿命	—	—	多目的トレイPFキット寿命までの残り%を表示します。	
		6. PF キット 1 寿命	—	—	記録紙トレイ1 PFキット寿命までの残り%を表示します。	
		7. PF キット 2* 寿命	—	—	記録紙トレイ2 PFキット寿命までの残り%を表示します。	
	4. 消耗品リセット	—	ドラム ベルト ユニット	消耗品を交換したときにカウンターのリセットをします。	⇒80 ページ ⇒85 ページ	

※：増設記録紙トレイ2（オプション）装着時のみ表示されます。

本製品の仕様

ファクシミリ

互換性	スーパー G3
圧縮方式	MH/MR/MMR/JBIG/JPEG
通信速度	33600bps (自動フォールバック付き)
原稿サイズ幅	ADF (自動原稿送り装置) 使用時: 最大: 215.9mm 最小: 147.3mm 原稿台ガラス使用時: 最大: 215.9mm
原稿サイズ長さ	ADF (自動原稿送り装置) 使用時: 最大: 356.0mm 最小: 147.3mm 原稿台ガラス使用時: 最大: 297mm
有効読み取り幅	208mm
記録紙トレイ枚数	標準記録紙トレイ (トレイ1): 約250枚 (80g/m ²)
記録紙サイズ	幅215.9mm×長さ297mm
電送時間	2秒台* ¹
グレースケール	256階調
液晶ディスプレイ表示	漢字15文字 (かな30文字) ×5行
読み取り方式	CIS
代行受信枚数	500枚* ²
走査線密度	主走査: 8ドット/mm 副走査: 3.85本/mm (標準) 7.7本/mm (ファイン/写真) 15.4本/mm (スーパーファイン)
ポーリングタイプ	標準/機密/タイマー
適用回線	一般電話回線

※1: A4判 700字程度の原稿を標準的画質 (8ドット×3.85本/mm)、高速モードで送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送時間です。通信の制御時間は含まれていません。なお、実際の電送時間は原稿の内容および回線状況によって異なります。

※2: A4判 700字程度の原稿を標準的画質 (8ドット×3.38本/mm) で蓄積した場合 (JBIG圧縮時)

プリンター

プリント速度 (A4)	最高24枚/分 両面 (カラー/モノクロ) : 最高14枚/分*
ファーストプリントアウトタイム (レディ時)	16秒以下
印刷方式	半導体レーザー+乾式電子写真方式
プリント解像度	600x600dpi、2,400dpi (2400x600) quality
用紙種類	普通紙、再生紙、ラベル紙、封筒、はがき、光沢紙

* 両面印刷時の片面分の速度です。両面分の印刷速度は、最高の7枚/分となります。

コピー

複写速度 (A4)	最高24枚/分
ファーストコピーアウトタイム	カラー : 21秒以下 モノクロ : 19秒以下
コピー解像度	最高1200dpi×600dpi
連続複写枚数	最大99枚
拡大・縮小	あり (50・70・83・87・91・94・97・100・115・141・200%・自動、25~400%の1%刻み)

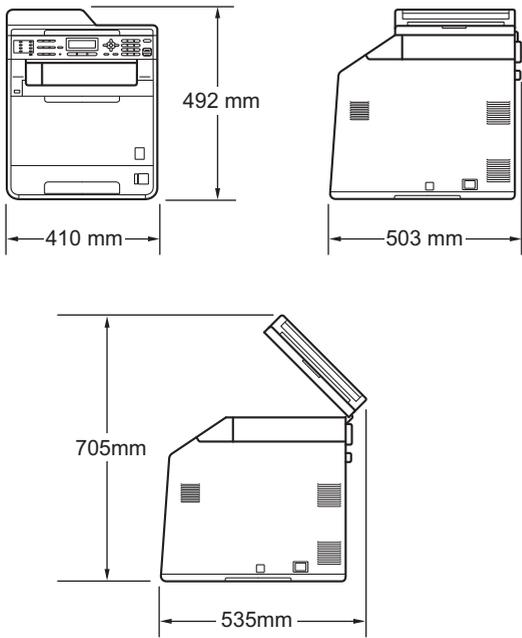
スキャナー

スキャナー解像度 (光学解像度)	ADF使用時 : 1200×600dpi 原稿ガラス使用時 : 1200×2400dpi
階調	フルカラー 入力 : 48ビット、出力 : 24ビット グレースケール 256階調
読み取り速度 (A4)	カラー : 2.12秒/枚 モノクロ : 2.12秒/枚

その他

対応コンピューター	IBM PC/AT互換機 Apple社製MacintoshのUSBポート搭載機
対応 OS	Windows [®] 2000/XP/XP Professional x64 Edition、 Windows Vista [®] /Windows [®] 7 Windows Server [®] 2003/2003 x64 Edition/2008 (ネットワーク プリントのみ) /2008 R2 (ネットワークプリントのみ) Mac OS X 10.4.11/10.5.x/10.6.x
インターフェイス	Hi-Speed USB2.0 有線LAN : 10/100BASE-TX

電源と使用環境

使用環境	温度：10～32.5℃ 湿度：20～80%（結露なきこと）
電源	AC100V（50/60Hz）
消費電力	待機時：平均65W ピーク時：1000W コピー時：平均525W* ディープスリープ時：1.4W
稼働音（音圧レベル）	待機時：33dB（A）以下 動作時：57dB（A）以下
稼働音（音響レベル）	待機時：LWA _d =4.8B（A） 動作時：カラー：LWA _d =6.82B（A） モノクロ：LWA _d =6.74B（A）
メモリ容量	128MB
外形寸法	
質量（消耗品を含む）	26.5kg

* 原稿 1 枚に対してコピーを 1 枚したときの消費電力です。コピーの状況によって異なります。

本書の使いかた目次

使う前に知ってほしいこと

まずは使ってみましょう

日常のお手入れ

困ったときには

付録(索引)

索引

■ 索引の使いかた

・このページでは、本書、「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」、「ユーザーズガイド パソコン活用編」で説明されている項目を検索できます。

数字

10BASE-T/100BASE-TX ポート19
2 in 1 ID コピー49

A

ADF (自動原稿送り装置)
..... 19, 33, 34, 36, 38, 45, 46, 56, 104, 105
APIPAユーザーズガイド ネットワーク操作編

B

BRAdmin Light
.....ユーザーズガイド ネットワーク操作編
BRAdmin Professional
.....ユーザーズガイド ネットワーク操作編

C

ControlCenter
.....ユーザーズガイド パソコン活用編
CSRユーザーズガイド ネットワーク操作編

D

DNS サーバー
.....ユーザーズガイド ネットワーク操作編

E

E メール通達
.....ユーザーズガイド ネットワーク操作編

I

IPPSユーザーズガイド ネットワーク操作編
IPv6ユーザーズガイド ネットワーク操作編
IP アドレス
.....ユーザーズガイド ネットワーク操作編
IP 取得方法
.....ユーザーズガイド ネットワーク操作編

L

LAN (ネットワーク) 設定機能 148

N

N in 148
NetBIOS 名
.....ユーザーズガイド ネットワーク操作編

P

PC ファクスユーザーズガイド パソコン活用編
PF キット 150
POP3ユーザーズガイド ネットワーク操作編

S

SMTPユーザーズガイド ネットワーク操作編

T

TCP/IPユーザーズガイド ネットワーク操作編
TWAIN ドライバー
.....ユーザーズガイド パソコン活用編

U

USB ダイレクト機能 146
USB ダイレクトプリント53
USB ダイレクトボタン16
USB ポート19
USB メモリ差込口19

W

WIA ドライバー
.....ユーザーズガイド パソコン活用編
Windows® FAX とスキャン
.....ユーザーズガイド パソコン活用編
Windows® フォトギャラリー
.....ユーザーズガイド パソコン活用編
WINS サーバー
.....ユーザーズガイド ネットワーク操作編
WINS 設定
.....ユーザーズガイド ネットワーク操作編

あ

明るさ 46, 51

い

イーサネット
.....ユーザーズガイド ネットワーク操作編
印刷品質ユーザーズガイド パソコン活用編
インポート
.....ユーザーズガイド ネットワーク操作編

う

ウェブブラウザでの管理
.....ユーザーズガイド ネットワーク操作編

え

液晶ディスプレイ	17
エクスポート	
..... ユーザーズガイド ネットワーク操作編	
エラーメッセージ一覧	97
エラーランプ	16

お

おすすめ機能	7
オートマッチングドライバーインストロー	
..... ユーザーズガイド ネットワーク操作編	
オプションボタン	16
オンフックボタン	16

か

解決のステップ	96
回線種別	21
回線接続 (LINE) 端子	19
カウンター	80, 85
拡大 / 縮小	46
拡大・縮小コピー	47
拡大 / 縮小ボタン	16
各部の名称	19
画質	46, 50
紙づまり	102
カラー調整	46

き

機能一覧	136
基本設定機能	137
キャリアシート	33
キャンセルボタン	16
給紙ローラー	70
記録紙	24
記録紙トレイ	19, 27, 106
記録紙のサイズ	32
記録紙のタイプ	31
記録紙をセットする	27

け

ゲートウェイ	
..... ユーザーズガイド ネットワーク操作編	
原稿	33
原稿ガイド	34
原稿ストッパー	19
原稿セット	33, 34
原稿台カバー	19
原稿台ガラス	19, 34, 36, 38, 45, 46, 56, 60
原稿台スキャンサイズ	35

こ

ご注文シート	165
コピー	44, 152
コピーが禁じられている物	33
コピー画質ボタン	16
コピー機能	144
コピー機能ボタン	16
コピー設定	46
困ったときには (コピー / 印刷)	112
困ったときには (スキャン)	128
困ったときには (その他)	133
困ったときには (電話 / ファクス)	128
コロナワイヤー	64
コントラスト	46, 51

さ

サービスパック	166
再梱包	92
再ダイヤル / ポーズボタン	16
サブネットマスク	
..... ユーザーズガイド ネットワーク操作編	

し

自己署名証明書	
..... ユーザーズガイド ネットワーク操作編	
自動切換えモード	41
自動送信	35
シフトボタン	16
受信モード	40, 44
手動送信	38
仕様	151
使用環境	154
使用できない記録紙	26
使用できない封筒	26
消耗品	22, 71
消耗品の回収リサイクル	22
初期設定機能	136

す

透かし (ウォーターマーク) 設定	
..... ユーザーズガイド パソコン活用編	
スキャナー	152
スキャナーウインドー	61
スキャナーカバー	19
スキャナードライバー	
..... ユーザーズガイド ネットワーク操作編	
スキャナー読み取り部	60
スキャン	56
スキャン to E メール	
..... ユーザーズガイド パソコン活用編	
スキャン to E メール添付	
..... ユーザーズガイド パソコン活用編	

スキャン to FTP	ユーザーズガイド	パソコン活用編
スキャン to OCR	ユーザーズガイド	パソコン活用編
スキャン to USB	ユーザーズガイド	パソコン活用編
スキャン to イメージ	ユーザーズガイド	パソコン活用編
スキャン to ネットワークファイル	ユーザーズガイド	パソコン活用編
スキャン to ファイル	ユーザーズガイド	パソコン活用編
スキャンボタン	ユーザーズガイド	パソコン活用編
スタートボタン		17
ステータスマニター	ユーザーズガイド	パソコン活用編

せ

清掃		58
製品情報		150
セキュリティプロトコル	ユーザーズガイド	ネットワーク操作編
セキュリティボタン		16
セットできる記録紙		25

そ

操作パネル		16, 19
増設記録紙トレイ		25, 106
ソートコピー		46, 47
外付電話 (EXT.) 端子		19
外付け留守電モード		42
その他		153

た

ダイヤル回線		21
ダイヤルボタン		17, 20, 37, 45
多目的トレイ		19, 29, 105
短辺綴じ		48

ち

中止		38
長辺綴じ		48
直接入力		37

て

定期交換部品		91
定期メンテナンス		58
停止/終了ボタン		17
定着ユニットカバー		19
電源スイッチ		19
電源		154

電話回線		21
電話帳		37
電話帳登録	ユーザーズガイド	パソコン活用編
電話モード		43

と

トナーカートリッジ		71, 74
ドラムユニット		66, 71, 77
トレイ選択		46, 50

な

ナビゲーションキー		17, 20
-----------	-------	--	--------

ね

ネットワークスキャン機能	ユーザーズガイド	ネットワーク操作編
ネットワークプリンターの管理	ユーザーズガイド	ネットワーク操作編
ネットワークリモートセットアップ	ユーザーズガイド	ネットワーク操作編

の

ノード名	ユーザーズガイド	ネットワーク操作編
------	-------	----------	-----------

は

廃棄		22
排紙ストッパー		19
廃トナーボックス		86
背面		107
背面排紙トレイ		32
バックカバー		19

ひ

秘密鍵	ユーザーズガイド	ネットワーク操作編
-----	-------	----------	-----------

ふ

ファクシミリ		151
ファクス画質ボタン		16
ファクス機能		141
ファクス機能ボタン		16
ファクス受信		39
ファクス専用モード		40
ファクス送信		35
フィンガープリント	ユーザーズガイド	ネットワーク操作編
フロントオプション	ユーザーズガイド	パソコン活用編
フロントリスト	ユーザーズガイド	パソコン活用編
プッシュ回線		21
プリンター		152

プリンター機能	144
プリンター設定内容リスト ユーザーズガイド パソコン活用編	
プリンタードライバーの設定 ユーザーズガイド パソコン活用編	
プリント	55
プリント機能ボタン	16
プリント設定の初期化 ユーザーズガイド パソコン活用編	
プリントデータランプ	16
フロントカバー	19
フロントカバーリリースボタン	19

へ

ページ設定..... ユーザーズガイド パソコン活用編	
ベルトユニット	81

ほ

ポートの選択.... ユーザーズガイド パソコン活用編	
-----------------------------	--

め

メモリがいっぱいです	101
メンテナンス	58

も

モード選択ボタン	17
----------------	----

ら

ランプ	18
-----------	----

り

リサイクル	22
リモコンアクセス	161
リモートセットアップ ユーザーズガイド パソコン活用編	
両面印刷	44
両面コピー	46, 48
両面ボタン	16

れ

レイアウトコピー	46, 48
レポート印刷機能	147

わ

ワンタッチボタン	16
----------------	----

—(キリトリ線)—

リモコン アクセス

暗証番号



あなたの暗証番号を
記入してください。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. ファクシミリが応答して無音状態のときに、暗証番号を入力します。

①

3. 「ポー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信していることを示します。
「ポー」という音が聞こえなければ、ファクスメッセージを受信していないことを示します。
4. 次に、短い「ピピッ」という音が続けて聞こえたらリモコンアクセスコマンドを入力します。
5. 90を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンアクセスコマンドは、③、④を参照してください。

注意：間違った操作を行ったときには、短い「ピッ」という音が3回聞こえますので、もう1度やり直してください。

②

〈キリトリ線〉

リモコンアクセスコマンド

操作内容	ボタン操作
メモリ受信を解除(※1)	951
ファクス転送に設定(※2)	952
電話呼び出しに設定(※2)	953
ファクス転送番号の登録・変更	954+転送番号+##
メモリ受信を設定	956
ファクスの取り出し	962+ダイヤル入力+##
ファクス消去	963
受信状況のチェック(※3)	ファクス 971

③

操作内容		ボタン操作
受信モードの変更	外付け留守電	981
	自動切換え	982
	ファクス	983
終了		90

- ※1 電話呼び出しや、ファクス転送の設定も解除されます。
 ※2 呼び出し番号・転送番号が登録されていないときは、呼び出し・転送機能をONにすることはできません。
 ※3 「ピー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信しています。「ピピピッ」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信していません。

④

消耗品などのご注文について

- ・消耗品はお近くの家電量販店でも取扱いがございますが、弊社にてインターネット、電話、FAXによるご注文も承っております。
- ・FAXにてご注文される場合はご注文シートにご記入の上、お申し込み下さい。
- ・配送料は、お買い上げ金額の合計が3,000円以上の場合は全国無料です。
- ・3,000円未満の場合は350円の配送料を頂きます。（代引き手数料は全国一律無料）
- ・納期については土日祝日長期休暇をはさむ場合はその日数が下記に加算されます。
- ・配送地域は日本国内に限らせて頂きます。

<代引き> ご注文後2～3営業日後の商品発送

<お振込(銀行)> ご入金確認後2～3営業日後の商品発送

- ※ 代金は先払いとなります。（銀行／郵便局備え付けの振込用紙等からお振り込み下さい）
- ※ 振込手数料はお客様負担となります。

<クレジットカード> カード番号確認後2～3営業日後の商品発送

【ご注文先】

ブラザー販売（株）ダイレクトクラブ

インターネット：<http://direct.brother.co.jp/shop/>

携帯サイト：右の二次元コードにアクセス

FAX：052-825-0311

フリーダイヤル： 0120-118-825

（土・日・祝日、長期休暇を除く9時～12時、13時～17時）

【振込先】

口座名義：ブラザー販売株式会社 ダイレクトクラブ

銀行：三井住友銀行 上前津（カミマエツ）支店 普通 6428357

ゆうちょ銀行 振替口座 00860-1-27600



ご注文シート

お客様ご住所 〒

お名前

TEL

FAX

お支払い方法 銀行前振込 ・ 代引き ・ カード

カード種類 ①VISA ②JCB ③UC ④DINERS ⑤CF ⑥Master ⑦JACCS

カードNO

カード名義人名

有効期限

年

月

へ
キ
リ
ト
リ
線
へ

商品名	型番	単価(税込)	ご注文数	金額
標準 トナーカートリッジ	ブラック	TN-390BK	6,300円	
	シアン	TN-390C	7,035円	
	マゼンタ	TN-390M	7,035円	
	イエロー	TN-390Y	7,035円	
大容量 トナーカートリッジ	ブラック	TN-395BK	8,085円	
	シアン	TN-395C	12,495円	
	マゼンタ	TN-395M	12,495円	
	イエロー	TN-395Y	12,495円	
ドラムユニット	DR-390CL	17,955円		
廃トナーボックス	WT-300CL	2,940円		
ベルトユニット	BU-300CL	26,250円		
			合計	

※配送料および消費税は変更の可能性があります。(消費税:2011年1月現在)

※必要な場合はコピーしてお使いください。

※トナーカートリッジとドラムユニットは用途が異なる別々の消耗品です。

消耗品交換時は交換メッセージに従い、必要な商品をご購入ください。

※ブラザーサービスパック、年間保守サービスをご購入されるお客様は、製品同梱の別紙「サービスパックのご案内」をご覧ください。

アフターサービスのご案内

お客様のスタイルに合わせたサポート



サポートサイト (ブラザーソリューションセンター)

よくあるご質問(Q&A)や、最新のソフトウェアおよび製品マニュアル(電子版)のダウンロードなど、各種サポート情報を提供しています。

サポート ブラザー

検索

<http://solutions.brother.co.jp/>

ブラザーマイポータル

ブラザーマイポータル会員専用サイト

ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

オンラインユーザー登録 ▶ <https://myportal.brother.co.jp/>



携帯電話向けサポートサイト (ブラザーモバイルサイト)

携帯電話からでも簡単なサポート情報をみることが出来ます。



<http://m.brother.co.jp/support/>

ブラザーコールセンター(お客様相談窓口)

☎ 0120-143-410

受付時間：月～金 9:00～20:00 / 土 9:00～17:00 日曜日・祝日・弊社指定休日を除きます。

※ブラザーコールセンターはブラザー販売株式会社が運営しています。

安心と信頼の修理サービス



無償 ブラザー サービス エクスプレス



複合機

1年間無償保証

製品ご購入後1年間無償保証いたします。 ※保証期間後の修理は発生の都度有償対応となります。

●コールセンターでの診断後、修理が必要と判断された場合 ▶ 48時間以内に故障機の回収。 ※一部地域を除く
事前にお客様のご都合をお伺いし、宅配便により故障機を回収します。

●7日以内に修理品を返送。

弊社到着後、7日間以内にお客様へ修理完了品をお返しします。



有償 サービスパック3・4・5年

商品ご購入後、6ヶ月以内にご購入/ご契約して頂けるサービスメニューです。
ご購入日から3・4・5年の長期保守を割安にご購入可能。

※各サービスパックについては、[出張修理]か[引取り修理]を選択していただけます。
※各サービスパックには、技術料/部品代が含まれます。
※引取り修理は宅配業者による故障機の回収手配をし、修理完了後返送いたします。
引取り修理契約には送料も含まれております。
※出張修理は原則、コール受付の営業日にエンジニアが設置先へ訪問し修理対応いたします。
出張修理契約には、出張料が含まれております。
※サービスパック1年は、ご購入後4年以内かつ当社基準に適合した製品である事が条件になります。



有償 サービスパック1年

商品ご購入後いつでもご契約頂ける1年単位のサービスメニューです。

各定額保守サービスの内容、該当機種、料金などの詳細は下記窓口へお問い合わせください。

TEL : 052-824-3253

http://www.brother.co.jp/product/support_info/s-pack/index.htm

※ユーザーズガイドに乱丁、落丁があったときは、「ブラザーコールセンター(お客様相談窓口)0120-143-410(フリーダイヤル)」にご連絡ください。

※Presto! PageManagerについては、以下にお問い合わせください。

ニューソフトジャパンカスタマーサポートセンター

TEL : 03-5472-7008 FAX : 03-5472-7009 10:00～12:00 13:00～17:00(土日・祝日を除く)

テクニカルサポート電子メール : support@newsoft.co.jp ホームページ : <http://nj.newsoft.com/tw/>

トナーカートリッジドラムユニットベルトユニット廃トナーボックスは当社指定品をご使用ください。当社指定以外の品物をご使用いただくと、故障の原因となる可能性があります。純正品のトナーカートリッジドラムユニットベルトユニット廃トナーボックスをご使用いただいた場合のみ機能・品質を保証いたします。

本製品は日本国内のみでの使用となりますので、海外での使用はお止めください。海外での各国の通信規格に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品に適切でない恐れがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。また保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

This machine is made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas it may violate the Telecommunications Regulations that country and the power requirements of your machine may not be compatible with the Power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

●お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保管してください。

●本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年です。(印刷物は2年です)



ブラザー工業株式会社

〒467-8561 名古屋市長穂区苗代町15-1